brother

ユーザーズガイド
－パソコン活用編－

やりたいこと目次

やりたいこと別の一覧があります。
５ページをご覧ください。

5ページ

Windows®編

Macintosh編

スキャンキー操作（共通編）

付録

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 ユーザーズガイド 基本編「こんなときは」で調べる

ユーザーズガイド 基本編

2 サポート ブラザー

ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる
http://solutions.brother.co.jp/

Version 0 JPN

目次

Macintosh

第 9 章 PC-FAX （MFC-J4510N のみ） 132

第 10 章 メモリーカードアクセス ...135

第 11 章 リモートセットアップ （MFC-J4510N のみ） 139

第 12 章 便利な使い方 （ControlCenter2） 144

スキャンキー操作（共通編）

付録

本書の見かた

● 本書で使用されている記号

本書では、次の記号が使われています。

記号	説明
重 要	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の可能性がある内容を示しています。
お願い	お使いいただく上での注意事項、制限事項などを記載しています。
(メモアイコン)	知っていると便利なことや、補足を記載しています。
(矢印)	参照先を記載しています。

● 本書で使用されているイラスト / 画面について

外観イラストおよび表示される画面は、MFC-J4510N を代表で使用しています。

本書に掲載されている画面は、Windows® の場合は Windows® 7、Macintosh の場合は Mac OS X v10.7 の画面を代表で使用しています。お使いの OS や環境またはモデルによって、実際の画面と異なることがあります。

必要なソフトウェア

本製品をプリンターやスキャナーとして使うには、付属の CD-ROM に収録されているドライバーとソフトウェアをインストールする必要があります。

パソコンとの接続やドライバーのインストール方法については、別冊の「かんたん設置ガイド」をお読みください。

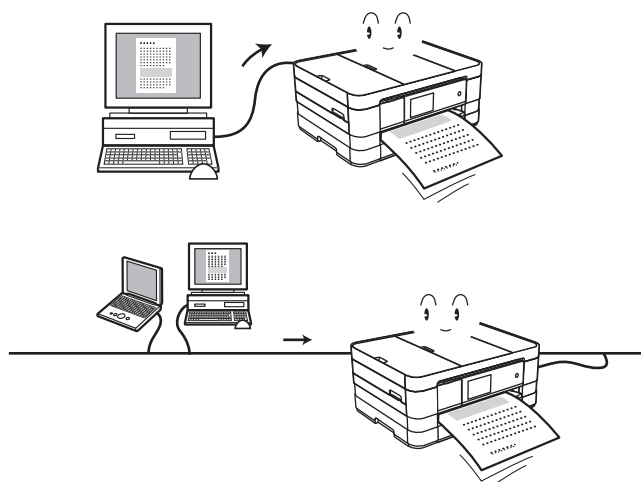
編集ならびに出版における通告

本マニュアルならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は、本マニュアルに掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

やりたいこと目次

● プリンター

● プリンターとして使う

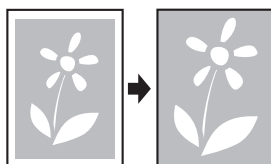
本製品とパソコンを接続して、プリンターとして利用できます。
ネットワーク対応モデルの場合は、ネットワーク上の複数のパソコンから印刷することもできます。

Windows® の場合

11 ページ

Macintosh の場合

109 ページ

● 記録紙いっぱいに印刷する「ふちなし印刷」

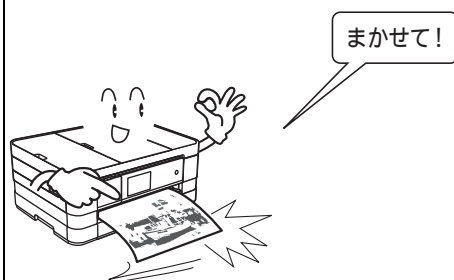
余白が出ないように、はがきなどにいっぱいに印刷できます。
Windows® では付属ソフトFaceFilter Studio を利用すると、より簡単に設定できます。

Windows® の場合

26 ページ

Macintosh の場合

109 ページ

● 設定を選んで印刷する「おまかせ印刷」

あらかじめ登録されている設定を選ぶだけで、印刷できます。
※ Macintosh では、［プリセット］から登録した印刷設定を選択できます。

Windows® の場合

23 ページ

Macintosh の場合

109 ページ

● 写真をプリント / 加工する「FaceFilter Studio」

写真を簡単にふちなし印刷したり、顔がはっきり見えるように全体の明るさを調整したりできます。赤目の修正や表情を変化させることもできます。
（Windows® のみ）

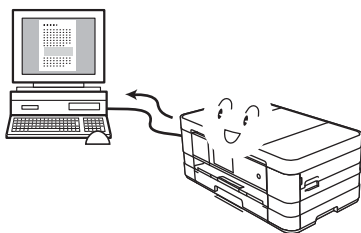
Windows® の場合

26 ページ

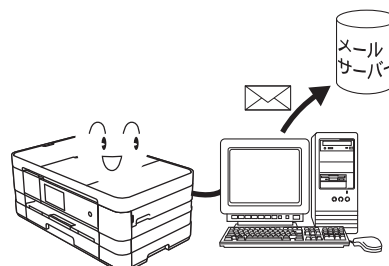
● スキャナー

本製品をパソコンと接続してスキャナーとして利用できます。ネットワーク対応モデルの場合は、ネットワーク環境でも本製品をスキャナーとして利用できます。

● 原稿をスキャンしてパソコンに保存する

スキャンした原稿を、パソコンの指定したフォルダーに保存します。

160 ページ

● 原稿をスキャンして E メールで送る

スキャンした原稿を E メールに添付して送信します。

161 ページ

● 文字を修正できるようにスキャンする

スキャンした画像データを解析して、文書（テキスト）データに変換できます。

10月15日

議事録

10月14日に行われた会議の議事録を送ります。

ー記ー

参加：管理職

人数：10人

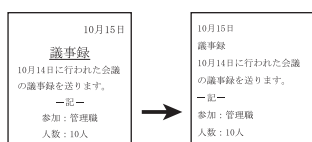
10月15日

議事録

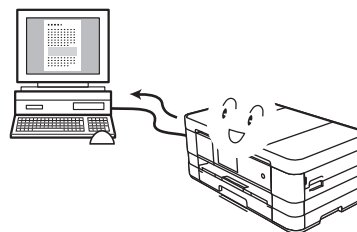
10月14日に行われた会議の議事録を送ります。

ー記ー

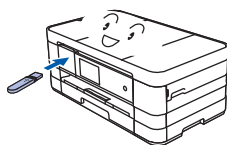
参加：管理職

人数：10人

162 ページ

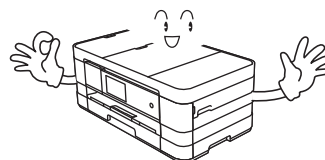
● 原稿をスキャンして、アプリケーションで開く

スキャンした原稿を、指定したアプリケーションで自動的に開きます。

163 ページ

● 原稿をスキャンしてメモリーカードや USB フラッシュメモリーに保存する

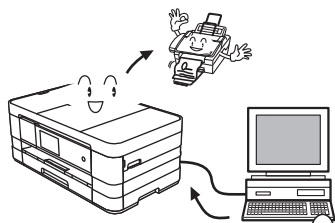
スキャンした原稿を本製品に接続したメモリーカードや USB フラッシュメモリーに保存できます。

164 ページ

● 原稿をスキャンして FTP/ ネットワーク（Windows® のみ）上の サーバーに送る

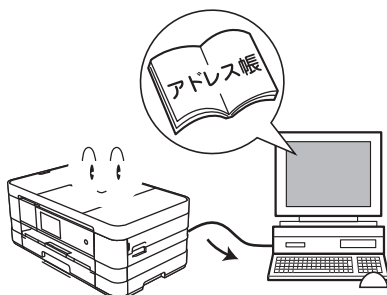
スキャンした原稿を、ネットワーク上またはインターネット上のサーバーに保存できます。

167 ページ

● PC-FAX（MFC-J4510N のみ）

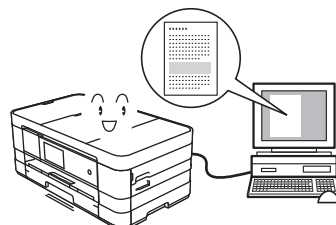
● パソコンからファクスを送る［PC-FAX 送信］

パソコンで作成した書類を、本製品の電話回線を利用して直接ファクスできます。印刷する必要がありません。
※ネットワーク環境にも対応しています。

Windows® の場合
49 ページ
Macintosh の場合
133 ページ

● アドレス帳を利用する［PC-FAX アドレス帳］

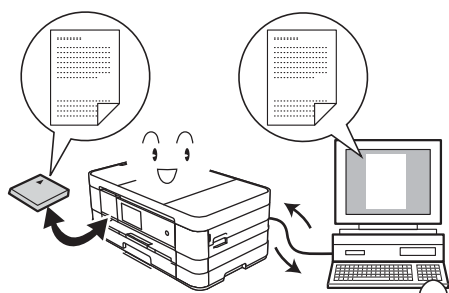
PC-FAX を送るときに利用するアドレス帳を作成できます。Outlook Express、Outlook® のアドレス帳データを使用することもできます。（Windows® のみ）

Windows® の場合
51 ページ

● 受信したファクスをパソコンで確認する［PC-FAX受信］（Windows®のみ）

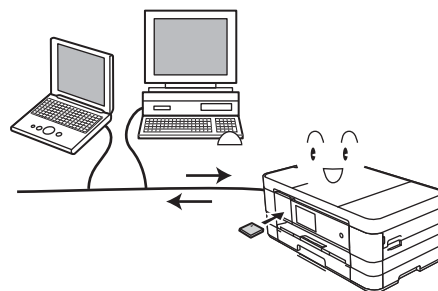
受信したファクスを本製品と接続しているパソコンに送ります。パソコン上で内容を確認してから印刷できます。
※ネットワーク環境にも対応しています。

Windows® の場合
57 ページ

● メモリーカードアクセス

● メディアをリムーバブルディスクとして利用する

本製品にセットしたメモリーカードや USB フラッシュメモリーなどのメディアは、パソコン上で「リムーバブルディスク」として使用できます。

Windows® の場合
62 ページ
Macintosh の場合
137 ページ

● ネットワークでメディアを利用する「ネットワークメディアアクセス」

ネットワークで接続された複数のパソコンから、本製品にセットしたメモリーカードや USB フラッシュメモリーなどのメディアにアクセスします。

Windows® の場合
62 ページ
Macintosh の場合
137 ページ

● その他

● パソコンからインク残量を確認する「ステータスモニター」

現在のインク残量を確認できます。

Windows® の場合

Macintosh の場合

● スキャナー、PC-FAX などを簡単に起動する「ControlCenter」

スキャナーや PC-FAX、リモートセットアップ機能などを簡単に起動できるソフトウェア「ControlCenter」を使用できます。

Windows® の場合

Macintosh の場合

第 1 章 プリンター

プリンターとして使う前に

ドライバーをインストールする必要があります

本製品をプリンターとして使用する場合、付属の CD-ROM に収録されているプリンタードライバーをインストールする必要があります。
パソコンとの接続や、ドライバーのインストール方法については、別冊の「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

記録紙について

本製品をプリンターとして使う場合の記録紙については、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド 基本編「記録紙のセット」

印刷する

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選ぶ

2 ［印刷］ダイアログボックスで、接続している本製品のモデル名を選び、［詳細設定］をクリックする

プリンタードライバーの設定画面は（スタート）メニューから表示することもできます。

⇒ 11 ページ「印刷設定画面を［スタート］メニューから表示する」

［おまかせ印刷タブ］の［おまかせ印刷タブを常に最初に表示する］がチェックされていると、［おまかせ印刷］タブが最初に表示されます。
おまかせ印刷について詳しくは、次をご覧ください。
⇒ 23 ページ「［おまかせ印刷］タブの設定」

3 必要に応じて各項目を設定する

設定内容の詳細について
⇒ 15 ページ「印刷の設定を変更する」

4 ［OK］をクリックする

設定した内容が有効になり、［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

5 ［印刷］をクリックする

ファイルが印刷されます。

次回の印刷から本製品が選ばれ、設定した内容で印刷されます。

ファクスを送受信中に印刷する

ファクスを送受信しているときや原稿をスキャンしている間も、印刷をすることができます。
ただし、受信したファクスを印刷している間は、印刷が一時的に停止します。ファクスの出力が完了したあとで、印刷が再開されます。

印刷設定画面を［スタート］メニューから表示する

印刷設定画面の表示の方法は、お使いの OS によって異なります。各 OS の表示方法は次の通りです。

- Windows® XP の場合

① ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックします。
② ［Brother XXX-XXXX Printer］のアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。
③ ［Brother XXX-XXXX Printer のプロパティ］ダイアログボックスの［全般］タブにある［印刷設定］をクリックします。

- Windows Vista® の場合

① メニューから［コントロール パネル］をクリックし、［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］をクリックします。
② ［Brother XXX-XXXX Printer］のアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。
③ ［Brother XXX-XXXX Printer のプロパティ］ダイアログボックスの［全般］タブにある［印刷設定］をクリックします。

- Windows® 7 の場合

① メニューから［デバイスとプリンター］を選択します。
② ［Brother XXX-XXXX Printer］のアイコンを右クリックし、［プリンターのプロパティ］、［Brother XXX-XXXX Printer］の順にクリックします。［基本設定］をクリックします。

メモリーに残っているデータを消す

何らかの理由で印刷を中断したとき、本製品のメモリーに印刷のデータが残っていることがあります。画面に［データが残っています］と表示されている場合は、残っているデータを消します。

を押す

メモリーに残っているデータが削除されます。

印刷品質をチェックする

きれいに印刷されないときは、印刷品質をチェックしてください。

⇒ユーザーズガイド 基本編「印刷テストを行う」

ジョブをキャンセルする

処理中のジョブをキャンセルして、メモリーからデータを消します。

を押す

印刷がキャンセルされます。

印刷状況やインク残量を確認する（ステータスモニター）

使用しているパソコンから、本製品の印刷状況やインクの残量、記録紙の有無などを確認できます。
ブラザー純正のインクや記録紙など、消耗品をご購入いただくためのサイトにジャンプすることもできます。

本製品の状態を確認する

パソコンを起動すると、タスクトレイに本製品の状態を示すアイコンが表示されます。アイコンの色で本製品の状態を見分けることができます。

● 緑色のアイコン	本製品は正常に動作しています。
● 黄色のアイコン	本製品は警告状態です。
● 赤色のアイコン	本製品に何らかのエラーが発生しています。エラーが発生しているときは、本製品の状態を確認してください。問題が解決しないときは、下記をご覧ください。 ⇒ユーザーズガイド　基本編「困ったときは」
● 灰色のアイコン	本製品の電源が入っていないか、接続が遮断されています。オフライン状態です。

お買い上げ時の設定ではタスクトレイにアイコンが表示されますが、デスクトップに表示させることもできます。表示させる内容や場所を変更するときは、タスクトレイのアイコンを右クリックして、［表示場所］を選択して、設定します。

ステータスモニターのウィンドウを表示する

1 タスクトレイのアイコン をダブルクリックする

本製品の現在の状態やインク残量を確認できます。

ステータスモニターのウィンドウが表示されます。

タスクトレイにアイコンが表示されていない場合は、
（スタート）メニューから［すべてのプログラム］－［Brother］－［(モデル名)］－［ステータスモニター］を選びます。

ステータスモニターの画面について

① **モデル名**

インク残量を表示している本製品のモデル名が表示されます。

② **接続**

接続しているポート名が表示されます。

③ **ステータス**

本製品の現在の状態が表示されます。

④ **ウェブ Q&A**

クリックすると、ステータスモニターダイアログが表示されます。内容を確認して、［OK］をクリックしてください。ウェブブラウザーが起動し、さまざまなトラブルとその解決法に関する情報を提供しているホームページが表示されます。

⑤ **ブラザー純正消耗品サイトのご案内**

クリックすると、ウェブブラウザーが起動し、ブラザー純正の消耗品に関する情報を提供しているホームページが表示されます。

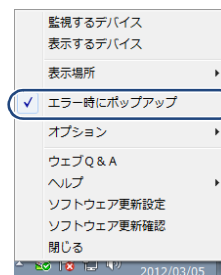
⑥ **インク残量**

本製品のインク残量が表示されます。

インク残量が減ったり、インクカートリッジに問題がある場合は、次のようなアイコンが表示されます。

	インク残量が少ない
	インクカートリッジが空
	インクカートリッジに問題がある

エラーが発生したときに本製品の状態を示すダイアログをポップアップ表示する

1 タスクトレイのアイコンを右クリックし、［エラー時にポップアップ］を選ぶ

- タスクトレイにアイコンが表示されていない場合は、

（スタート）メニューから［すべてのプログラム］－［Brother］－［（モデル名）］－［ステータスモニター］を選びます。

- ポップアップ表示をしない場合は、［エラー時にポップアップ］の左にチェックがついている状態で［エラー時にポップアップ］を選びます。
- ポップアップ表示をする設定をしていなくても、ステータスモニターで本製品の状態を確認できます。

印刷の設定を変更する

パソコンから印刷するときは、印刷する内容に合わせてプリンタードライバーで設定を行います。プリンタードライバーで設定できる項目は、OS が異なっていても基本的に同じです。機能の詳細は、プリンタードライバーのオンラインヘルプを参照してください。

お願い

- ■ お使いのアプリケーションソフトに類似した機能がある場合は、両方の設定が有効となりますので、同時に使用しないでください。

最新のプリンタードライバーは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）からダウンロードできます。

お使いの OS によっては利用できない項目があります。

［基本設定］タブの設定

選んだ設定を確定するときは、［OK］をクリックします。標準設定に戻すときは［標準に戻す］をクリックします。

① **現在の設定**

用紙種類、印刷品質など現在の設定が表示されています。

② **プリンターの状態を確認**

ステータスモニターが起動し、本製品の状態を表示します。

③ **サポート**

クリックすると、本製品にインストールされているドライバーのバージョンや設定情報、サポート情報を参照できます。

⇒ 23 ページ「サポート情報の表示」

④ **用紙種類**

記録紙の種類を選びます。記録紙トレイにセットした記録紙の種類を選ぶことで、印刷品質が向上します。

用紙の種類
普通紙
インクジェット紙
ブラザー BP71 写真光沢紙
ブラザー BP60MA インクジェット紙
その他光沢紙
OHP フィルム
写真用はがき 宛名面
写真用はがき 裏面（通信面）

⑤ **乾きにくい紙**

一部のインクジェットはがきの宛名側など、インクが乾きにくい記録紙を使用する場合にチェックします。

⑥ 印刷品質

文書をどのような品質で印刷するかを選びます。選べる印刷品質は、④で選んだ記録紙の種類によって異なります。

設定	内容	印刷速度
高速	大量の文書や、校正用の文書を印刷するとき ※最も印刷速度が速く、インクの消費量も少なくなります。	速い
普通	通常の印刷のとき （品質と印刷時間のバランスがとれています。）	
高画質	［普通］より高画質で印刷するとき	
最高画質	最高画質で印刷するとき （高解像度で印刷するので、印刷にかかる時間は長くなります。）	遅い

印刷品質が良いほど印刷速度は遅くなります。

● 用紙種類と印刷品質の関連について

記録紙の種類を指定したとき、選べる印刷品質は次のとおりです。お買い上げ時は、太字の項目が選ばれるよう設定されています。

用紙の種類	印刷品質
普通紙 / 写真用はがき宛名面	高速 / **普通** / 最高画質
インクジェット紙 / ブラザー BP60MA インクジェット紙	普通 / **高画質**
ブラザー BP71 写真光沢紙 / その他光沢紙 / 写真用はがき 裏面（通信面）	普通 / **高画質** / 最高画質
OHP フィルム	**普通**

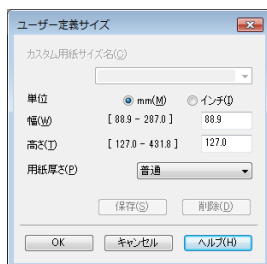
⑦ 用紙サイズ

記録紙トレイにセットした記録紙のサイズを選びます。選択肢にないサイズの記録紙に印刷したいときは、［ユーザー定義］を選んで、任意の用紙サイズを登録します。

設定	サイズ
A4	210 × 297mm
L 判	89 × 127mm
A5	148 × 210mm
A6	105 × 148mm
JIS B5	182 × 257mm
レター	215.9 × 279.4mm
リーガル＊1	215.9 × 355.6mm
エグゼクティブ	184.1 × 266.7mm
A3＊1	297 × 420mm
JIS B4＊1	257 × 364mm
レジャー＊1	279.4 × 431.8mm
ハガキ	100 × 148mm
往復ハガキ	148 × 200mm
2L 判	127 × 178mm
ポストカード	101.6 × 152.4mm
インデックスカード	127 × 203.2mm
長形 3 号封筒	120 × 235mm
長形 4 号封筒	90 × 205mm
角形 2 号封筒＊1	240 × 332mm
洋形 2 号封筒	114 × 162mm
洋形 4 号封筒	105 × 235mm
Com-10	104.7 × 241.3mm
DL 封筒	110 × 220mm
ユーザー定義	88.9 × 127.0mm （最小） 287.0 × 431.8mm（最大）

＊1　A3、JIS B4、レジャー、リーガル、角形 2 号封筒は、手差しトレイでのみ印刷できます。

● ユーザー定義サイズ

ユーザー定義サイズは、次の手順で設定します。

(1) 使用する用紙のサイズをはかる

(2) ［ユーザー定義］を選ぶ

(3) 用紙サイズの単位（mm またはインチ）を選ぶ

(4) 幅と高さを入力する

(5) 用紙の厚み（普通 / 厚紙 / 封筒）を選ぶ

普通紙を使う場合は［普通］を、厚い用紙を使う場合は［厚紙］を、封筒を使う場合は［封筒］を選びます。

(6) ［保存］をクリックする

入力した名前で、用紙サイズが登録されます。

> アプリケーションによっては、［カスタム用紙サイズ名］の設定が無効になる場合があります。お使いのアプリケーションに、適切な用紙サイズが設定されていることを確認してください。
>
> ［カスタム用紙サイズ名］を指定して、この設定を登録したいときは、（スタート）メニュー－［デバイスとプリンター］－［（モデル名）］－［印刷設定］から登録してください。この手順は、お使いの OS によって異なります。
>
> 最小の用紙サイズを設定した場合は、余白の設定を確認してください。何も印刷されないことがあります。

⑧ ふちなし印刷

ふちなし印刷する場合にチェックします。
ふちなし印刷ができる用紙の条件は次のとおりです。

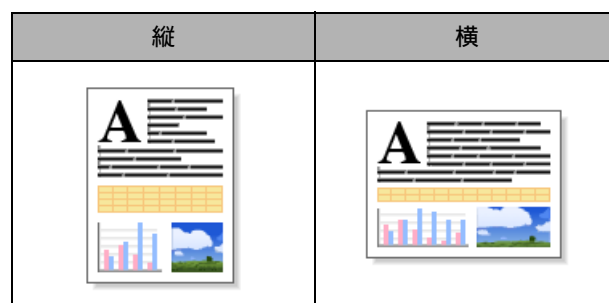
用紙サイズ	A3/ レジャー / A4/ レター / A6/ ハガキ /L 判 /2L 判 / ポストカード /
用紙種類	普通紙 / インクジェット紙 / ブラザー BP60MA インクジェット紙 / ブラザー BP71 写真光沢紙 / その他光沢紙 / 写真用はがき 宛名面 / 写真用はがき 裏面（通信面）
印刷品質	普通 / 高画質 / 最高画質

> アプリケーションによってはふちなし印刷が有効にならない場合があります。
>
> FaceFilter Studio を使うと、簡単にふちなし印刷ができます。
> ⇒ 26 ページ「FaceFilter Studio で写真をプリントする」

⑨ カラーモード

［ナチュラル］または［鮮やか］を選びます。［ナチュラル］を選ぶと自然な色合いに、［鮮やか］を選ぶとよりはっきりした色合いになります。

⑩ 印刷の向き

文書を印刷する向き（縦または横）を設定します。

⑪ 部数

印刷する部数と印刷順序を設定します。

設定	内容
部数	印刷する部数（1 ～ 999）を入力します。
部単位	チェックすると、文書一式が一部印刷されてから、設定した部数だけ印刷が繰り返されます。チェックを外すと、各ページが設定された部数だけ印刷されてから、次のページが印刷されます。
逆順で印刷	チェックすると、文書が最後のページから印刷されます。

⑫ レイアウト

1 ページのサイズを縮小して複数のページを 1 枚の用紙に印刷したり、拡大して 1 ページを複数の用紙に印刷したりできます。（下図は印刷の向きを［縦］に設定した場合の印刷結果イメージです。）

設定	印刷結果イメージ
1 ページ	そのままのサイズで印刷します。
2 ページ	1 枚の記録紙に 2 ページを縮小して印刷します。 1 2
4 ページ	1 枚の記録紙に 4 ページを縮小して印刷します。 1 2 3 4

設定	印刷結果イメージ
9 ページ	1 枚の記録紙に 9 ページを縮小して印刷します。
16 ページ	1 枚の記録紙に 16 ページを縮小して印刷します。
縦 2 × 横 2 倍	4 枚の記録紙に 1 ページを分割して印刷します。
縦 3 × 横 3 倍	9 枚の記録紙に 1 ページを分割して印刷します。

⑬ ページの順序

⑫で複数のページを 1 枚の用紙に印刷する設定を選択した場合は、ページの配置順序を選択します。

⑭ 仕切り線

ページの間に実線または破線の境界線を印刷できます。

⑮ 両面印刷 / 小冊子印刷

両面印刷、または小冊子印刷を行いたいときに選択します。

設定	内容
なし	両面印刷を無効にします。
両面印刷	自動で両面印刷をしたいときに選択します。
小冊子印刷	小冊子として自動で両面印刷したいときに選択します。 印刷が終了したあと、用紙の真ん中を折ると小冊子になります。

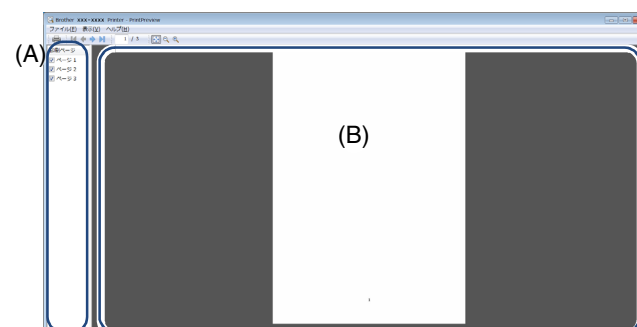
A3、JIS B4 等、両面印刷できない用紙があります。

⑯ 両面印刷設定

⑮で両面印刷、小冊子印刷のいずれかを選択して［両面印刷設定］をクリックすると、以下の項目を設定できます。

設定	内容
綴じ方	印刷の向き、縦または横など 12 種類の綴じ方から選択します。
小冊子印刷方法	ページ数の多い文書を分割して印刷したいときに選択します。 ⑮で小冊子印刷を選択した場合に設定できます。
綴じしろ	チェックボックスをチェックすると、綴じ側の余白を設定できます。

⑰ 印刷プレビュー

印刷結果イメージを確認できます。［印刷プレビュー］をチェックすると、印刷プレビュー画面が表示されます。

(A)　印刷されるページのページ番号が表示されます。リストで選択したページのプレビューが表示されます。ページを印刷しない場合は、チェックをはずします。

(B)　(A) で選択したページのプレビューが表示されます。

小冊子印刷を設定していると、この機能は使用できません。

両面印刷を設定していると、(A) で使用しているページを削除できません。

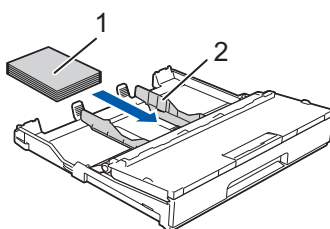
はがき（年賀状）に印刷する

操作方法は、お使いの OS やアプリケーションソフトによって異なります。

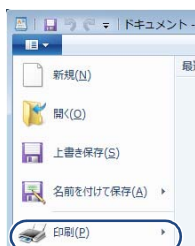
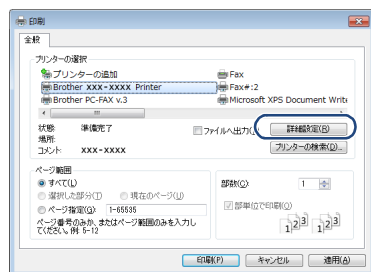
1 はがき (1) をトレイ (2) にセットする

印刷したい面を下にしてセットします。

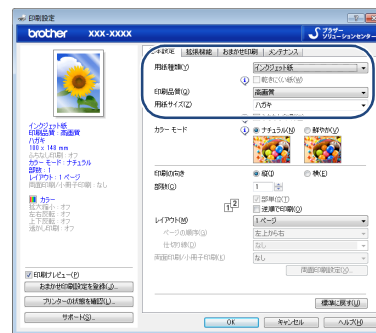
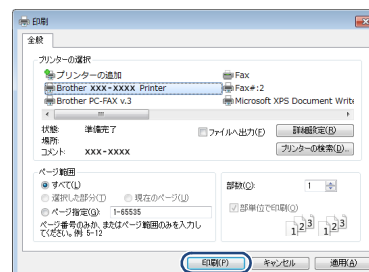
例：宛て先面に住所を印刷する場合

宛て先面を伏せて郵便番号欄を奥に向ける

はがきをセットする方法については、下記を参照してください。

⇒ユーザーズガイド 基本編「記録紙のセット」

2 はがき用データを作成したアプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選ぶ

3 ［印刷］ダイアログボックスで、接続している本製品のモデル名を選び、［詳細設定］をクリックする

4 ［基本設定］タブをクリックする

5 ［用紙種類］、［用紙サイズ］を設定し、［OK］をクリックする

例：インクジェット紙のはがきに印刷する場合は、［用紙種類］を［インクジェット紙］、［用紙サイズ］を［ハガキ］に設定します。

6 ［印刷］をクリックする

印刷が始まります。

はがき印刷のあと、タイプやサイズの違う記録紙に印刷するときは、プリンタードライバーの［用紙種類］および［用紙サイズ］を設定し直してください。

［拡張機能］タブの設定

選んだ設定を確定するときは、［OK］をクリックします。標準設定に戻すときは、［標準に戻す］をクリックします。

① カラー / モノクロ

［カラー］か［モノクロ］を選びます。

設定	内容
カラー	カラーで印刷されます。
モノクロ	256 階調のグレースケールで印刷されます。

● カラー設定

［カラー設定］をクリックすると、次のダイアログボックスが表示されます。

(A) 画質強調

チェックすると、次の各設定を変更できます。この機能は、画像を自動分析し、鮮明さ、ホワイトバランス、色の濃さを改善するものです。画像データの容量やパソコンの仕様によっても異なりますが、この処理には数分かかります。
画質強調は、画素数の少ないデジタルカメラの画像データに対して有効です。メガピクセルのデジタルカメラで撮影した画像データは、画質強調しないでプリントしてください。

•カラー濃度
　画像中のカラー全体の濃度（色の濃さ）を調整します。画像の色の量を増減し、色あせた画像や弱々しい画像を改善できます。

•ホワイトバランス
　画像中の白色部分の色合いを基準に、全体の色合いを調整します。白色部分を調整することで、より自然に近い色合いにプリントできます。

•明るさ
　画像全体の明るさを調整します。

•コントラスト（濃淡）
　画像のコントラスト（濃淡）を調整します。

•赤・緑・青
　画像中の各色（赤・緑・青）のバランスを調整します。
　例）全体に赤みを加えるには、赤の割合を増やします。

(B) 双方向印刷

チェックするとプリントヘッドが両方向から印刷を行います。
チェックを外すと、片方向印刷になります。印刷速度は遅くなりますが印刷品質は向上します。

設定	内容
チェックなし	一方向から印刷します。 （印刷品質が良い）
チェックあり	双方向から印刷します。 （印刷速度が速い）

(C)　パターン印刷を改善する

パソコンで表示されるパターンと異なる印刷がされる場合に選択します。

② インク節約モード

チェックすると、文字や画像などの内側を薄く印刷して、インクの消費量を抑えることができます。

文書の種類によっては、印刷結果がイメージと異なることがあります。

「インク節約モード」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

③ 拡大縮小

印刷したい内容の拡大縮小を設定します。

設定	内容
オフ	拡大縮小しないとき選びます。(画面に表示されたとおりに印刷されます。)
印刷用紙サイズに合わせます	印刷に使用する用紙サイズに合わせて、文書のサイズを拡大または縮小するとき選びます。
任意倍率	拡大または縮小したいとき選びます。(25 ～ 400%の間で、任意の倍率を設定します。)

④ 左右反転

チェックすると、左右を反転して印刷できます。

［用紙種類］で［OHP フィルム］を選んでいるときは設定できません。

⑤ 上下反転

チェックすると、上下を反転して印刷できます。

⑥ 透かし印刷を使う

チェックすると、背景に透かしをいれて印刷できます。

● 透かし印刷設定

⑥［透かし印刷を使う］にチェックを入れると、［設定］が表示されます。［設定］をクリックすると、次のダイアログボックスが表示されます。

(A)　透かし設定

使用する透かしを選びます。追加、変更をするときは、透かし印刷編集を表示して必要な項目を設定してください。

(B)　透過印刷する

チェックすると、設定した文字や画像が透かしとして印刷されます。

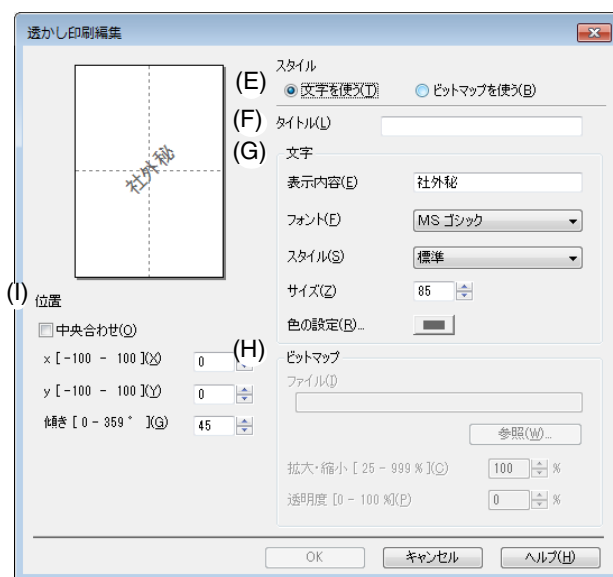
(C)　袋文字で印刷する

チェックすると、透かし文字が袋文字で印刷されます。透かしが文字の場合のみ設定できます。

(D)　カスタム設定

チェックすると、1 ページ目と 2 ページ以降で、異なった透かしを印刷できます。

● 透かし印刷編集

［追加］、［設定］をクリックすると、次のダイアログボックスが表示されます。

(E)　文字を使う / ビットマップを使う

透かしを文字にするか、画像（ビットマップ）にするかを選びます。

(F)　タイトル

透かしのタイトルが表示されます。新しく透かしを作るときは、ここにタイトルを入力します。

(G)　文字

透かしが文字の場合、［表示内容］に透かしにする文字を入力し、フォント、スタイル、サイズ、色を設定します。

(H)　ビットマップ

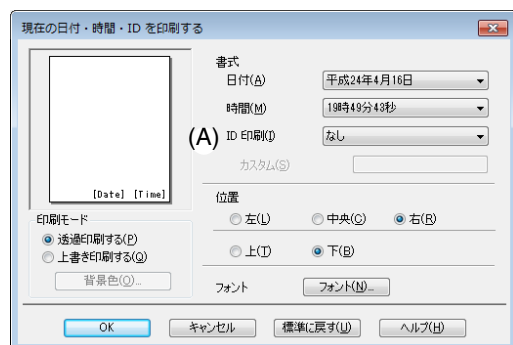
透かしがビットマップ形式の画像の場合、［参照］をクリックするか、データが保存されている場所のパスを入力して指定します。

また、画像のサイズや画像の濃さ（透明度）を設定できます。

(I)　位置

透かしを入れる位置を設定します。

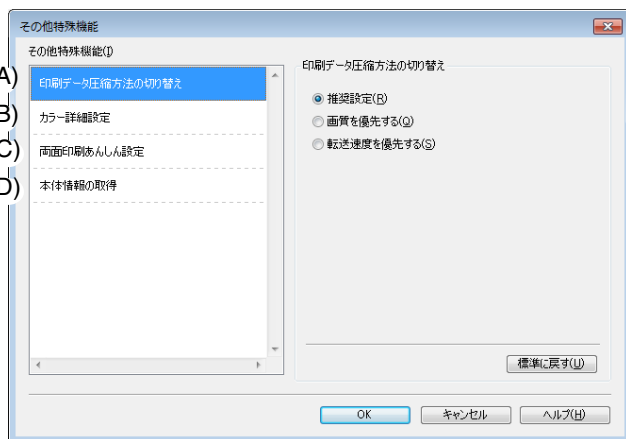
⑦ 現在の日付・時間・ID を印刷する

ヘッダー、フッターに印刷する文字を設定できます。
［現在の日付・時間・ID を印刷する］にチェックを入れると［設定］が表示されます。
［設定］をクリックすると次のダイアログボックスが表示されます。

(A) ID 印刷

以下の項目を選択すると、ログインユーザー名、または任意の文字も印刷できます。

設定	内容
なし	何も印刷しないときに選びます。
ログインユーザー名	ログインユーザー名を印刷したいときに選びます。
カスタム	印刷する文字を自分で設定したいときに選びます。

⑧ その他特殊機能

クリックすると、次のように表示されます。

(A) 印刷データ圧縮方法の切り替え

プリンターに転送するデータの圧縮方法を［推奨設定］、［画質を優先する］、［転送速度を優先する］から選択できます。通常は、［推奨設定］にしてください。

(B) カラー詳細設定

ハーフトーンを表現する点の位置を決めます。画像にあわせて適切な方法を選んでください。

設定	内容
誤差拡散	点を無作為に配置して、ハーフトーンを表現します。図表や微妙な影を持つ写真を印刷するのに適しています。
ディザ	色をあらかじめ決められたパターンで配置して、ハーフトーンを表現します。色の境界がはっきりしている図や業務用グラフなどを印刷するのに適しています。
モニターに合わせる	印刷する色をパソコンのモニターで見ている色に最も近くなるように調整します。

(C) 両面印刷あんしん設定

両面印刷のときの印刷方法を設定できます。
インクが滲んだり、紙がつまったりするときは次の項目を設定します。

設定	内容
オフ	通常の速度で印刷します。
あんしん 1	通常よりゆっくり印刷します。
あんしん 2	通常よりゆっくり印刷し、インクの消費量も抑えます。

A3、JIS B4 等、両面印刷できない用紙があります。

(D) 本体情報の取得

本機能は、お使いのマシンの本体情報を取得することにより、印刷結果を最適化します。マシンを交換した場合、もしくは、接続先のネットワークプリンタを変更した場合に実行します。
本機能を使用する場合は、プリンタードライバーの設定画面を（スタート）メニューから表示させてください。
⇒ 11 ページ「印刷設定画面を［スタート］メニューから表示する」

- エラーが表示された場合は、パソコンと本製品（プリンター）の接続状態などを確認して、再度［本体情報の取得］を行ってください。
- ［本体情報の取得］は一度行えば、お使いのパソコンに本体情報が保存される為、繰り返し行う必要はありません。
- 複数のパソコンを接続している場合は、それぞれのパソコンで［本体情報の取得］を行ってください。
- ［プリンタを共有］の設定をしている場合、共有サーバー側でのみ［本体情報の取得］は実行できます。また、共有サーバー側で一度実行すれば、クライアント側で再度実行する必要はありません。

サポート情報の表示

本製品にインストールされているドライバーのバージョンや設定情報、サポート情報を参照できます。

[Brother XXX-XXXX Printer のプロパティ］ダイアログボックスの［サポート］をクリックする

サポート画面が表示されます。

(A)　**ブラザーソリューションセンター（サポートサイトのご案内）**

クリックすると、よくあるご質問（Q&A）、最新のドライバーやソフトウェアのダウンロードなど、ブラザー製品に関する情報を提供しているホームページが表示されます。

(B)　innobella
（ブラザー純正消耗品のご案内）

クリックすると、ブラザー純正の消耗品に関する情報を提供しているホームページが表示されます。

(C)　**設定の確認**

クリックすると、現在の基本的なドライバー設定の一覧が表示されます。

(D)　**バージョン情報**

クリックすると、本製品にインストールされているドライバーの情報が表示されます。

［おまかせ印刷］タブの設定

本製品のプリンタードライバーには、あらかじめ［通常印刷（A4）］［写真印刷（L 版）］などの印刷設定が登録されています。登録されている設定を使うと、目的に応じた印刷が簡単に行えます。

① **項目**

目的に応じた印刷設定を選び、［OK］をクリックすると、設定内容が変更されます。

> 設定項目について詳しくは、次をご覧ください。
> 印刷部数、印刷方向、部単位で印刷
> ⇒ 15 ページ「［基本設定］タブの設定」
> 透かし印刷
> ⇒ 20 ページ「［拡張機能］タブの設定」

② **おまかせ印刷設定を登録**

クリックすると、新しい設定を登録できます。
⇒ 24 ページ「［おまかせ印刷］の設定を登録する」

③ **おまかせ印刷設定を削除**

クリックすると、選択した設定を削除できます。
⇒24 ページ「［おまかせ印刷］に登録した設定を削除する」

［おまかせ印刷］の設定を登録する

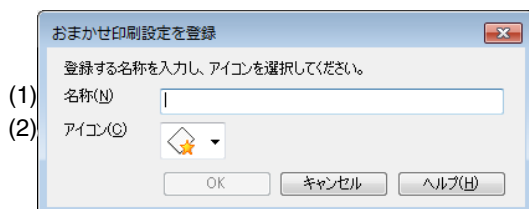
よく使う印刷設定を、［おまかせ印刷］に 20 ファイルまで登録できます。

1 プリンタードライバーで、登録したい印刷設定に変更する

⇒ 15 ページ「印刷の設定を変更する」

2 ［おまかせ印刷設定を登録］をクリックする

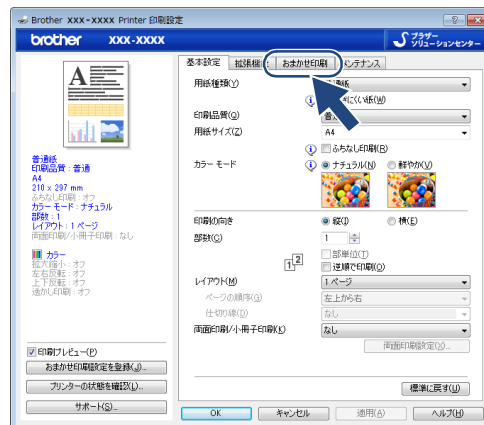
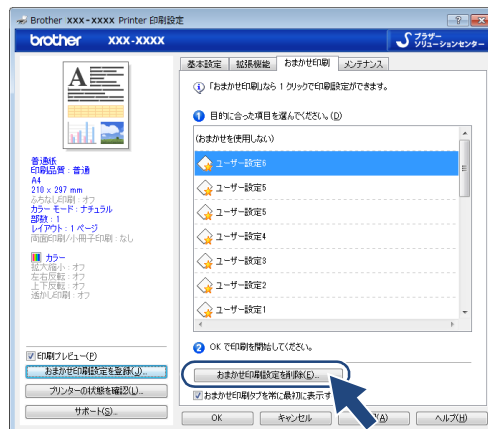
印刷設定を登録するダイアログボックスが表示されます。

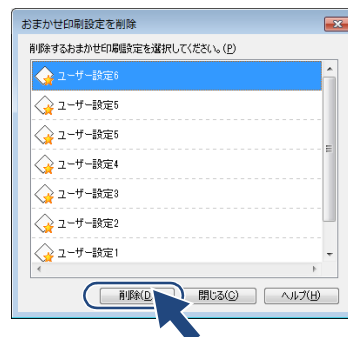
3 登録したい名称 (1) を入力し、アイコン (2) を選ぶ

4 ［OK］をクリックする

設定した印刷設定が、［おまかせ印刷］に登録されます。

［おまかせ印刷］に登録した設定を削除する

［おまかせ印刷］に登録した印刷設定を削除できます。

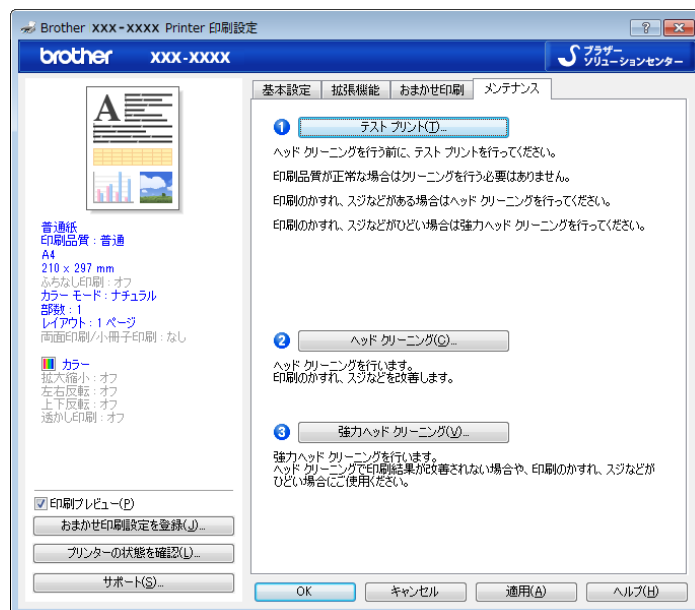
1 ［おまかせ印刷］タブをクリックする

2 ［おまかせ印刷設定を削除］をクリックする

印刷設定を削除するダイアログボックスが表示されます。

3 削除したい設定を選び、［削除］をクリックする

4 ［はい］をクリックします。

選択した印刷設定が、［おまかせ印刷］から削除されます。

お買い上げ時に登録されている印刷設定は削除できません。

[メンテナンス] タブの設定

適切な印刷品質を維持するために、本製品は必要に応じて自動的にプリントヘッドをクリーニングします。印刷品質に問題がある場合は、手動でクリーニングを行うこともできます。

① **テストプリント**

テストページを印刷して、印刷品質を確認することができます。

② **ヘッドクリーニング**

手動でクリーニングを開始することができます。文字や画像に縦線が表示されたり、文字部分が空白で印刷された場合は、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。プリントヘッドのクリーニングは、[全色]、[ブラック]、[カラー] から選択できます。

③ **強力ヘッドクリーニング**

ヘッドクリーニングより強力に、手動でクリーニングを開始することができます。印刷が薄く表示されたり汚れがあるなど、ヘッドクリーニングでは十分にプリントヘッドがクリーニングできていない場合は、この項目を選択します。プリントヘッドのクリーニングは、[全色]、[ブラック]、[カラー] から選択できます。

FaceFilter Studio で写真をプリントする

FaceFilter Studio は、簡単に写真をふちなし印刷できる Reallusion Inc. のソフトウェアです。赤目を修正したり、明るさを自動調整したりできます。

FaceFilter Studio
Brother Edition

FaceFilter Studio を使用する場合は、付属の CD-ROM に収録されている FaceFilter Studio をインストールする必要があります。

> FaceFilter Studio のインストール方法については、別冊の「かんたん設置ガイド」をご覧ください。
>
> ここでは、FaceFilter Studio の基本的な操作を説明します。操作の詳細については、FaceFilter Studio のヘルプをご覧ください。ヘルプは、（スタート）メニューから［すべてのプログラム］－［Reallusion］－［FaceFilter Studio］－［FaceFilter Studio ヘルプ］を選んで開いてください。

FaceFilter Studio を起動する

1　本製品の電源を入れる

2　（スタート）メニューから［すべてのプログラム］－［Reallusion］－［FaceFilter Studio］－［FaceFilter Studio］を選ぶ

本製品の電源が入った状態ではじめて FaceFilter Studio を起動すると、次の画面が表示され、本製品が自動的に検出されます。

3　［継続する］をクリックする

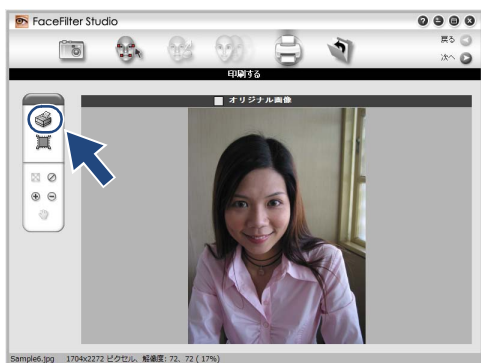
FaceFilter Studio がすべての機能が使える状態で起動します。

> 本製品の電源が切れた状態で FaceFilter Studio を起動すると、FaceFilter Studio が機能を制限された状態で起動します（機能制限版）。画面上部にあるメニューの印刷アイコンは薄く表示され、印刷機能は使用できません。また、写真は「FaceFilter」のすかし文字入りで表示・保存されます。
>
>
>
>
> FaceFilter Studio のすべての機能を利用するには、本製品の電源を入れてから、FaceFilter Studio を起動してください。

写真をプリントする

1 ［開く］をクリックして、プリントするデータを選ぶ

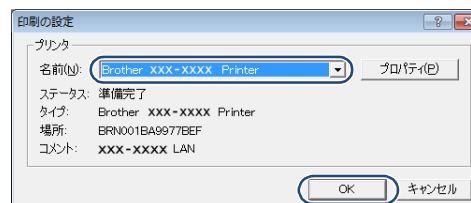
2 メニューバーの［印刷］をクリックする

3 左の［印刷］をクリックする

［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

4 用紙サイズ、用紙の向き、部数などを設定する

写真をふちなし印刷するには、［縮小拡大］の［フルページフォト］を選択するか、プリンタードライバーの［基本設定］タブで［ふちなし印刷］をチェックしてください。

5 ［印刷設定］をクリックする

6 本製品を選択し、［OK］をクリックする

ブラザー写真光沢紙を使用するには、［プロパティ］をクリックし、プリンタードライバーのダイアログボックスで、［用紙種類］と［印刷品質］を設定してください。

7 ［印刷］ダイアログボックスの［印刷］をクリックする

写真がプリントされます。

明るさを自動調整する（スマートポートレート）

スマートポートレートは、顔がはっきり見えるよう、画像の明るさを自動調整する機能です。

1. **［開く］をクリックして、調整するデータを選ぶ**
2. **スマートポートレートアイコンをクリックする**

   明るさが自動的に調整されます。

3. **スライダーをドラッグして、明るさを調節する**
4. **［OK］をクリックする**

   明るさが確定します。

赤目を修正する

フラッシュ撮影時の赤目を修正します。

1. **［開く］をクリックして、修正するデータを選ぶ**
2. **赤目修正アイコンをクリックする**

   赤目が自動的に修正されます。

> 「自動赤目探知」を使用すると、写真内のすべての赤目が自動的に探知され、点線の四角で囲まれます。［赤目限界値］のスライダーをドラッグすると、囲まれた領域の色を調節できます。

3. **［OK］をクリックする**

   赤目が修正されます。

表情を加工してプリントする

FaceFilter Studio では、表情テンプレートの利用または手動操作で、写真の人物の表情をさまざまに変化させることができます。「表情の選択」の操作では、選択した表情の一覧をプレビューで表示したりプリントしたりできます。

FaceFilter Studio をアンインストールする

1. **（スタート）メニューから［すべてのプログラム］－［Reallusion］－［FaceFilter Studio］－［Uninstall FaceFilter Studio］を選ぶ**

   画面の指示に従って、アンインストールします。

ホームページぷりんと 2 を使う

ホームページぷりんと 2 は、ウェブブラウザーで表示したホームページの画面をキャプチャーして印刷する、Corpus のソフトウェアです。画面を切り抜いたり貼り合わせたりして、編集することもできます。

- ホームページぷりんと 2 は付属の CD-ROM からインストールします。インストール方法については、別冊の「かんたん設置ガイド」をご覧ください。
- 本製品を接続したパソコンが、インターネットに接続されていることを確認してください。
- ウェブブラウザーは、Microsoft® Internet Explorer® 8.0/9.0 のご使用を推奨します。
- ホームページぷりんと 2 を起動するには、（スタート）メニューから［すべてのプログラム］－［ホームページぷりんと 2］を選びます。

第 2 章 スキャナー

スキャナーとして使う前に

ドライバーをインストールする必要があります

本製品をスキャナーとして使用する場合は、付属の CD-ROM に収録されているドライバーをインストールする必要があります。

また、スキャナーを便利に使いこなすために Presto! PageManager の使用をお勧めします。Presto! PageManager を使用すると、スキャンした文書や画像を管理したり、加工したりできます。

- ドライバーやソフトウェアのインストール方法については、別冊の「かんたん設置ガイド」をお読みください。
- OCR を利用するには、Presto! PageManager のインストールが必要です。
- Presto! PageManager は、スキャンした画像ファイルをテキストファイルに変換できます。漢字、ひらがな、カタカナ、アルファベット、アラビア数字および図表の入った原稿を認識できます。変換したファイルは TXT 形式、RTF 形式、HTML 形式、PDF 形式で保存できるので、Microsoft® Word や Adobe® Acrobat® で編集できます。
- 「Presto! PageManager」に関する詳細は、ソフトウェアに付属のヘルプを参照してください。なお、テクニカルサポートに関する情報は次のとおりです。
  ニューソフトジャパン株式会社　東京都港区新橋 6-21-3
  ニューソフトカスタマーサポートセンター
  Tel：03-5472-7008、Fax：03-5472-7009
  受付時間：10：00 ～ 12：00、13：00 ～ 17：00（土曜、日曜、祝祭日を除く）
  電子メール：support@newsoft.co.jp
  ホームページ：http://www.newsoft.co.jp
- TWAIN とは、スキャナーなどの画像入力デバイス用の関数（API）や手続きの集合体です。多くのスキャナーやグラフィックソフトウェアが TWAIN に対応しています。「Windows® Imaging Acquisition (WIA)」は Windows® でデジタルカメラやスキャナーなどから USB などを通して画像を取り込むためのものです。
- 本製品をネットワーク接続でご利用の場合、本製品のスキャンキーからネットワークスキャン機能を使うには、スキャンしたデータを受信するパソコンでスキャンキーの登録が必要です。初期設定では、スキャンしたデータは別冊の「かんたん設置ガイド」に記載されているインストール手順を行ったパソコンに保存されます。このまま使用する場合は設定の必要はありません。登録したパソコンの名前を変更する場合は、下記をご覧ください。
  ⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「ネットワークスキャンの設定」

スキャン方法を選ぶ

本製品を使ってスキャンするとき、目的に応じてスキャンの方法や使用するアプリケーションを使い分けてください。

やりたいこと	使用する機能または アプリケーション	詳細	ページ
スキャンデータを保存したい	ファイル	スキャンしたデータをパソコン上のハードディスクに保存します。	160ページ
	スキャン：メディア	スキャンしたデータを本製品に差し込んだメモリーカードや USB フラッシュメモリーに保存します。	164ページ
	FTP サーバー ネットワーク	スキャンしたデータを指定したサーバーに保存します。	171ページ
	Web サービス	Web Services 機能を使って、スキャンしたデータをパソコン上のハードディスクに保存します。	172ページ
スキャンデータを送りたい	E メール添付	スキャンしたデータをパソコンから新規メールとして送信します。（複数のユーザーに送ることができ、メールのタイトルや本文を編集できます。）	161ページ
スキャンデータを編集したい	TWAIN/WIA ドライバー対応のアプリケーション	解像度や色数、明るさ、スキャンの範囲など、詳細な条件を指定してスキャンできます。	32 ページ
	OCR	スキャンしたデータをテキストデータとして取り込み、Microsoft® Word 等で編集できます。	162ページ
	イメージ	スキャンしたデータを指定したアプリケーションで自動的に取り込み、編集できます。	163ページ

アプリケーションからスキャンする（TWAIN）

本製品のドライバーは TWAIN 対応です。ドライバーにより、TWAIN 対応の他のアプリケーション（「Presto! PageManager」や「Adobe® Photoshop®」など）で、画像を直接スキャンできます。

原稿をスキャンする

TWAIN 対応の他のアプリケーションから直接原稿をスキャンするときは、次の手順で操作します。ここでは、「Presto! PageManager」でスキャンする場合について説明します。原稿を連続して読み取ることのできる ADF（自動原稿送り装置）を使用して複数枚の原稿をスキャンできます。

> Presto! PageManager は付属の CD-ROM からインストールします。インストール方法については、別冊の「かんたん設置ガイド」をご覧ください。
>
> ADF（自動原稿送り装置）が搭載されているモデルは、MFC-J4510N です。

1 Presto! PageManager を起動する

2 ［ファイル］メニューから［ソースの選択］を選ぶ

3 接続している本製品（[TW-Brother XXX-XXXX]）を選択して、[OK] をクリックする

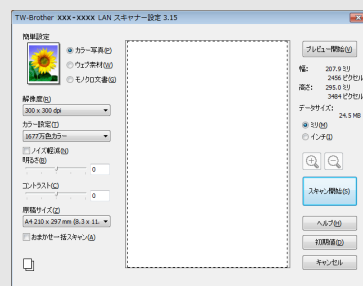
4 ［ファイル］メニューから［スキャンの設定］を選ぶ

5 [TWAIN ユーザーインターフェースを無効にする］のチェックを外して、[OK] をクリックする

6 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

> 両方に原稿をセットした場合は、ADF（自動原稿送り装置）にセットした原稿がスキャンされます。

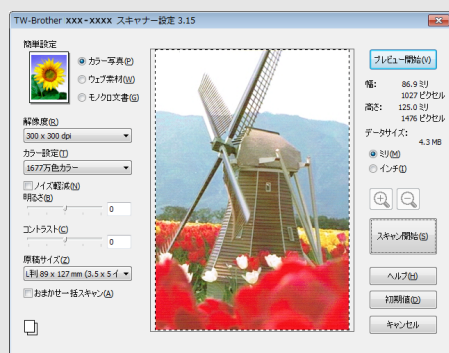
7 初期画面の をクリックする

TWAIN ダイアログボックスが表示されます。

- スキャンする前に画像を確認（プレビュー）し、スキャンの設定を変更する場合⇒手順 8 へ
- 設定を変えずにスキャンする場合⇒手順 11 へ

> ［おまかせ一括スキャン］を選択したとき、または［原稿サイズ］が［自動］のときは、プレビューができません。

8 ［プレビュー開始］をクリックする

> ADF（自動原稿送り装置）をお使いの場合：
> ・プレビューのため原稿が一度排出されます。複数枚の原稿をセットしている場合は、すべての原稿が読み込まれて排出されますが、プレビュー画面には 1 枚目の画像のみが表示されます。
> ・スキャンするときは、原稿をセットし直してから［スキャン開始］をクリックします。

低解像度で原稿がスキャンされ、プレビュー画像が表示されます。

9 点線をドラッグして、スキャンする範囲を調節する

マウスの左ボタンで点線の側面または端をドラッグします。

> ADF（自動原稿送り装置）で複数枚の原稿をスキャンする場合は、プレビュー画面に表示された１枚目の画像でスキャン範囲を指定すると、その指定範囲がすべての原稿に適用されます。

10 解像度や明るさなどの項目を設定する

TWAIN ダイアログボックスの設定について

⇒ 33 ページ「TWAIN ダイアログボックスの設定について」

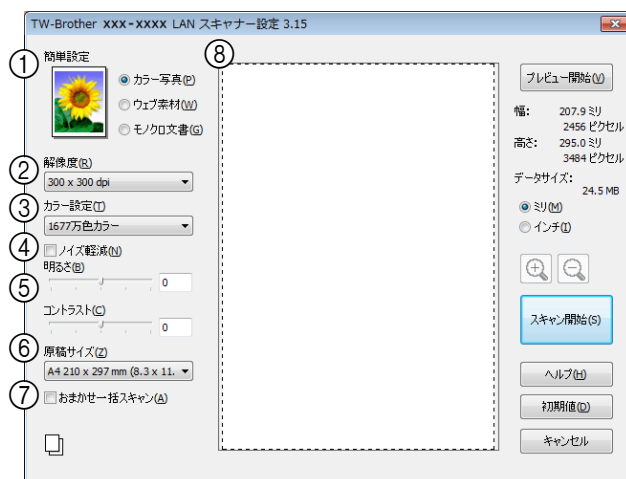
11 ［スキャン開始］をクリックする

原稿がスキャンされ、TWAIN ダイログボックスが閉じます。起動している「Presto! PageManager」に画像が表示されます。

12 画像を保存する

> 操作の詳細については、「Presto! PageManager」のヘルプを参照してください。

TWAIN ダイアログボックスの設定について

TWAIN ダイアログボックスでは、次の項目が設定できます。

① 簡単設定（イメージタイプ）

スキャンする原稿の種類や用途に応じて設定を選びます。選んだ設定に応じて、他の項目が最適に設定されます。

設定	内容
カラー写真	写真などのカラー原稿をスキャンするときに選びます。
ウェブ素材	スキャンした画像データをホームページに使用するときに選びます。
モノクロ文書	白黒の原稿をスキャンするときに選びます。

② 解像度

スキャンする解像度を選びます。解像度を高くするとデータの容量が大きくなりますが、より細かくスキャンされるので画像の質は向上します。選べる解像度と指定可能な色数の対応は次のとおりです。

解像度	モノクロ / グレー / 256 階調グレー	256 色カラー	1677 万色カラー
100 × 100dpi	○	○	○
150 × 150dpi	○	○	○
200 × 200dpi	○	○	○
300 × 300dpi	○	○	○
400 × 400dpi	○	○	○
600 × 600dpi	○	○	○
1200 × 1200dpi	○	×	○
2400 × 2400dpi	○	×	○
4800 × 4800dpi	○	×	○
9600 × 9600dpi	○	×	○
19200 × 19200dpi	○	×	○

- 必要以上に解像度を高く設定すると、必要なハードディスク空き容量とスキャンにかかる時間が増大します。適切な解像度を選んでください。
- 高い解像度でのスキャンは一般的に 600dpi 程度で十分ですが、上限は 2400dpi にすることをお勧めします。
- 4800dpi よりも高い解像度でスキャンするときは、スキャンする範囲を指定してください。

③ カラー設定

取り込む色数を設定します。

設定	内容
モノクロ	文字原稿や線画原稿のスキャンに適しています。
グレー	写真やグラフィックが含まれる原稿のスキャンに適しています。このモードでは、黒い点を原稿の濃淡に応じ一定の規則で配置することで、原稿の濃淡を擬似的に表現する方式でスキャンします。
256 階調グレー	写真やグラフィックが含まれる原稿のスキャンに適しています。
256 色カラー	カラーイラストが含まれる原稿のスキャンに適しています。
1677 万色カラー	カラー原稿のスキャンに適しています。このモードでは、ブラザーカラーマッチング技術を利用するため、最良のスキャン結果を得ることができます。

④ ノイズ軽減

スキャンした画像のノイズを軽減します。スキャンした画像に乱れがある場合や、印刷すると縞状のパターンが発生する場合に使用します。
1677 万色カラーで解像度が 300 × 300dpi、400 × 400dpi、または 600 × 600dpi の場合に設定できます。

⑤ 明るさ / コントラスト

必要に応じてつまみを左右にドラッグして明るさやコントラストを調節します。濃い原稿のときは明るめに、うすい原稿のときはコントラストを強くします。

- ③カラー設定で［モノクロ］を選んだ場合は［明るさ］のみが調節できます。［256 色カラー］を選んだ場合は［明るさ］、［コントラスト］の調節ができません。

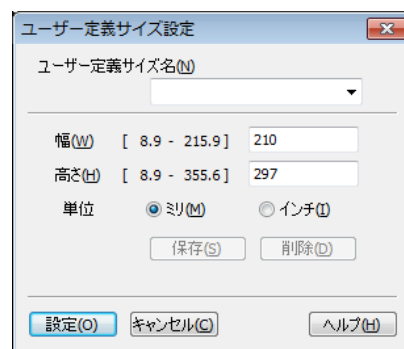
⑥ 原稿サイズ

次のいずれかのサイズを設定します。

設定	サイズ
自動＊ 1	自動で最適な原稿サイズが設定されます。
A4	210 × 297mm
JIS B5	182 × 257mm
レター	215.9 × 279.4mm
リーガル＊ 2	215.9 × 355.6mm
A5	148 × 210mm
JIS B6	128 × 182mm
A6	105 × 148mm
エグゼクティブ	184.1 × 266.7mm
名刺	90 × 60mm
ポストカード	101.6 × 152.4mm
インデックスカード	127 × 203.2mm
L 判	89 × 127mm
2L 判	127 × 178mm
ハガキ	100 × 148mm
往復ハガキ	148 × 200mm
ユーザー定義サイズ＊ 3	

＊ 1　「おまかせ一括スキャン」機能を使用する場合は、設定できません。

＊ 2　MFC-J4510N のみ

＊ 3　「ユーザー定義サイズ」を選んだ場合は、「幅」と「高さ」を入力します。8.9 × 8.9mm から 215.9 × 297mm まで調整できます。
ADF（自動原稿送り装置）を搭載しているモデルは、215.9 × 355.6mm まで調整できます。

- ユーザー定義サイズを選んだあとでも、スキャンの範囲をさらに調整できます。マウスの左ボタンで、スキャン範囲の点線をドラッグします。
- 名刺をスキャンするときは、名刺サイズ（90 × 60mm）の設定を選び、原稿台ガラスに名刺をセットしてください。

⑦ おまかせ一括スキャン

［原稿サイズ］で［自動］以外を選択すると、チェックボックスが有効になります。
チェックすると、原稿台ガラスに置かれた複数の原稿を一度にスキャンして、ファイルが作成されます。

次の点に注意して、原稿台ガラスに原稿をセットしてください。

- ADF（自動原稿送り装置）からおまかせ一括スキャンはできません。必ず原稿台ガラスに原稿をセットしてください。
- すべての角が直角（90°）の四角形の原稿のみスキャンできます。
- 下記の範囲を空けてセットしてください。
  左、奥：原稿台ガラスの端から 10mm 以上
  手前：原稿台ガラスの端から 20mm 以上
  右：A4 サイズの線から 10mm 以上
- 原稿の間隔を 10mm 以上空けてください。
- 原稿が 10°以上傾いていると、スキャンできないことがあります。
- 短辺に対して長辺が長すぎると、スキャンできないことがあります。
- 一度にスキャンできる原稿の枚数はサイズによって異なりますが、最大 16 枚（名刺は 8 枚）です。
- 原稿サイズを選択できません。
- プレビュー機能は使用できません。

本製品で複数の原稿を一度にスキャンして、パソコンを使用せずにメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存できます。
⇒ 164 ページ「スキャンしたデータをメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存する」

「おまかせ一括スキャン」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

⑧ スキャンする範囲

点線をドラッグして、スキャンする範囲を調節することができます。

アプリケーションからスキャンする（WIA）

本製品のドライバーは WIA 対応です。WIA 対応の他のアプリケーション（「Presto! PageManager」や「Adobe® Photoshop®」など）で、画像を直接スキャンできます。

原稿台ガラスから原稿をスキャンする

原稿台ガラスに原稿をセットしてスキャンするときは、次の手順で操作します。ここでは、「Presto! PageManager」でスキャンする場合について説明します。

> Presto! PageManager は付属の CD-ROM からインストールします。インストール方法については、別冊の「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

1 Presto! PageManager を起動する

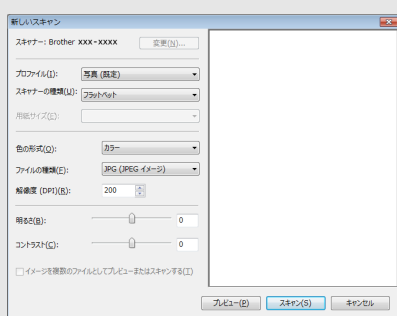
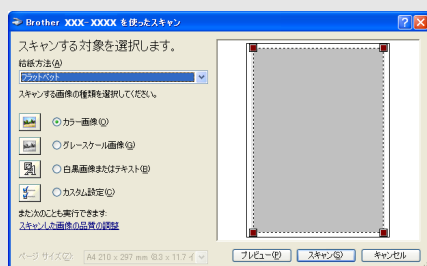
2 ［ファイル］メニューから［ソースの選択］を選び、接続している本製品（［WIA-Brother XXX-XXXX］）を選択する

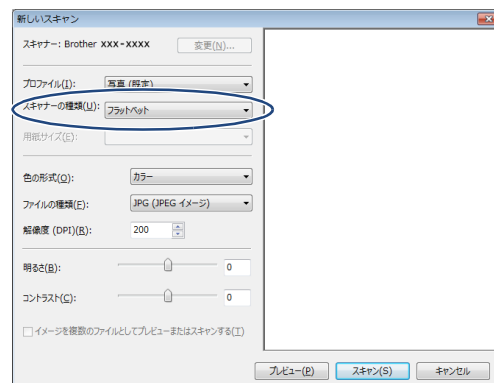
3 ［ファイル］メニューから［スキャンの設定］を選び、［TWAIN ユーザーインターフェースを無効にする］のチェックをオフにして、［OK］をクリックする

4 原稿台ガラスに原稿をセットする

5 初期画面の をクリックする

WIA ダイアログボックスが表示されます。

(A)　Windows Vista®、Windows® 7 の場合

(B)　Windows® XP の場合

- MFC-J4510N をお使いの場合⇒手順 6 へ
- DCP-J4210N をお使いの場合
  いったん画面を確認（プレビュー）するとき⇒手順 7 へ
  設定を変えずにスキャンするとき⇒手順 10 へ

6 ［スキャナーの種類（給紙方法）］で［フラットベット］を選ぶ

- いったん画像を確認する（プレビュー）する場合⇒手順 7 へ
- 設定を変えずにスキャンする場合⇒手順 10 へ

7 ［プレビュー］をクリックする

低解像度で原稿がスキャンされ、プレビュー画像が表示されます。

8 点線をドラッグしてスキャンする範囲を調節する

マウスの左ボタンで点線の側面または端をドラッグします。

9 スキャンする画像の種類や品質の項目を設定する

WIA ダイアログボックスの設定について

⇒ 39 ページ「WIA ダイアログボックスの設定について」

10 [スキャン] をクリックする

画像がスキャンされ、起動している「Presto! PageManager」に画像が表示されます。

11 画像を保存する

操作の詳細については、「Presto! PageManager」のヘルプを参照してください。

ADF（自動原稿送り装置）から原稿をスキャンする

原稿を連続して読み取ることのできる ADF（自動原稿送り装置）を使用して、複数枚の原稿をスキャンできます。ここでは、「Presto! PageManager」でスキャンする場合について説明します。

ADF（自動原稿送り装置）が搭載されているモデルは、MFC-J4510N です。

1 Presto! PageManager を起動する

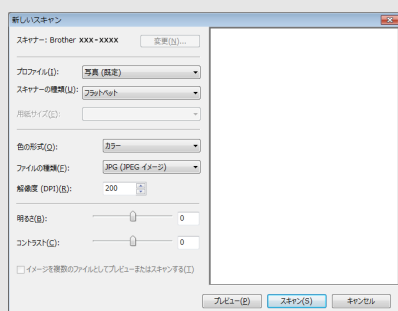
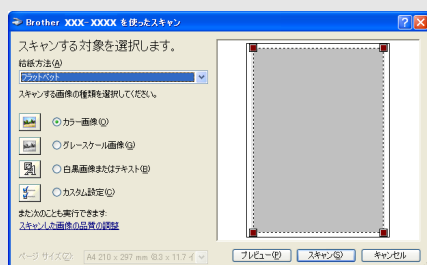
2 ［ファイル］メニューから［ソースの選択］を選び、接続している本製品（[WIA-Brother XXX-XXXX]）を選択する

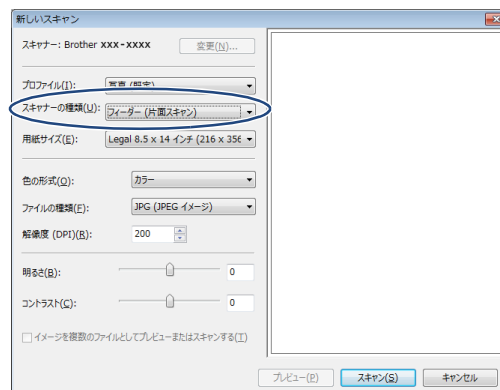
3 ［ファイル］メニューから［スキャンの設定］を選び、［TWAIN ユーザーインターフェースを無効にする］のチェックをオフにして、［OK］をクリックする

4 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

5 初期画面の をクリックする

WIA ダイアログボックスが表示されます。

(A)　Windows Vista®、Windows® 7 の場合

(B)　Windows® XP の場合

6 ［スキャナーの種類（給紙方法）］で［フィーダー（片面スキャン）］または［ドキュメント フィーダ］（Windows® XP の場合）を選ぶ

（Windows® XP の場合）［プレビュー］をクリックすると、プレビューのためすべての原稿が読み込まれて一度排出され、プレビュー画面に 1 枚目の画像のみが表示されます。読み取り範囲を指定することはできません。スキャンするときは、原稿をセットし直してください。

7 スキャンする画像の種類、ページサイズ、品質の項目を設定する

WIA ダイアログボックスの設定について

⇒ 39 ページ「WIA ダイアログボックスの設定について」

8 ［スキャン］をクリックする

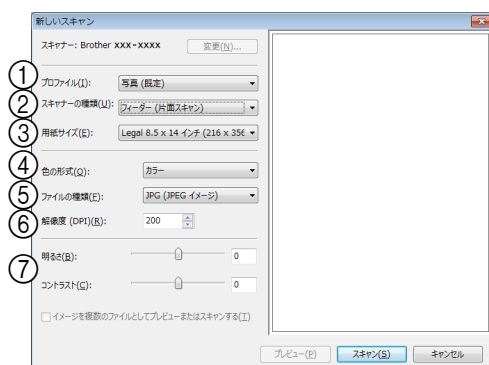
画像がスキャンされ、起動している「Presto! PageManager」に画像が表示されます。

9 画像を保存する

操作の詳細については、「Presto! PageManager」のヘルプを参照してください。

WIA ダイアログボックスの設定について

WIA ダイアログボックスでは、次の項目が設定できます。

(A)　Windows Vista®、Windows® 7 の場合

① プロファイル

［プロファイルの追加］、［ドキュメント］、［写真（規定）］から選択します。

② スキャナーの種類

（MFC-J4510N のみ）

原稿のセット方法を［フィーダー（片面スキャン）］、［フラットベット］から選択します。
［フィーダー（片面スキャン）］を選んだ場合は、ページサイズを指定します。また、画像のプレビューやスキャンする範囲の調整はできなくなります。

③ 用紙サイズ

（MFC-J4510N のみ）

②スキャナーの種類で［フィーダー（片面スキャン）］を選択した場合にページサイズを指定します。

④ 色の形式

スキャンする画像の種類に応じて設定します。

設定	内容
カラー	カラーのとき選びます。
グレースケール	写真を含む原稿で微妙な表現を要求されるときに選びます。（モノクロ 256 階調でスキャンします。）
白黒	テキストや線画の場合に選びます。（モノクロ 2 階調でスキャンします。）

⑤ ファイルの種類

［BMP（ビットマップイメージ）］、［JPG（JPEG イメージ）］、［PNG（PNG イメージ）］［TIF（TIFF イメージ）から選択します。

⑥ 解像度

スキャンする解像度を選びます。解像度を高くするとデータの容量が大きくなりますが、より細かくスキャンされるので画像の質は向上します。解像度は、100、150、200、300、400、600、1200dpi から選べます。

2400/4800/9600/19200dpi の解像度でスキャンするときは

2400/4800/9600/19200dpi の解像度を有効にするときは、「Scanner Utility」を使って設定を変更します。（元に戻すこともできます。）「Scanner Utility」は次の方法で起動します。

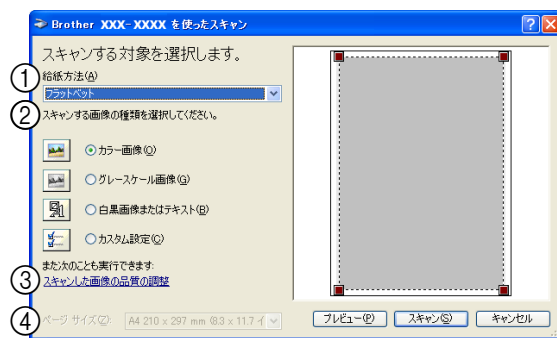
(1)　（スタート）メニューから［すべてのプログラム］－［Brother］－［（モデル名）］－［スキャナー設定］－［Scanner Utility］を選ぶ

◆「Scanner Utility」が起動します。

アプリケーションによっては、1200dpi 以上の解像度でのスキャンに対応していないことがあります。

⑦ 明るさ / コントラスト

必要に応じてつまみを左右にドラッグし、明るさやコントラストを調節します。濃い原稿のときは明るめに、うすい原稿のときはコントラストを強くします。

(B) Windows® XP の場合

① 給紙方法

（MFC-J4510N のみ）

原稿のセット方法を［ドキュメント フィーダ］、［フラットベッド］から選択します。
［ドキュメント フィーダ］を選んだ場合は、ページサイズを指定します。

② 画像の種類

スキャンする画像の種類に応じて設定します。

設定	内容
カラー画像	カラーのとき選びます。
グレースケール画像	写真を含む原稿で微妙な表現を要求されるときに選びます。（モノクロ 256 階調でスキャンします。）
白黒画像またはテキスト	テキストや線画の場合に選びます。（モノクロ 2 階調でスキャンします。）
カスタム設定	スキャンする項目を自由に設定できます。

③ スキャンした画像の品質の調整

［スキャンした画像の品質の調整］をクリックすると、［詳細プロパティ］ ウィンドウが表示され、スキャンする画像の詳細設定を調整できます。

(A) 明るさ / コントラスト

必要に応じてつまみを左右にドラッグし、明るさやコントラストを調節します。濃い原稿のときは明るめに、うすい原稿のときはコントラストを強くします。

(B) 解像度

スキャンする解像度を選びます。解像度を高くするとデータの容量が大きくなりますが、より細かくスキャンされるので画像の質は向上します。解像度は、100、150、200、300、400、600、1200dpi から選べます。

2400/4800/9600/19200dpi の解像度でスキャンするときは

2400/4800/9600/19200dpi の解像度を有効にするときは、「Scanner Utility」を使って設定を変更します。（元に戻すこともできます。）「Scanner Utility」は次の方法で起動します。

(1) （スタート）メニューから［すべてのプログラム］ － ［Brother］ － ［（モデル名）］ － ［スキャナー設定］ － ［Scanner Utility］を選ぶ

◆「Scanner Utility」が起動します。

アプリケーションによっては、1200dpi 以上の解像度でのスキャンに対応していないことがあります。

④ ページサイズ

（MFC-J4510N のみ）

①給紙方法で［ドキュメント フィーダ］を選択した場合にページサイズを指定します。

Windows® フォト ギャラリー、Windows® FAX とスキャンを使用する場合

Windows Vista®、Windows® 7 をお使いの場合、付属の「Windows® フォト ギャラリー」や「Windows® FAX とスキャン」で、画像を直接スキャンできます。

Windows® 7 は「Windows® FAX とスキャン」のみ対応しています。

原稿台ガラスから原稿をスキャンする

原稿台ガラスに原稿をセットしてスキャンするときは、次の手順で操作します。

1 原稿台ガラスに原稿をセットする

2 スキャナーとして、本製品を選ぶ

A)「Windows® フォト ギャラリー」の場合

(1) ［ファイル］－［カメラまたはスキャナからの読み込み］を選ぶ

(2) 接続している本製品のモデル名（Brother xxx-xxxx）を選んで、［読み込み］をクリックする

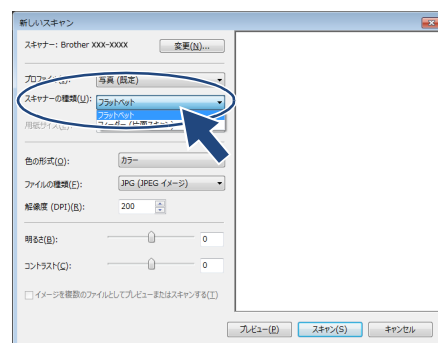
新しいスキャンダイアログボックスが表示されます。

B)「Windows® FAX とスキャン」の場合

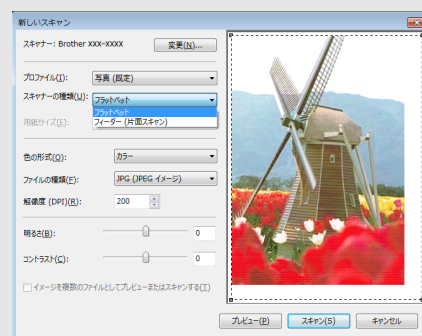
(1) ［ファイル］－［新規作成］－［スキャン］を選ぶ

(2) 複数台接続している場合は、本製品のモデル名（Brother xxx-xxxx）を選んで、［OK］をクリックする

新しいスキャンダイアログボックスが表示されます。

3 ［スキャナーの種類］で［フラットベット］を選ぶ

- いったん画像を確認する（プレビュー）する場合⇒手順 4 へ
- 設定を変えずにスキャンする場合⇒手順 7 へ

4 ［プレビュー］をクリックする

低解像度で原稿がスキャンされ、プレビュー画像が表示されます。

5 点線をドラッグしてスキャンする範囲を調節する

マウスの左ボタンで点線の側面または端をドラッグします。

6 スキャンする画像の種類や品質の項目を設定する

新しいスキャンダイアログボックスの設定について
⇒ 39 ページ「WIA ダイアログボックスの設定について」(A)Windows Vista®、Windows® 7 の場合

7 ［スキャン］をクリックする

A）「Windows® フォト ギャラリー」の場合

(1) ［画像とビデオを読み込んでいます］ダイアログが表示されたら、［読み込み］をクリックします。

画像がスキャンされ、起動している「Windows® フォト ギャラリー」に画像が表示されます。
また、保存先のフォルダが表示されます。

B）「Windows® FAX とスキャン」の場合

画像がスキャンされ、起動している「Windows® FAX とスキャン」に画像が表示されます。

8 画像が保存されていることを確認する

操作の詳細については、「Windows® フォト ギャラリー」または「Windows® FAX とスキャン」のヘルプを参照してください。

ADF（自動原稿送り装置）から原稿をスキャンする

原稿を連続して読み取ることのできる ADF（自動原稿送り装置）を使用して、複数枚の原稿をスキャンできます。

ADF（自動原稿送り装置）が搭載されているモデルは、MFC-J4510N です。

1 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

2 スキャナーとして、本製品を選ぶ

A)「Windows® フォト ギャラリー」の場合

(1) ［ファイル］－［カメラまたはスキャナからの読み込み］を選ぶ

(2) 接続している本製品のモデル名（Brother xxx-xxxx）を選んで、［読み込み］をクリックする

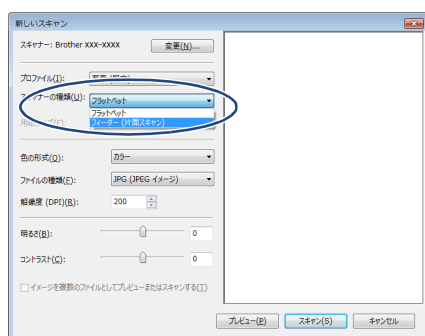
新しいスキャンダイアログボックスが表示されます。

B)「Windows® FAX とスキャン」の場合

(1) ［ファイル］－［新規作成］－［スキャン］を選ぶ

(2) 複数台接続している場合は、本製品のモデル名（Brother xxx-xxxx）を選んで、［OK］をクリックする

新しいスキャンダイアログボックスが表示されます。

3 ［スキャナーの種類］で［フィーダ（片面スキャン)］を選ぶ

4 スキャンする画像の種類、ページサイズ、品質の項目を設定する

新しいスキャンダイアログボックスの設定について

⇒ 39 ページ「WIA ダイアログボックスの設定について」(A)Windows Vista®、Windows® 7 の場合

5 ［スキャン］をクリックする

A)「Windows® フォト ギャラリー」の場合

(1) ［画像とビデオを読み込んでいます］ダイアログが表示されたら、［読み込み］をクリックします。

画像がスキャンされ、起動している「Windows® フォト ギャラリー」に画像が表示されます。
また、保存先のフォルダが表示されます。

B)「Windows® FAX とスキャン」の場合

画像がスキャンされ、起動している「Windows® FAX とスキャン」に画像が表示されます。

6 画像が保存されていることを確認する

操作の詳細については、「Windows® フォト ギャラリー」または「Windows® FAX とスキャン」のヘルプを参照してください。

原稿の文字を修正できるようにスキャンする

文字の入った原稿をスキャンして、テキストデータに変換します。変換されたテキストデータはパソコン上で文字を編集できるだけではなく、保存するデータ容量も小さくなります。ここでは Presto! PageManager から操作する方法を説明します。

> Presto! PageManager は付属の CD-ROM からインストールします。インストール方法については、別冊の「かんたん設置ガイド」をご覧ください。
>
> スキャンする原稿はできるだけ汚れなどの少ないきれいなものを使用してください。正しく文字が認識される確率が高くなります。

1　Presto! PageManager を起動する

2　［ファイル］メニューから［ソースの選択］を選び、接続している本製品（［TW-Brother XXX-XXXX］または［WIA-Brother XXX-XXXX］）を選択する

3　［ファイル］メニューから［スキャンの設定］を選び、［TWAIN ユーザーインターフェースを無効にする］のチェックをオンにする

4　［OK］をクリックする

5　ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

> ADF（自動原稿送り装置）が搭載されているモデルは、MFC-J4510N です。

6　をクリックする

原稿がスキャンされます。

7　をクリックする

スキャンした画像から文字認識を行います。

スキャン済みのデータを使用するときは

Presto! PageManager の表示エリアにあるスキャン済み画像データの中からテキストデータにしたいものを選択して、をクリックします。

BookScan&Whiteboard Suite を使う

BookScan&Whiteboard Suite は、以下の 2 つの機能を持った Reallusion, Inc. のソフトウェアです。

- スキャン画像の補正
  スキャンした本の画像の影や傾きを自動補正します。
- ホワイトボードの画像化
  デジタルカメラで撮影されたホワイトボードの画像を自動補正します。

BookScan&Whiteboard Suite は付属の CD-ROM からインストールします。インストール方法については、別冊の「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

BookScan&Whiteboard Suite の詳細については、BookScan&Whiteboard Suite のヘルプをご覧ください。ヘルプは、（スタート）メニューから［すべてのプログラム］－［Reallusion］－［BookScan&Whiteboard Suite］－［BookScan&Whiteboard Suite のヘルプ］を選んで開いてください。

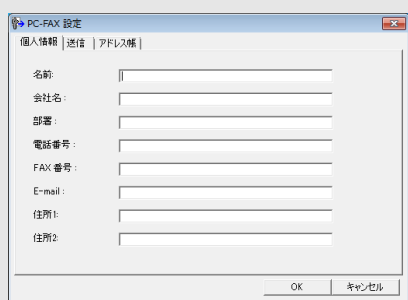
第 3 章 PC-FAX（MFC-J4510N のみ）

PC-FAX を使う前に

PC-FAX を利用すると、パソコン上のアプリケーションで作成したファイルを、ファクスとして送信できます。また、送付書を添付して送ることもできます。
PC-FAX を使うときは、あらかじめ PC-FAX アドレス帳に相手先を登録しておくと、ファクスの送信先を簡単に設定できます。（⇒ 51 ページ「PC-FAX アドレス帳を利用する」）また、個人情報を登録しておくと、ファクスや送付書に自分の名前や電話番号を自動的に入れることができます。

個人情報を登録する

ファクスのヘッダーと送付書に挿入される個人情報を設定します。

1 **（スタート）メニューから、［すべてのプログラム］－［Brother］－［(モデル名)］－［PC-FAX 送信］－［PC-FAX 設定］を選ぶ**

PC-FAX 設定画面が表示されます。

2 **［個人情報］タブをクリックし、個人情報を入力する**

電話番号およびファクス番号は、必ず市外局番から登録してください。ナンバーディスプレイの名前 / 着信履歴が正しく表示されない場合があります。

3 **［OK］をクリックする**

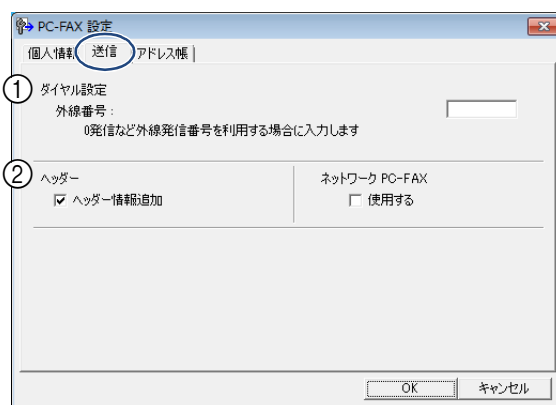
個人情報が保存されます。

送信の設定をする

ファクス送信に必要な設定をします。

1 **（スタート）メニューから、［すべてのプログラム］－［Brother］－［(モデル名)］－［PC-FAX 送信］－［PC-FAX 設定］を選ぶ**

PC-FAX 設定画面が表示されます。

2 **［送信］タブをクリックし、送信に関する設定をする**

① **ダイヤル設定**

外線への接続に必要な番号がある場合に入力します。この番号は、PBX やビジネスホンへ接続した環境で必要になる場合があります。本製品を単独で電話回線に接続する場合、入力は必要ありません。

② **ヘッダー**

送信するファクスの先頭にヘッダー情報を追加する場合に、チェックします。

3 **［OK］をクリックする**

送信設定が保存されます。

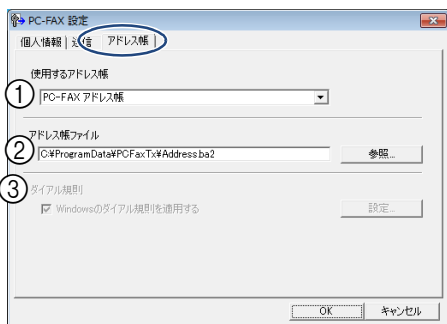
アドレス帳を設定する

相手先のファクス番号を PC-FAX アドレス帳に登録しておくと、送信先を簡単に指定できます。ここでは、使用するアドレス帳を設定します。

「Brother PC-FAX アドレス帳」をご利用の場合は、あらかじめアドレス帳を作成しておく必要があります。
⇒ 51 ページ「PC-FAX アドレス帳を利用する」

1 （スタート）メニューから、［すべてのプログラム］－［Brother］－［(モデル名)］－［PC-FAX 送信］－［PC-FAX 設定］を選ぶ

PC-FAX 設定画面が表示されます。

2 ［アドレス帳］タブをクリックし、アドレス帳に関する設定をする

① 使用するアドレス帳

送信先の設定やワンタッチダイヤルの設定に使用するアドレス帳を選びます。
通常は［PC-FAX アドレス帳］を選びますが、Windows® メールや Outlook®、Outlook Express のアドレス帳を利用する場合は、［Windows メールアドレス帳］、［Windows アドレス帳］、［Microsoft Outlook アドレス帳］、または［Outlook Express アドレス帳］を選びます。

② アドレス帳ファイル

ファイルのパスと名前を入力するか、［参照］をクリックしてアドレス帳ファイルを選びます。

Microsoft® Outlook® 2002/2003/2007/2010 に対応しています。

Outlook® のアドレス帳を使用するには、Outlook® が通常使用するメールソフトに設定されている必要があります。

③ ダイヤル規則

Windows® のダイヤル規則を使用するか指定します。

使用するアドレス帳の設定が［Microsoft Outlook アドレス帳］の場合のみ、この機能を設定できます。

3 ［OK］をクリックする

PC-FAX で使用するアドレス帳が設定されます。

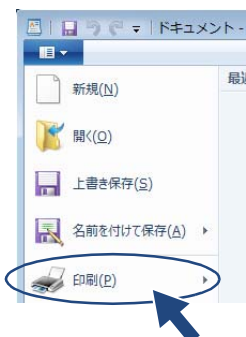
パソコンからファクスを送る

パソコン上のアプリケーションで作成したファイルをファクスとして送信します。

> PC-FAX は、モノクロのみ対応しています。（カラーのデータを送信しても、相手側のファクス機がカラーに対応している場合でもモノクロで送信されます。）

ファクスを送る

1 パソコン上のアプリケーションで送信したいファイルを作成する

2 アプリケーションで［ファイル］メニューから［印刷］を選ぶ

3 ［プリンターの選択］で［Brother PC-FAX v.X］を選び、［印刷］をクリックする

ファクス送信画面が表示されます。

4 ファクス番号を入力する

ファクス番号は次の方法で入力できます。

- テンキーでファクス番号を入力し、［送信先追加ボタン］をクリックする
- ［アドレス帳］をクリックし、アドレス帳から選ぶ

> Windows® メールや Outlook®、Outlook Express のアドレス帳のデータを使用することもできます。
> ⇒ 48 ページ「アドレス帳を設定する」

5 ［送信］をクリックする

ファクスが送信されます。

送るのをやめるときは

(1)　［キャンセル］をクリックする
◆ 送信が中止されます。

PC-FAX 送信画面について

PC-FAX 送信画面では、次の項目を設定できます。

① **送付書使用**

ファクスに送付書とコメントを付けて送信する場合に、クリックしてチェックを付けます。付けない場合はもう一度クリックしてチェックを消します。

② **送付書の作成**

送付書の内容を入力したり変更する場合にクリックします。

③ **アドレス帳**

相手先のファクス番号を登録しておくときにクリックします。

④ **ダイヤル制限機能**

クリックしてチェックを付けると、ファクス番号をもう一度入力するダイアログが表示されます。もう一度ファクス番号を入力して、先に入力した番号と一致した場合のみ送信先が確定できます。

⑤ **送信先の入力**

テンキーで入力した送信先が表示されます。

⑥ **消去**

ファクス番号を間違って入力したときにクリックします。

⑦ **送信先一覧**

指定した送信先が表示されます。

⑧ **送信先の指定**

入力したファクス番号を確定するときにクリックします。確定されたファクス番号は、送信先として右側に表示されます。

⑨ **全削除**

送信先一覧に表示された送信先をすべて削除するときにクリックします。

⑩ **再ダイヤル**

ファクスを再送する場合にクリックします。［再ダイヤル］をクリックするたびに、最新のものからさかのぼって 5 件表示されます。再送したいファクス番号が表示されたら、［送信］をクリックします。

⑪ **ポーズ**

ダイヤル番号の入力時に、ポーズ（待ち時間）を入れるときに押します。画面上に［-］が表示されます。

⑫ **テンキー**

送信先を入力するときにクリックします。

⑬ **キャンセル**

ファクスの送信を中止する場合にクリックします。

⑭ **送信**

FAX を実行するときにクリックします。

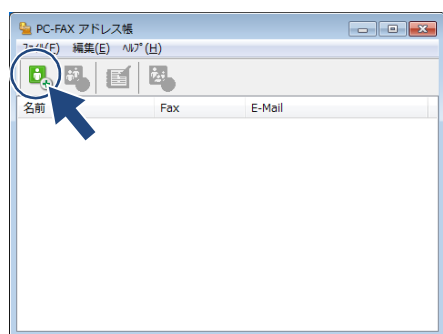
PC-FAX アドレス帳を利用する

PC-FAX を使うときは、PC-FAX アドレス帳に相手先のファクス番号を登録しておくと送信先を簡単に指定できます。PC-FAX アドレス帳データは、CSV 形式などで抽出（エクスポート）、読み込み（インポート）できるので、他のアプリケーションで使っているアドレス帳データも活用できます。また、ファクスを送るときは、送付書を添付することもできます。

PC-FAX アドレス帳に相手先を登録する

PC-FAX アドレス帳に送信先を登録します。

1 （スタート）メニューから、［すべてのプログラム］－［Brother］－［(モデル名)］－［PC-FAX 送信］－［PC-FAX アドレス帳］を選ぶ

PC-FAXアドレス帳を設定する画面が表示されます。

2 をクリックする

相手先を登録する画面が表示されます。

3 相手先の情報を入力する

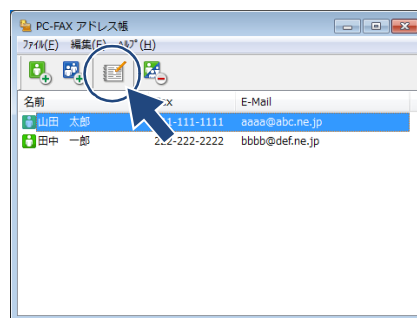
［名前］は必ず入力します。

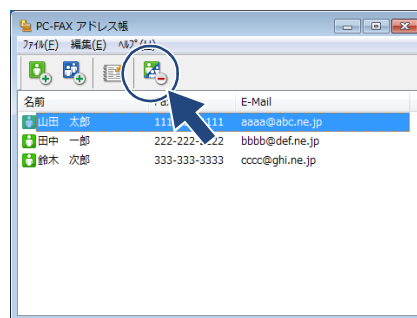
電話番号およびファクス番号は、必ず市外局番から登録してください。ナンバーディスプレイの名前 / 着信履歴が正しく表示されない場合があります。

4 ［決定］をクリックする

相手先の情報がPC-FAXアドレス帳に保存されます。

PC-FAX アドレス帳の登録情報を修正する

修正したい相手先をクリックし、をクリックします。登録情報を設定する画面が表示されるので、情報を修正します。

PC-FAX アドレス帳の登録情報を削除する

(1) 削除したい相手先をクリックし、をクリックする

◆ 削除を確認するメッセージが表示されます。

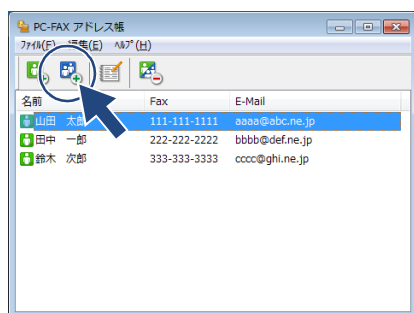
(2) ［OK］をクリックする

◆ 相手先が削除されます。

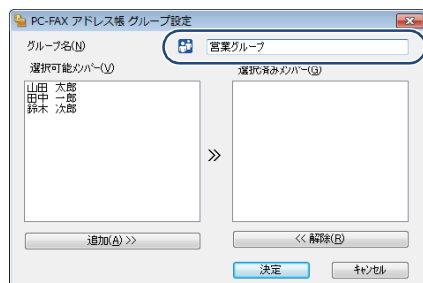
グループダイヤルに相手先を登録する

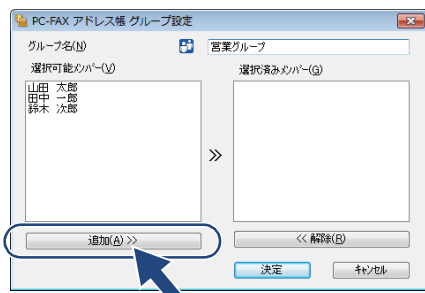
同じ内容のファクスを複数の相手先に何度も送信するときは、相手先を「グループ」として登録しておくと便利です。送信先として「グループ」を指定することで、一度の操作でグループに登録された複数の相手先にファクスを送ることができます。

1 **（スタート）メニューから、［すべてのプログラム］－［Brother］－［(モデル名)］－［PC-FAX 送信］－［PC-FAX アドレス帳］を選ぶ**

PC-FAX アドレス帳を設定する画面が表示されます。

2 **をクリックする**

グループを登録する画面が表示されます。

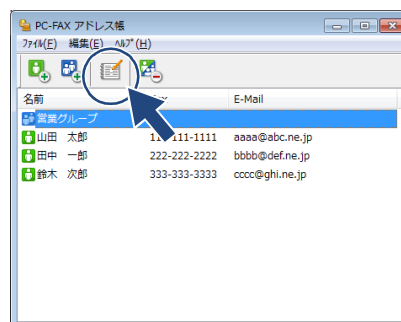
3 **［グループ名］を入力する**

4 **［選択可能メンバー］に表示されている相手先から、グループとして設定したい相手先を選び、［追加］をクリックする**

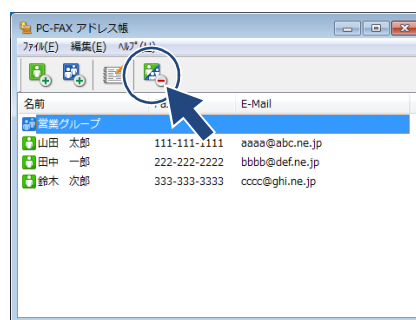
グループに登録したいメンバーについてこの操作を繰り返します。

選んだ相手先がグループのメンバーとして［選択済みメンバー］に表示されます。

5 **［決定］をクリックする**

グループの設定がPC-FAXアドレス帳に登録されます。

グループの登録情報を修正する

情報を修正したいグループをクリックし、をクリックします。登録情報を設定する画面が表示されるので、情報を修正します。

グループの登録情報を削除する

(1)　削除したいグループをクリックし、をクリックする

◆ 削除を確認するメッセージが表示されます。

(2)　［OK］をクリックする

◆ グループの設定が削除されます。（グループに登録されている個々の相手先の情報は削除されません。）

アドレス帳をエクスポートする

PC-FAX で設定したアドレス帳は、CSV 形式のファイル、vCard 形式のファイル、またはリモートセットアップで使用できるファイルとしてエクスポートすることができます。

- 「vCard」は、異なるプログラム、異なるハードウェアの間で使用できる「電子名刺」です。「vCard」の情報は、拡張子「.vcf」のファイルとして保存されます。E メールで個人情報をやり取りするために規格化された情報で、E メールの添付ファイルの機能を拡張し、氏名、電話番号、住所、会社名などをやり取りすることができます。
- グループの設定情報はエクスポートできません。

CSV 形式のファイルでエクスポートする

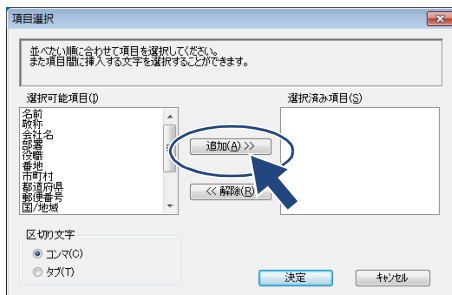
1 (スタート）メニューから、[すべてのプログラム] ー [Brother] ー [(モデル名)] ー [PC-FAX 送信] ー [PC-FAX アドレス帳] を選ぶ

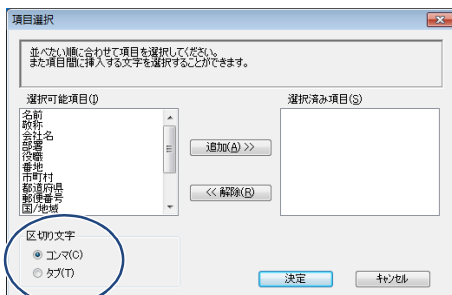
PC-FAXアドレス帳を設定する画面が表示されます。

2 [ファイル] メニューから、[エクスポート] ー [テキストファイル] を選ぶ

項目を選択する画面が表示されます。

3 エクスポートしたい項目を選び、[追加] をクリックする

追加したい項目について、この操作を繰り返します。

4 [区切り文字] を選ぶ

エクスポートされた項目の間が、[タブ] または [コンマ] のどちらで区切られるかを選びます。

5 [決定] をクリックする

6 ファイル名を入力し、[保存] をクリックする

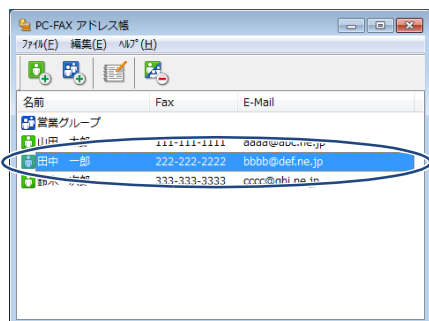
PC-FAX アドレス帳のデータが CSV 形式で保存されます。

vCard（vcf 形式）またはリモートセットアップのファイルとしてエクスポートする

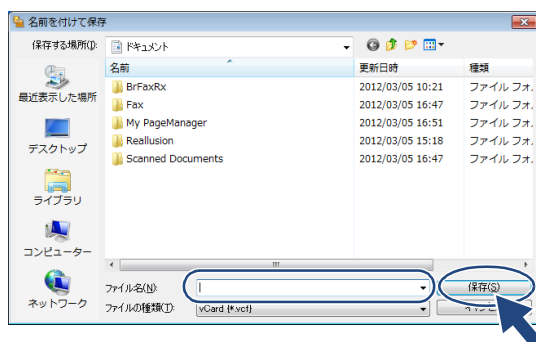
1 **（スタート）メニューから、［すべてのプログラム］ー［Brother］ー［(モデル名)］ー［PC-FAX 送信］ー［PC-FAX アドレス帳］を選ぶ**

PC-FAXアドレス帳を設定する画面が表示されます。

2 **エクスポートしたい相手先をクリックする**

リモートセットアップファイルとしてエクスポートする場合は、すべての相手先がエクスポートされるので、この操作は不要です。

3 **メニューを選ぶ**

- vCard 形式でエクスポートする場合
  ［ファイル］ー［エクスポート］ー［vCard］を選びます。
- リモートセットアップファイルとしてエクスポートする場合
  ［ファイル］ー［エクスポート］ー［リモートセットアップダイアルデータ］を選びます。

4 **ファイル名を入力し、［保存］をクリックする**

- vCard 形式でエクスポートする場合
  エクスポートしたい相手先について、手順 2 ～ 4 を繰り返します。

PC-FAX アドレス帳のデータが vcf 形式またはリモートセットアップファイルとして保存されます。

アドレス帳をインポートする

PC-FAX で設定するアドレス帳は、CSV 形式のファイル、vCard 形式のファイル、またはリモートセットアップのデータをインポートすることができます。

CSV 形式のファイルをインポートする

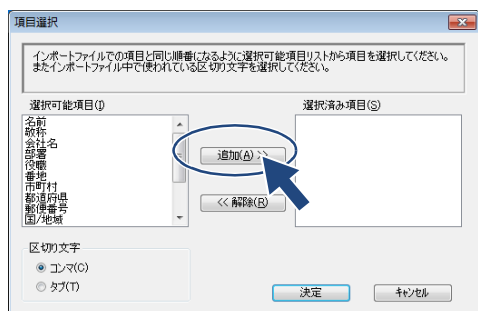
1 **（スタート）メニューから、［すべてのプログラム］ー［Brother］ー［(モデル名)］ー［PC-FAX 送信］ー［PC-FAX アドレス帳］を選ぶ**

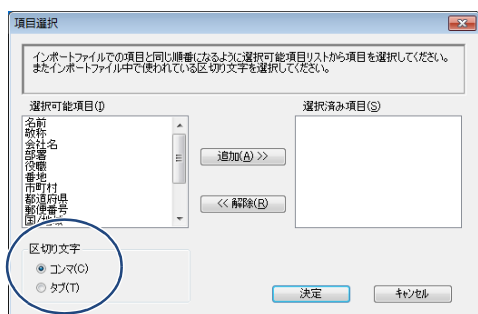
PC-FAX アドレス帳を設定する画面が表示されます。

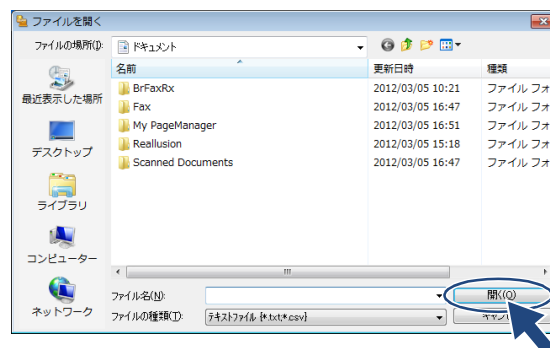
2 **［ファイル］メニューから、［インポート］ー［テキストファイル］を選ぶ**

項目を選択する画面が表示されます。

3 **インポートしたい項目を選び、［追加］をクリックする**

追加したい項目について、この操作を繰り返します。

4 **［区切り文字］を選ぶ**

インポートしたいファイルで使用されている区切り文字を、［コンマ］または［タブ］から選びます。

5 **［決定］をクリックする**

6 **ファイルを選び、［開く］をクリックする**

選んだ CSV 形式のデータが PC-FAX アドレス帳に追加されます。

vCard（vcf 形式）またはリモートセットアップ形式のファイルをインポートする

1 **（スタート）メニューから、［すべてのプログラム］ー［Brother］ー［(モデル名)］ー［PC-FAX 送信］ー［PC-FAX アドレス帳］を選ぶ**

PC-FAX アドレス帳を設定する画面が表示されます。

2 **［ファイル］メニューから、［インポート］ー［vCard］または［リモートセットアップダイアルデータ］を選ぶ**

3 **ファイルを選び、［開く］をクリックする**

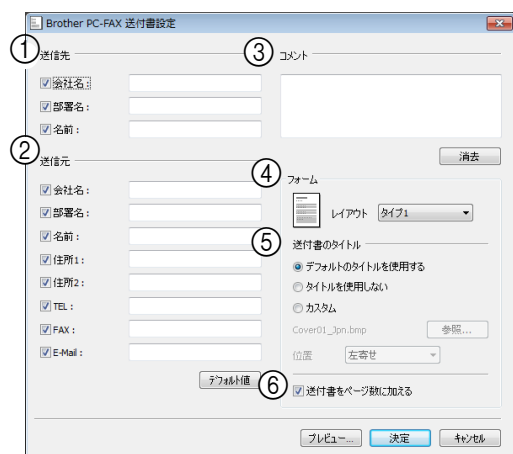
選んだデータが PC-FAX アドレス帳に追加されます。

送付書を作成する

PC-FAX では、ファクスを送信するときに「送付書」を添付できます。

1 PC-FAX 送信画面で、［送付書使用］にチェックを入れ、をクリックする

送付書を設定する画面が表示されます。

2 送付書の情報を入力する

① **送信先**

送信先の情報を入力します。相手先がグループのときは、送付書には印刷されません。アドレス帳から送信先を選んだ場合は、自動的に引用されます。

② **送信元**

送信元の情報を入力します。「個人情報」（⇒ 47 ページ「個人情報を登録する」）が設定されているときは自動的に引用されます。

③ **コメント**

送付書に追加するコメントを入力します。

④ **フォーム**

送付書のスタイルを選びます。

⑤ **送付書のタイトル**

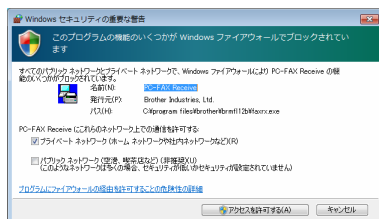
送付書のタイトルを選択します。
［カスタム］を選択すると、会社独自のロゴなどのビットマップファイルを挿入できます。［位置］で配置を選択します。

⑥ **送付書をページ数に加える**

チェックすると、送付書がファクスの送付枚数に含まれます。チェックを外すと、送付書は送付枚数に含まれません。

パソコンでファクスを受信する

受信したファクスメッセージを画像データとしてパソコンに保存します。

- PC-FAX 受信は、モノクロのみ対応しています。（カラーファクスを受信すると、データはパソコンに転送されず本製品で印刷されます。）
- PC-FAX 受信をご利用の間は、リモートセットアップの操作はできなくなります。
- ファクスを受信したとき、パソコンの電源が入っていなかったときや、パソコンとつながっていなかったときは、本製品に受信データを記憶させておくことができます。
- ネットワーク環境で Windows® XP Service Pack 2 以降をお使いの場合、PC-FAX 受信を起動すると Windows® セキュリティーの警告が表示されることがあります。その場合は［アクセスを許可する］または［ブロックを解除する］を選んでください。

本製品を PC-FAX 受信モードにする

1 を押し、【全てのメニュー】、【ファクス】、【受信設定】、【メモリ受信】を順に押す

キーが表示されていないときは、上下にフリックするか、▲ / ▼ を押して、画面をスクロールさせます。

2 【PC ファクス受信】を押す

3 メッセージを確認して、【OK】を押す

パソコンの「PC-FAX 受信」を起動させてください。

⇒ 58 ページ「PC-FAX 受信を起動する」

4 PC-FAX 受信を起動させたパソコンを、本製品の画面から選ぶ

USB 接続しているパソコンを選ぶ場合は、【< USB >】を選びます。
ネットワーク接続しているパソコンを選ぶ場合は、接続先のパソコンの名前を選びます。

- このとき、PC-FAX 受信が起動しているパソコンしか選択できません。

5 【OK】を押す

「みるだけ受信」が設定されている場合、受信したファクスは印刷されません。⇒手順 7 へ
「みるだけ受信」が設定されていない場合⇒手順 6 へ

- 「みるだけ受信」の設定・解除については、下記をご覧ください。
  ⇒ユーザーズガイド 基本編「ファクスを自動的に印刷する（みるだけ受信を解除する / 設定する）」

6 本製品で印刷するかどうかを選ぶ

- 【本体でも印刷する】：
  受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 【本体では印刷しない】：
  受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

7 を押す

- PC-FAX 受信をするパソコンを変更する場合は、手順 4 で受信先のパソコンを選び直してください。

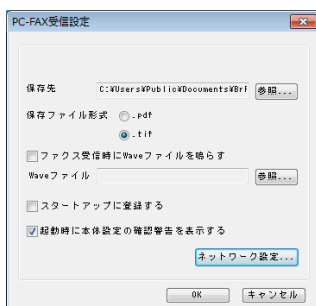
PC-FAX 受信を起動する

（スタート）メニューから［すべてのプログラム］－［Brother］－［(モデル名)］－［PC-FAX 受信］－［PC-FAX 受信を起動］を選ぶ

PC-FAX 受信ダイアログが表示されます。内容を確認して、［OK］をクリックしてください。

タスクトレイに PC-FAX のアイコンが表示されます。

17:43
2012/03/05

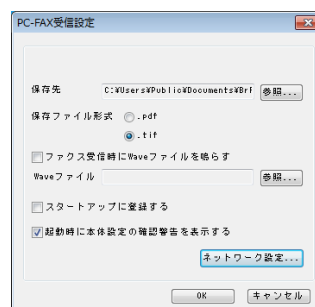
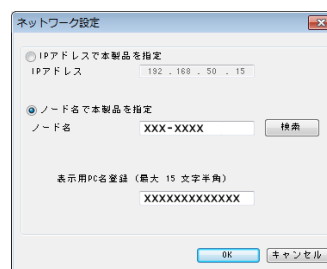
受信したときの内容を設定する場合は、タスクトレイの PC-FAX 受信アイコンを右クリックして［PC-FAX 受信設定］を選びます。

設定できる内容は次のとおりです。

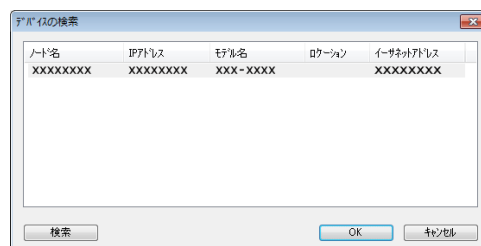
- **保存先**
  受信したファクスの保存先フォルダーを指定します。
- **保存ファイル形式**
  保存するファイル形式を PDF または TIFF から選択します。初期値は TIFF です。
- **ファクス受信時に Wave ファイルを鳴らす**
  着信音を鳴らすときはチェックボックスにチェックを入れ、着信音にする Wave ファイルを指定します。
- **スタートアップに登録する**
  パソコンを起動したときに自動的に PC-FAX 受信も起動するときはチェックボックスにチェックを入れます。
- **起動時に本体設定の確認警告を表示する**
  PC-FAX 受信を起動したときに、本体設定の確認警告画面を表示します。表示させたくない場合は、チェックボックスのチェックを外します。
- **ネットワーク設定**（USB 接続の場合は表示されません）
  ネットワーク環境で使用する場合に設定します。クリックすると、IP アドレスやノード名などの設定が行えます。
  ⇒ 58 ページ「PC-FAX 受信のネットワーク設定を変更する」

PC-FAX 受信のネットワーク設定を変更する

インストール時に設定された本製品を変更するときは、次の手順に従ってください。

1 タスクトレイの PC-FAX 受信アイコンを右クリックし、［PC-FAX 受信設定］を選ぶ

2 ［ネットワーク設定］をクリックする

3 本製品の IP アドレスまたはノード名を指定する

IP アドレスまたはノード名のいずれか適切な方法で指定してください。

- IP アドレスで本製品を指定
  ［IP アドレス］に本製品の IP アドレスを入力してください。
- ノード名で本製品を指定
  ［ノード名］に本製品のノード名を入力するか、［検索］をクリックして、一覧から本製品を選択してください。

- 表示用 PC 名登録
  本製品の画面に表示されるパソコンの名前を設定できます。［表示用 PC 名登録］に入力してください。

受信したときは

ファクスの受信を開始すると、タスクトレイの PC-FAX アイコンが と に点滅します。ファクス受信が終了すると、アイコンが に変わります。

1 をダブルクリックする

「Presto! PageManager」が起動し、アイコンが に戻ります。

受信したデータが保存されているフォルダーが自動的に表示されます。

2 ファイル名をダブルクリックして内容を確認する

受信したファクスには、受信した日時のファイル名が付けられています。
例）Fax 2013-5-20 16;40;21.tif

第 4 章 メモリーカードアクセス

パソコンからメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを使う

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

重要

- カードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口には、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー、PictBridge 対応デジタルカメラ以外のものを差し込まないでください。内部を壊す恐れがあります。
- 本製品がメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを読み込んでいるときは、電源プラグを抜いたり、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの抜き差しをしたりしないでください。データやメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを壊す恐れがあります。

2 つのメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを同時に挿入しても、最初に挿入したカードしか読み込みません。

著作権保護機能には対応していません。

1 メディアスロットカバーを開く

2 本製品のカードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口に、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを 1 つだけ差し込む

下記のメモリーカードおよび USB フラッシュメモリーを使用できます。

種類		セットする位置
• メモリースティック デュオ ™（最大 128MB） • メモリースティック PRO デュオ ™（最大 32GB）		上段に
• メモリースティック マイクロ ™（M2™）（最大 32GB）	アダプターが必要です	
• SD メモリーカード（最大 2GB） • SDHC メモリーカード（最大 32GB） • SDXC メモリーカード（最大 128GB） • マルチメディアカード（最大 2GB） • マルチメディアカード plus（最大 4GB）		下段に
• miniSD カード（最大 2GB） • microSD カード（最大 2GB） • miniSDHC カード（最大 32GB） • microSDHC カード（最大 32GB） • マルチメディアカード mobile（最大 1GB）	アダプターが必要です	
• USB フラッシュメモリー（最大 32GB）	22mm 以下 11mm 以下	

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーにアクセスする（USB 接続のみ）

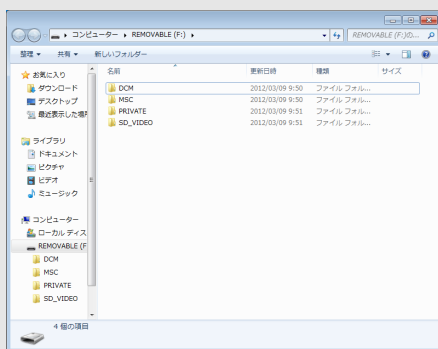
本製品に挿入したメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに USB 接続したパソコンからアクセスし、「リムーバブルディスク」として使用します。

1 メディアスロットカバーを開く

2 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを本製品にセットする

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーは、正しいカードスロットまたは差し込み口にしっかりと差し込んでください。

3 ［コンピューター］の［リムーバブルディスク］アイコンをダブルクリックする

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存されているファイルやフォルダーが表示されます。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのファイルは、パソコンへコピーできます。また、パソコンからメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーへファイルをコピーするなど、書き込みも行えます。

ネットワーク経由でメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする

本製品に挿入したメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにネットワークを経由してアクセスし、ファイルを表示したりコピーしたりできます。

- この機能は、ネットワーク対応モデルでのみ使用できます。
- ネットワーク経由で他のパソコンがメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスしている場合、同時にファイルの操作はできません。
- メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存された写真を本製品の画面に表示しているとき、および保存されたデータをプリントしているときは、パソコンからはアクセスできません。

1 メディアスロットカバーを開く

2 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを本製品にセットする

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーは、正しいカードスロットまたは差し込み口にしっかりと差し込んでください。

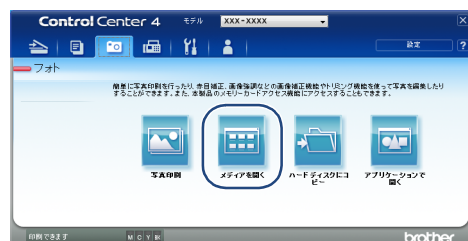
3 （スタート）メニューから［すべてのプログラム］－［Brother］－［(モデル名)］－［ControlCenter4］を選ぶ

ControlCenter4 のウィンドウが表示されます。

ControlCenter4 の［メモリーカードアクセス］または［メディアを開く］をクリックする

- Home モードの場合

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの内容が指定フォルダーにコピーされ、ControlCenter4 に表示されます。

- Advanced モードの場合

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの内容がエクスプローラーで表示されます。

ウェブブラウザーを起動し、アドレス欄に「ftp://(本製品の IP アドレス)」を入力してもアクセスできます。

メモリーカード、USB フラッシュメモリーのファイルは、パソコンへコピーできます。また、パソコンからメモリーカード、USB フラッシュメモリーへファイルをコピーするなど、書き込みも行えます。

ネットワーク経由でメモリーカードや USB フラッシュメモリー内のファイルを扱う場合は、ファイル名を半角英数字にしてください。漢字・ひらがな・カタカナなどのファイル名は文字化けすることがあります。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出す (USB 接続のみ)

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出すときは、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを損傷しないよう、次の手順で取り出します。

1. **メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを参照している Windows® のエクスプローラーなどをすべて閉じる**
2. **［コンピューター］の［リムーバブルディスク］アイコンを右クリックする**
3. **［取り出し］を選ぶ**
4. **本製品で［読み込み中］などのメッセージを表示していないことを確認し、そのまま引き抜く**

重 要

- 本製品がメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを読み込んでいるときは、電源プラグや USB ケーブルを抜いたり、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出したりしないでください。データが読めなくなったり、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが損傷を受けることがあります。

お願い

- 本製品がメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを読み込んでいるときに誤ってメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出した場合は、パソコンをすぐに再起動したあと、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを挿入してください。パソコンを再起動する前に他のメモリーカードまたはUSB フラッシュメモリーを挿入すると、データが破壊されることがあります。

第 5 章 リモートセットアップ（MFC-J4510N のみ）

リモートセットアップを利用する

リモートセットアップとは

本製品の設定は操作パネル上のナビゲーションキーとダイヤルボタンで行いますが、リモートセットアップを使うと、パソコンから簡単に行うことができます。
リモートセットアップで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

お願い

■ PC-FAX 受信をご利用の間はリモートセットアップの操作はできません。PC-FAX 受信を終了させてから操作してください。

- リモートセットアップ画面を開いているときは、本製品で他の操作をすることができません。
- 本製品の操作パネルから機能の設定や登録をしているときは、リモートセットアップ機能は使用できません。

本製品の設定をパソコンから変更する

リモートセットアップを使って本製品の設定を変更するときは、次の手順で操作します。

1 （スタート）メニューから、［すべてのプログラム］－［Brother］－［(モデル名)］－［リモートセットアップ］を選ぶ

本製品に設定されている内容のダウンロードには、数分間かかることがあります。

2 左側 (A) から設定したい項目を選び、右側 (B) の項目を設定する

表示される画面は、モデルによって異なります。

3 設定し終わったら、［OK］をクリックする

設定内容が本製品に送信され、「リモートセットアップ」を終了します。

- リモートセットアップは、ControlCenter4 からも実行できます。
- ネットワーク接続の場合、接続に失敗したときは、エラーメッセージが表示されます。エラーメッセージ画面の［検索］をクリックして、表示される機器の一覧から使用する機器を選び、再度設定してください。

その他の操作について

リモートセットアップでは、設定内容をファイルとして保存したり、印刷したりできます。

① エクスポート

現在の設定内容をファイルに保存します。

② インポート

ファイルに保存されている設定内容を読み込みます。

③ 印刷

電話帳登録画面を表示しているときは、「電話帳リスト」を印刷します。その他の設定を表示しているときは、「設定内容リスト」を印刷します。ただし、本製品に送信する前は印刷できないため、[適用] をクリックして新しいデータを送信してから、[印刷] をクリックしてください。

④ OK

設定した内容を本製品に送信するとともに、リモートセットアップを終了します。

送信の際に、エラーメッセージが表示された場合は、正しいデータを再度入力して、[OK] をクリックしてください。

⑤ キャンセル

設定した内容を本製品に送信しないで、リモートセットアップを終了します。

⑥ 適用

設定した内容を本製品に送信しますが、リモートセットアップは終了しません。

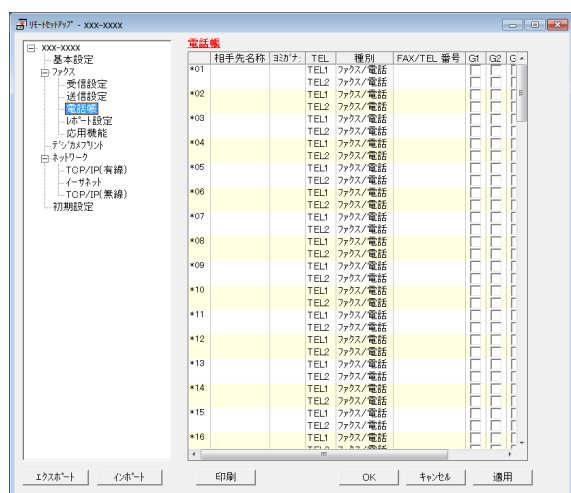
本製品の電話帳を作成・変更する

リモートセットアップを使って電話帳の登録、編集ができます。パソコンのキーボードを使用して名前などを入力できるので、本製品の操作パネルから入力する場合に比べて、簡単です。

本製品の漢字は、JIS 第一水準および第二水準に対応しています。

電話帳を作成・変更する

相手先の電話番号（ファクス番号）と名称を登録します。

1 リモートセットアップ画面の左側から［電話帳］を選ぶ

電話帳の画面が表示されます。

2 登録する行にある［相手先名称］に相手先の名前を入力する

全角で入力してください。10文字まで登録できます。

3 ［ヨミガナ：］に相手先名称の読みがなを入力する

半角カタカナで入力してください。16 文字まで登録できます。

4 ［種別］が［ファクス / 電話］になっていることを確認する

［ファクス / 電話］になっていない場合は、ダブルクリックして［ファクス / 電話］を選んでください。

5 ［FAX/TEL 番号］に電話、ファクス番号を入力する

電話、ファクス番号は、1 つの行に 2 つまで登録できます。

電話番号およびファクス番号は、必ず市外局番から登録してください。ナンバーディスプレイの名前 / 着信履歴が正しく表示されない場合があります。

6 ［OK］をクリックする

設定内容が本製品に送信され、「リモートセットアップ」を終了します。

電話帳にグループダイヤルを登録する

電話帳に登録した複数の相手先を 1 つのグループとして登録しておくと、一度の操作でグループに登録された相手先にファクスを送ることができます。グループは 6 つまで登録できます。

グループダイヤルも 1 件として登録されます。空きがなければ登録できません。

1 リモートセットアップ画面の左側から［電話帳］を選ぶ

電話帳の画面が表示されます。

2 登録する行にある［相手先名称］にグループ名を入力する

全角で入力してください。10文字まで登録できます。

3 ［ヨミガナ：］にグループ名の読みがなを入力する

半角カタカナで入力してください。16 文字まで登録できます。

4 ［種別］の［ファクス / 電話］をダブルクリックして、グループ番号を選ぶ

グループ番号は「1 ～ 6」から選びます。

例）ここでは［グループ 2］を選びます。

5 グループに登録する相手先のグループ番号のチェックボックスにチェックを入れる

例）グループ 2 に登録する場合は、［G2］にチェックを入れます。

6 ［OK］をクリックする

設定内容が本製品に送信され、「リモートセットアップ」を終了します。

［OK］をクリックしてもエラー画面が表示される場合、エラー内容をよくお読みになり、画面の指示に従ってください。次のような場合にもエラーが表示されます。

・相手先のグループ番号に 1 つもチェックが入っていない。

・違うグループの行にチェックが入っている。

・相手先の［FAX/TEL 番号］が入力されていない行のグループ番号にチェックが入っている。
・使用できない文字が入力されている。
・入力文字制限数を超えて入力されている。

第 6 章 便利な使い方（ControlCenter4）

ControlCenter4 とは

本製品を設置したときにインストールされるソフトウェアのひとつで、本製品が持つスキャナー、PC-FAX、メモリーカードアクセス等、様々な機能の入り口としての役割を持っています。

ControlCenter4 のモード

ControlCenter4 には、「Home」と「Advanced」の 2 種類のモードが用意されています。ご使用方法にあったモードをお選びください。

- Home モード
  写真印刷やスキャン、PC ファクスなどの基本的な機能を使うことができる、初級者向けのモードです。簡単な操作で機能を実行することができます。

- Advanced モード
  Home モードに比べて、各機能の細かな設定を行うことができる、中級者～上級者向けのモードです。あらかじめ設定を保持しておくことができます。

ControlCenter4 を起動する

インストール直後は、パソコンを起動したときに、ControlCenter4 も起動する設定になっています。
（タスクトレイに が表示されています。）

タスクトレイに が表示されていないときは、次の手順で ControlCenter4 を起動してください。

（スタート）メニューから［すべてのプログラム］-［Brother］-［(モデル名)］-［ControlCenter4］を選ぶ

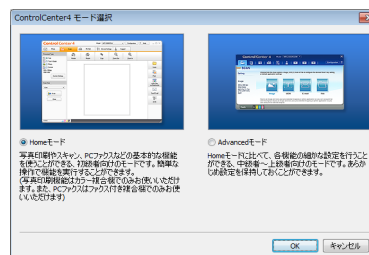
タスクトレイに が表示され、ControlCenter4 のウィンドウが表示されます。

ControlCenter4 のモードを変更する

「Home」と「Advanced」の 2 種類から選択できます。

1 **［設定］をクリックして、［モード選択］を選ぶ**

ウィンドウデザインの選択ダイアログボックスが表示されます。

2 **［Home モード］または［Advanced モード］を選び、［OK］をクリックする**

ControlCenter4 のモードが変更されます。

Home モードで使う

Home モードでは本製品の基本的な機能を簡単な操作で使うことができます。
各機能の詳細は、ControlCenter4 のヘルプを参照してください。

① フォト

パソコンやメモリーカード内の画像ファイルの印刷やメール送信などができます。

② スキャン

原稿をスキャンします。画像ファイルとして保存したり、E メールにデータを添付したりできます。

③ PC-FAX

（MFC-J4510N のみ）

スキャンしたデータをファクスとして送信します。ファクスの受信もできます。

④ デバイス設定

操作パネルのスキャンキーの設定や、電話帳の登録などが行えます。

⑤ サポート

ブラザーソリューションセンター、またはヘルプを表示します。

⑥ モデル

お使いの製品のモデル名を選択します。

⑦ 設定

ControlCenter4 のモードの変更や、起動の設定が行えます。

⑧ ヘルプ

ヘルプを表示します。

⑨ デバイスステータス

本製品の状態とインクの残量が表示されます。
クリックすると、ステータスモニターのウィンドウを表示できます。

フォト

パソコンやメモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像ファイルを確認できます。また、画像ファイルの印刷やメール送信などができます。
各機能の詳細は、ControlCenter4 のヘルプを参照してください。

① **メモリーカードアクセス**

本製品のカードスロットに挿入された外部メディア内の画像ファイルを、パソコンのフォルダーにコピーします。

② **My CC4 フォルダー**

マイドキュメント内にある ControlCenter4 フォルダーを表示します。

③ **デスクトップ**

パソコンにある全フォルダーを、デスクトップを起点にしてツリー表示します。

④ **イメージビューワー**

選択中のフォルダー内の画像ファイルが表示されます。

⑤ **印刷**

イメージビューワーで選択した画像ファイルを印刷します。

⑥ **編集**

イメージビューワーで選択した画像ファイルを編集できます。

⑦ **E メール送信**

イメージビューワーで選択した画像ファイルをメール送信できます。

⑧ **アプリケーションで開く**

イメージビューワーで選択した画像ファイルをアプリケーションで開きます。

画像を印刷する

画像ファイルを印刷できます。

1 画像を選択する

2 ［印刷］をクリックする

印刷設定画面が表示されます。

3 必要に応じて、各項目を設定する

画像右下に撮影日時を印刷したいときは、［詳細設定］をクリックして詳細設定画面を表示し、［撮影日を印刷する］にチェックを入れてください。

4 ［印刷開始］をクリックする

画像ファイルが印刷されます。

画像を編集する

画像ファイルを編集できます。

1 画像を選択する

2 ［編集］をクリックする

編集画面が表示されます。

3 画像を編集する

4 ［保存］をクリックする

画像ファイルが保存されます。

画像を E メールで送る

画像ファイルを添付ファイルとして、E メールを送ることができます。

1 画像を選択する

2 [E メール送信] をクリックする

メールソフトの送信画面が起動し、選択したファイルが添付ファイルとして表示されます。

- メールソフトが起動します。
- Web メールには対応していません。
スキャンした画像を Web メールに添付して送る場合は、スキャンした画像データを一度パソコンに保存してから、別途 Web メールを起動し、そのデータを添付してください。

画像をアプリケーションに送る

アプリケーションで開いて、編集することができます。

1 画像を選択する

2 [アプリケーションで開く] をクリックする

3 アプリケーションを選択する

アプリケーションが起動し、画像ファイルが表示されます。

外部メディアの画像をパソコンへコピーする

本製品のカードスロットに挿入された外部メディア内の画像ファイルをパソコンへコピーできます。

1 ［メモリーカードアクセス］をクリックする

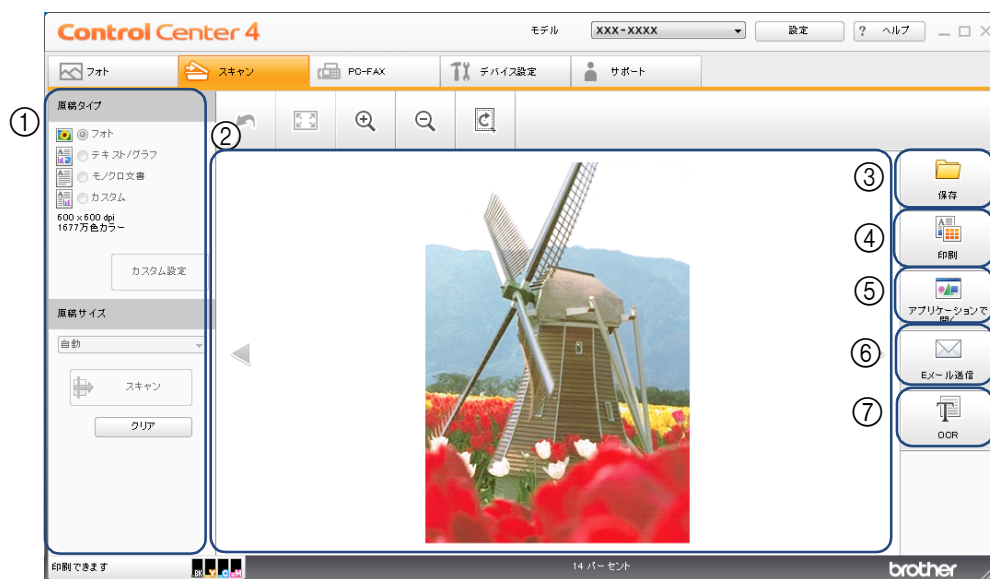
コピー設定画面が表示されます。

2 保存先フォルダーを選択する

3 ［OK］をクリックする

保存先フォルダーに、画像ファイルが保存されます。

スキャン

各種スキャン機能がまとめられています。使用目的に応じたスキャン機能をお選びください。
各機能の詳細は、ControlCenter4 のヘルプを参照してください。

① **スキャン設定エリア**

スキャン の設定ができます。

② **イメージビューワー**

スキャンした画像ファイルを拡大、縮小、回転させたり、切り取ったりできます。

③ **保存**

スキャンした画像ファイルを所定のフォルダー に保存します。

④ **印刷**

スキャンした画像ファイルを印刷します。

⑤ **アプリケーションで開く**

スキャンした画像ファイルをアプリケーションに送ります。

⑥ **E メール送信**

スキャンした画像ファイルをメール送信できます。

⑦ **OCR**

文字の入った原稿をスキャンして、文字データ（テキストデータ）に変換し、指定したアプリケーションから表示できます。

ファイル形式について

それぞれの機能で、保存する際のファイル形式を選択することができます。
［保存］/［アプリケーションで開く］/［E メール送信］の場合

- Windows® ビットマップ（*.bmp）
- JPEG（*.jpg）
- TIFF（*.tif）
- TIFF マルチページ（*.tif）
- Portable Network Graphics（*.png）
- PDF（*.pdf）
- 高圧縮 PDF（*.pdf）
- パスワード付き PDF（*.pdf）
- サーチャブル PDF（*.pdf）
- XML Paper Specification（*.xps）

［OCR］の場合

- テキストファイル（*.txt）
- リッチテキスト形式（*.rtf）
- HTML（*.htm）
- サーチャブル PDF（*.pdf）

TIFF および TIFF マルチページは、設定画面で［圧縮］または［非圧縮］を選択できます。

XML Paper Specification は、Windows Vista®、Windows® 7 に標準でインストールされている XML ベースの文書フォーマットです。

パスワード付き PDF は、［保存］または［E メール送信］で選択できます。

ファイル形式で［高圧縮 PDF（*.pdf）］を選択するには、解像度が［300 × 300dpi］、カラー設定が［256 階調グレー］または［1677 万色カラー］である必要があります。

ファイル形式で［サーチャブル PDF（*.pdf）］を選択するには、Presto! PageManager のインストールが必要です。

OCR を利用するには Presto! PageManager のインストールが必要です。

原稿サイズについて

プルダウンメニューから原稿サイズを選択できます。［1 to 2（A4）］を選択した場合は、スキャンされたイメージは A5 サイズ 2 枚に分割されます。
また、［2 in 1（A4）］を選択した場合は、スキャンされたイメージは A3 サイズ 1 枚に結合されます。

詳細設定について

各種スキャン機能の設定画面で［詳細設定］をクリックすると、次の項目を設定できます。

① 地色除去

両面に印刷された原稿の裏移りを防ぎます。また、新聞のように原稿の背景にある色を取り除きます。

原稿をスキャンして画像を保存する

原稿をスキャンして画像ファイルをパソコンの指定したフォルダーに保存します。

1. **原稿をセットする**
2. **必要に応じて、スキャンの設定を変更する**
3. **［スキャン］をクリックする**

   スキャンした画像のプレビューが表示されます。
4. **必要に応じて、スキャンした画像を編集する**
5. **［保存］をクリックする**

   ［保存］ダイアログボックスが表示されます。
6. **保存先のフォルダー等の項目を設定する**
7. **［OK］をクリックする**

   設定した保存先に、画像ファイルが保存されます。

原稿をスキャンして画像を印刷する

原稿をスキャンして画像ファイルを印刷できます。

1. **原稿をセットする**
2. **必要に応じて、スキャンの設定を変更する**
3. **［スキャン］をクリックする**

   スキャンした画像のプレビューが表示されます。
4. **必要に応じて、スキャンした画像を編集する**
5. **［印刷］をクリックする**

   印刷設定画面が表示されます。
6. **必要に応じて、印刷設定を変更する**
7. **［印刷開始］をクリックする**

   スキャンした画像が印刷されます。

原稿をスキャンしてアプリケーションに送る

スキャンした画像ファイルをアプリケーションで開いて、編集することができます。

1. **原稿をセットする**
2. **必要に応じて、スキャンの設定を変更する**
3. **［スキャン］をクリックする**

   スキャンした画像のプレビューが表示されます。

4. **必要に応じて、スキャンした画像を編集する**
5. **［アプリケーションで開く］をクリックする**

   ［アプリケーションで開く］ダイアログボックスが表示されます。

6. **ドロップダウンリストからアプリケーションを選択し、［OK］をクリックする**

   選択したアプリケーションが起動し、画像ファイルが表示されます。

原稿をスキャンして E メールで送る

スキャンした画像ファイルを添付ファイルとして、E メールを送ることができます。

1. **原稿をセットする**
2. **必要に応じて、スキャンの設定を変更する**
3. **［スキャン］をクリックする**

   スキャンした画像のプレビューが表示されます。

4. **必要に応じて、スキャンした画像を編集する**
5. **［E メール送信］をクリックする**

   ［E メール送信］ダイアログボックスが表示されます。

6. **必要に応じて、添付ファイルの設定を変更する**
7. **［OK］をクリックする**

   メールソフトの送信画面が起動し、画像ファイルが添付ファイルとして表示されます。

- メールソフトが起動します。
- Web メールには対応していません。
  スキャンした画像を Web メールに添付して送る場合は、スキャンした画像データを一度パソコンに保存してから、別途 Web メールを起動し、そのデータを添付してください。

原稿の文字をテキストデータとしてスキャンする

文字の入った原稿をスキャンして、パソコンで編集できる文字データ（テキストデータ）に変換します。

1. **原稿をセットする**
2. **必要に応じて、スキャンの設定を変更する**
3. **［スキャン］をクリックする**

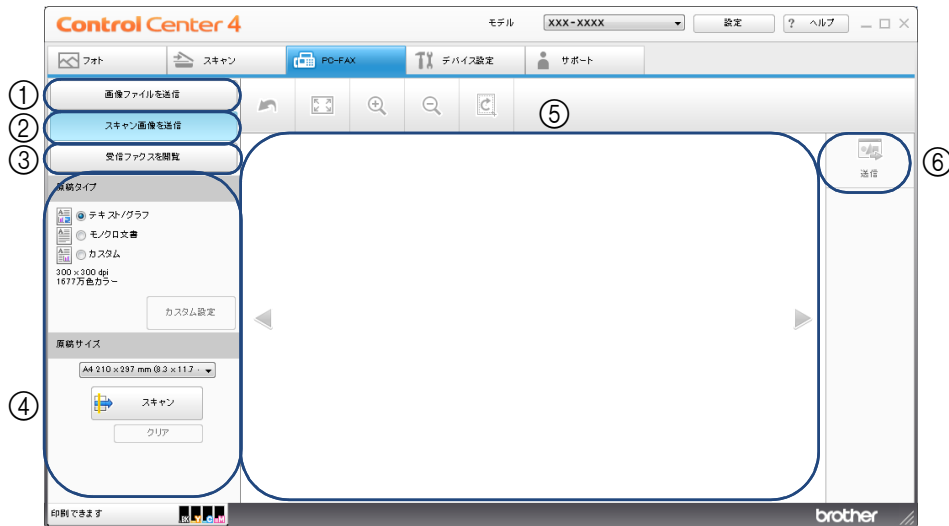
   スキャンした画像のプレビューが表示されます。
4. **必要に応じて、スキャンした画像を編集する**
5. **［OCR］をクリックする**

   ［OCR］ダイアログボックスが表示されます。
6. **必要に応じて、OCR の設定を変更する**
7. **［OK］をクリックする**

   OCR の設定に従って文字データ（テキストデータ）への変換が実行され、文字データ（テキストデータ）が表示されます。

PC-FAX

画像ファイルを本製品からファクス送信できます。ファクスを受信して、内容を確認することもできます。
各機能の詳細は、ControlCenter4 のヘルプを参照してください。

- DCP-J4210N をお使いの場合、PC-FAX 機能は使用できません。
- PC-FAX は、モノクロのみ対応しています。（相手側のファクス機がカラーに対応している場合は、カラーのデータを送信しても、モノクロで送信されます。）

① **画像ファイルを送信**

画像ファイルをファクスとして送信したいときに選択します。

② **スキャン画像を送信**

原稿をスキャンしてファクスとして送信したいときに選択します。

③ **受信ファクスを閲覧**

受信したファクスを確認できます。

④ **スキャン設定エリア**

スキャンの設定ができます。

⑤ **イメージビューワー**

送信する画像ファイルを表示します。

⑥ **送信**

イメージビューワーで表示中の画像ファイルをファクスとして送信します。

画像ファイルをファクスで送る

画像ファイルをファクスとして送信します。

1 ［画像ファイルを送信］をクリックする

2 画像ファイルを選択する

- フォルダーをクリックすると、フォルダーの中を閲覧できます。
- 画像ファイルを選択して［拡大表示］ボタンを押すと、画像ファイルが表示されます。

3 ［送信］をクリックする

Brother PC-FAX 送信画面が表示されます。

4 送り先の FAX 番号を入力する

5 ［送信］をクリックする

ファクスが送信されます。

原稿をスキャンしてファクスを送る

原稿をスキャンして画像ファイルをファクスとして送信します。

1 原稿をセットする

2 ［スキャン画像を送信］をクリックする

3 必要に応じて、スキャンの設定を変更する

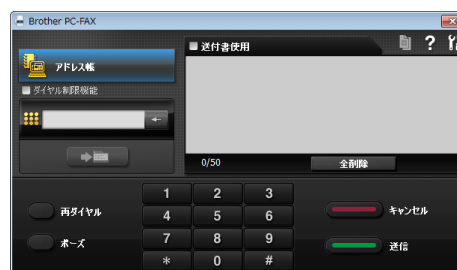
4 ［スキャン］をクリックする

スキャンした画像のプレビューが表示されます。

5 必要に応じて、スキャンした画像を編集する

6 ［送信］をクリックする

Brother PC-FAX 送信画面が表示されます。

7 送り先の FAX 番号を入力する

8 ［送信］をクリックする

ファクスが送信されます。

パソコンでファクスを受信する

受信したファクスを見たり、印刷したりできます。

> ファクスをパソコンで受信するには、本製品での設定も必要です。
> ⇒ 57 ページ「本製品を PC-FAX 受信モードにする」

1 ［受信ファクスを閲覧］をクリックする

PC-FAX 受信が起動し、ファクスの受信が始まります。

> 画像ファイルを選択して［拡大表示］ボタンを押すと、受信したファクスが表示されます。

2 ［印刷］をクリックする

3 必要に応じて、印刷設定を変更する

4 ［印刷開始］をクリックする

受信したファクスが印刷されます。

デバイス設定

操作パネルのスキャンキーの設定を変更したり、リモートセットアップを使って本製品の設定を変更したりできます。
各機能の詳細は、ControlCenter4 のヘルプを参照してください。

① **リモートセットアップ**

（MFC-J4510N のみ）
リモートセットアップ画面を表示します。パソコン上で本製品に関する機能を設定できます。
詳しくは、次をご覧ください。⇒ 65 ページ「リモートセットアップを利用する」

② **電話帳 / アドレス帳**

（MFC-J4510N のみ）
リモートセットアップの電話帳登録画面を表示します。本製品の電話帳の作成・変更ができます。
詳しくは、次をご覧ください。⇒ 67 ページ「本製品の電話帳を作成・変更する」

③ **スキャンキー設定**

本製品のスキャンキーからスキャンするときの設定を変更できます。

④ BRAdmin

BRAdmin Light、もしくは BRAdmin Professional ダイアログボックスが表示されます。ネットワーク上のブラザープリンターの設定ができます。
［BRAdmin］は BRAdmin がインストールされている場合に表示されます。

BRAdmin ユーティリティーについて

BRAdmin は、ブラザーネットワークプリンターを管理するソフトウェアです。ネットワークに接続されているブラザープリンターを設定し、そのステータスを確認することができます。
BRAdmin Light は、ネットワークに接続されているブラザー製品の初期設定用ユーティリティーです。ネットワーク上のブラザー製品の検索やステータス表示、IP アドレスなどのネットワークの基本設定が可能です。
付属の CD-ROM から BRAdmin Light をインストールするには、ユーザーズガイド ネットワーク編「BRAdmin Light をインストールする」を参照してください。
より高度な管理が必要な場合は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）から BRAdmin Professional の最新版をダウンロードして使用してください。

BRAdmin Light と BRAdmin Professional の両方がインストールされている場合は、BRAdmin Professional が起動します。

サポート

ControlCenter4 のヘルプなど、本製品をお使い頂くためのサポート情報を表示します。

① ControlCenter のヘルプ

ControlCenter4 のヘルプが表示されます。

② **ブラザーソリューションセンター**

ウェブブラウザーが起動し、ブラザーソリューションセンターのウェブサイトが表示されます。

本製品を使用するための FAQ（よくあるご質問）、ユーザーズガイド、ドライバーアップデートを含むブラザー製品に関しての情報を閲覧できます。

Advanced モードで使う

Advanced モードでは本製品の全機能の操作や設定を行うことができます。
各機能の詳細は、ControlCenter4 のヘルプを参照してください。

① **スキャン**

原稿をスキャンします。画像データとして保存したり、E メールにデータを添付したりできます。

② **PC コピー**

原稿をスキャンして画像データを印刷する機能がまとめられています。
本製品をコピー機として使うことができます。

③ **フォト**

パソコンやメモリーカード内の画像ファイルの印刷やメール送信などができます。

④ **PC-FAX**

（MFC-J4510N のみ）
スキャンしたデータをファクスとして送信します。
ファクスの受信もできます。

⑤ **デバイス設定**

操作パネルのスキャンキーの設定や、電話帳の登録などが行えます。

⑥ **サポート**

コントロールセンターのヘルプ、ブラザーソリューションセンターへのリンクが表示されます。

⑦ **カスタム**

カスタマイズしたタブを作成することができます。各タブにはスキャンやコピーでよく使用する設定をボタンとして登録できます。

⑧ **モデル**

お使いの製品のモデル名を選択します。

⑨ **設定**

ControlCenter4 のモードの変更や、起動の設定が行えます。

⑩ **ヘルプ**

ヘルプを表示します。

⑪ **デバイスステータス**

本製品の状態とインクの残量が表示されます。
クリックすると、ステータスモニターのウィンドウを表示できます。

スキャン

各種スキャン機能がまとめられています。使用目的に応じたスキャン機能をお選びください。
各機能の詳細は、ControlCenter4 のヘルプを参照してください。

ボタンを右クリックするか［設定］ボタンをクリックすると、初期設定を変更できます。設定を変更したら［OK］をクリックします。

① **設定**

マウスカーソルを［イメージ］、[OCR]、[E メール添付]、［ファイル］の上に重ねると、各機能の現在の設定値が表示されます。

② **イメージ**

スキャンした画像ファイルをアプリケーションに送ります。

③ OCR

文字の入った原稿をスキャンして、パソコンで編集できる文字データ（テキストデータ）に変換します。

④ **E メール添付**

スキャンした画像ファイルをメール送信できます。

⑤ **ファイル**

スキャンした画像ファイルを所定のフォルダー に保存します。

ファイル形式について

それぞれの機能で、保存する際のファイル形式を選択することができます。
［イメージ］/［E メール添付］/［ファイル］の場合

- Windows® ビットマップ（*.bmp）
- JPEG（*.jpg）
- TIFF（*.tif）
- TIFF マルチページ（*.tif）
- Portable Network Graphics（*.png）
- PDF（*.pdf）
- 高圧縮 PDF（*.pdf）
- パスワード付き PDF（*.pdf）
- サーチャブル PDF（*.pdf）
- XML Paper Specification（*.xps）

［OCR］の場合

- テキストファイル（*.txt）
- リッチテキスト形式（*.rtf）
- サーチャブル PDF（*.pdf）
- HTML（*.htm）

- TIFF および TIFF マルチページは、設定画面で［圧縮］または［非圧縮］を選択できます。
- XML Paper Specification は、Windows Vista®、Windows® 7 に標準でインストールされている XML ベースの文書フォーマットです。
- ファイル形式で［高圧縮 PDF（*.pdf）］を選択するには、解像度が［300 × 300dpi］、カラー設定が［256 階調グレー］または［1677 万色カラー］である必要があります。
- ファイル形式で［サーチャブル PDF（*.pdf）］を選択するには、Presto! PageManager のインストールが必要です。
- OCR を利用するには Presto! PageManager のインストールが必要です。

原稿サイズについて

プルダウンメニューから原稿サイズを選択できます。［1 to 2（A4）］を選択した場合は、スキャンされたイメージは A5 サイズ 2 枚に分割されます。
また、［2 in 1（A4）］を選択した場合は、スキャンされたイメージは A3 サイズ 1 枚に結合されます。

詳細設定について

各種スキャン機能の設定画面で［詳細設定］をクリックすると、次の項目を設定できます。

① 地色除去

両面に印刷された原稿の裏移りを防ぎます。また、新聞のように原稿の背景にある色を取り除きます。

スキャンの設定を変更する

スキャンを実行するときに使用するアプリケーションや、ファイル形式などの設定を変更します。

本製品のスキャンキーからスキャンするときの設定を変更する場合は、［デバイス設定］タブの［スキャンキー設定］をクリックして、設定を変更します。

1 **［イメージ］［OCR］［E メール添付］［ファイル］のいずれかを右クリックするか、設定メニューから各機能の設定を選ぶ**

各機能のスキャン設定画面が表示されます。

2 **必要に応じて、設定を変更する**

設定できる内容は、ボタンによって異なります。

⇒ 91 ページ「スキャンの設定」

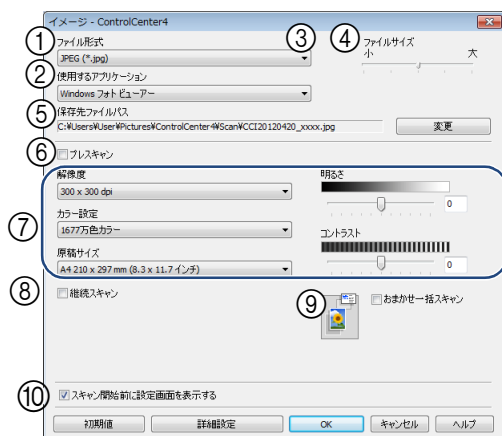
3 **［OK］をクリックする**

設定が変更されます。

スキャンの設定

スキャンを実行するときに使用するアプリケーションや、ファイル形式などの設定を変更します。設定できる項目は、ボタンによって異なります。

● 主な設定項目

（代表で［イメージ］の画面を使用しています。）

① **ファイル形式**

スキャンするデータのファイル形式を選択します。

- ［イメージ］/［E メール添付］/［ファイル］の場合
  - •Windows® ビットマップ（*.bmp）
  - •JPEG（*.jpg）
  - •TIFF（*.tif）
  - •TIFF マルチページ（*.tif）
  - •Portable Network Graphics（*.png）
  - •PDF（*.pdf）
  - •高圧縮 PDF（*.pdf）
  - •パスワード付き PDF（*.pdf）
  - •サーチャブル PDF（*.pdf）
  - •XML Paper Specification（*.xps）

TIFF、TIFF マルチページを選択した場合は、［圧縮］または［非圧縮］を設定してください。

TIFF マルチページ、PDF、パスワード付き PDF、XML Paper Specification を選択すると、複数枚の原稿を 1 つのファイルとしてまとめて作成します。

パスワード付き PDF を選択すると、PDF ファイルを開くときのパスワードが設定できます。

XML Paper Specification 形式は、Windows Vista®、Windows® 7 のみ使用可能です。XML Paper Specification プリンタードライバーは、XML Paper Specification 文書の印刷に適したプリンタードライバーです。サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）からダウンロードできます。

ファイル形式で［高圧縮 PDF（*.pdf）］を選択するには、解像度が［300 × 300dpi］、カラー設定が［256 階調グレー］または［1677 万色カラー］である必要があります。

ファイル形式で［サーチャブル PDF（*.pdf）］を選択するには、Presto! PageManager のインストールが必要です。

OCR を利用するには Presto! PageManager のインストールが必要です。

- ［OCR］の場合
  - •テキストファイル（*.txt）
  - •リッチテキスト形式（*.rtf）
  - •HTML（*.htm）
  - •サーチャブル PDF（*.pdf）

ファイル形式で［サーチャブル PDF（*.pdf）］を選択するには、Presto! PageManager のインストールが必要です。

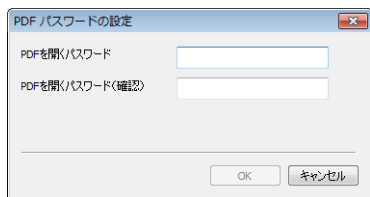
OCR を利用するには Presto! PageManager のインストールが必要です。

② **使用するアプリケーション（［イメージ］、［OCR］）**

スキャンした原稿を開くアプリケーションを選択します。

お使いのパソコンにインストールされているアプリケーションの中で、各ファイル形式に対応したものが選択できます。

③ PDF パスワードの設定（[OCR] 以外）

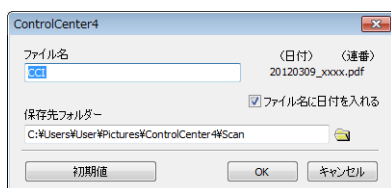
①の［ファイル形式］でパスワード付き PDF を選択して をクリックすると、次の画面が表示されます。PDF ファイルを開くときのパスワードを設定できます。

［PDF を開くパスワード］と［PDF を開くパスワード（確認）］に同じパスワードを入力して、[OK] をクリックします。スキャンしたデータに自動的にパスワードが設定され、保存されます。

パスワードを変更したい場合は、 をクリックして新しいパスワードを設定してください。

④ ファイルサイズ（[OCR] 以外）

①の［ファイル形式］で JPEG、PDF、パスワード付き PDF を選択すると、解像度は維持したまま、ファイルサイズを 5 段階で設定できます。

⑤ 保存先ファイルパス

［保存先ファイルパス］の右にある［変更］をクリックすると、次の画面が表示されます。保存先のファイルパスが表示されています。 をクリックすると、保存先のファイルパスを変更できます。

⑥ プレスキャン

チェックすると、実際のスキャンを行う前に、スキャンイメージを確認したり、範囲を指定したりできます。ControlCenter4 からスキャンを行う場合のみ設定できます。［原稿サイズ］で［自動］を選択すると、チェックできません。

⑦ 解像度 / カラー設定 / 原稿サイズ / 明るさ / コントラスト

必要に応じて設定します。

⑧ 継続スキャン

チェックすると、原稿台ガラスを使って複数枚の原稿をスキャンできます。

⑨ おまかせ一括スキャン（[OCR] 以外）

チェックすると、原稿台ガラスに置かれた複数の原稿を一度にスキャンして、ファイルを作成します。

次の点に注意して、原稿台ガラスに原稿をセットしてください。

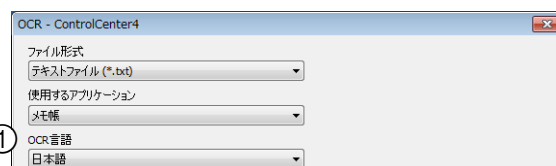
- ADF（自動原稿送り装置）からおまかせ一括スキャンはできません。必ず原稿台ガラスに原稿をセットしてください。
- すべての角が直角（90°）の四角形の原稿のみスキャンできます。
- 下記の範囲を空けてセットしてください。
  左、奥：原稿台ガラスの端から 10mm 以上
  手前：原稿台ガラスの端から 20mm 以上
  右：A4 サイズの線から 10mm 以上
- 原稿の間隔を 10mm 以上空けてください。
- 原稿が 10°以上傾いていると、スキャンできないことがあります。
- 短辺に対して長辺が長すぎると、スキャンできないことがあります。
- 一度にスキャンできる原稿の枚数はサイズによって異なりますが、最大 16 枚（名刺は 8 枚）です。
- 原稿サイズを選択できません。
- プレビュー機能は使用できません。

本製品で複数の原稿を一度にスキャンして、パソコンを使用せずにメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存できます。
⇒ 164 ページ「スキャンしたデータをメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存する」

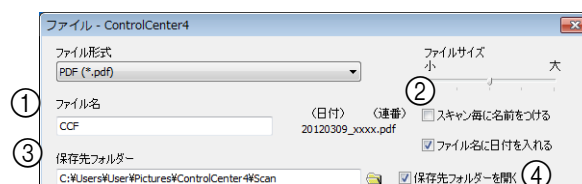
「おまかせ一括スキャン」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

⑩ スキャン開始前に設定画面を表示する

チェックすると、スキャンを開始する前に、スキャンの設定画面が表示するようになります。

● ［OCR］のみで設定可能な項目

① OCR 言語

変換する言語を選択します。

● ［ファイル］のみで設定可能な項目

① ファイル名

ファイル名先頭の文字（プレフィックス）を変更できます。日付部分は変更できません。

② スキャン毎に名前をつける

チェックすると、スキャンするたびに保存先のフォルダーとデータの名前を設定することができます。

③ 保存先フォルダー

スキャンしたデータを保存するフォルダーを設定します。

 を押すと、保存先フォルダーを参照し、選択することができます。

④ 保存先フォルダーを開く

チェックすると、スキャンしたあとに保存先のフォルダーを開きます。

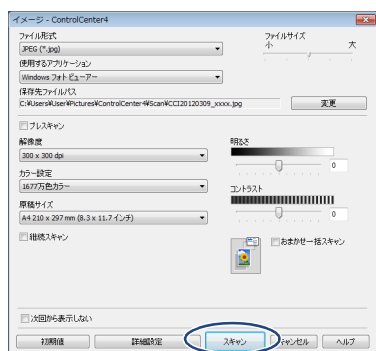
原稿をスキャンしてアプリケーションに送る

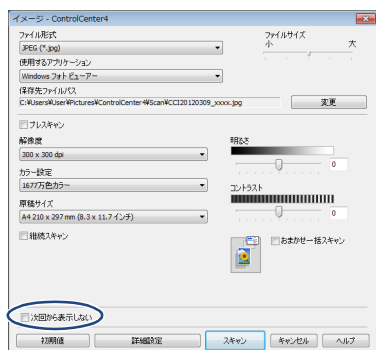
原稿をスキャンして画像ファイルを直接アプリケーションから開いて編集できます。

1 原稿をセットする

2 ［イメージ］をクリックする

スキャンの設定画面で［スキャン開始前に設定画面を表示する］をチェックしていない場合は、スキャンの設定で選択したアプリケーションが起動し、画像ファイルが表示されます。

スキャンの設定画面で［スキャン開始前に設定画面を表示する］をチェックしている場合は、スキャン設定画面が表示されます。必要に応じて、スキャンの設定を変更してください。
⇒ 91 ページ「スキャンの設定を変更する」

設定した内容でスキャンする場合、［スキャン］をクリックします。スキャンの設定で選択したアプリケーションが起動し、画像ファイルが表示されます。

［スキャン開始前に設定画面を表示する］をチェックしている場合に表示される画面で、［次回から表示しない］をチェックしたときは、次回からスキャンの設定画面が表示されなくなります。

原稿の文字をテキストデータとしてスキャンする

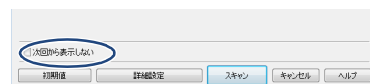
文字の入った原稿をスキャンして、パソコンで編集できる文字データ（テキストデータ）に変換します。

1 原稿をセットする

2 ［OCR］をクリックする

スキャンの設定画面で［スキャン開始前に設定画面を表示する］をチェックしていない場合は、原稿がスキャンされます。ControlCenter の設定に従って文字データへの変換が実行され、テキストデータが表示されます。

スキャンの設定画面で［スキャン開始前に設定画面を表示する］をチェックしている場合は、スキャン設定画面が表示されます。必要に応じて、スキャンの設定を変更してください。
⇒ 91 ページ「スキャンの設定を変更する」
設定した内容でスキャンする場合、［スキャン］をクリックします。原稿がスキャンされます。ControlCenter の設定に従って文字データへの変換が実行され、テキストデータが表示されます。

［スキャン開始前に設定画面を表示する］をチェックしている場合に表示される画面で、［次回から表示しない］をチェックしたときは、次回からスキャンの設定画面が表示されなくなります。

原稿をスキャンして E メールで送る

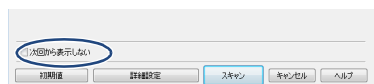
原稿をスキャンして画像ファイルを添付ファイルとして、メールソフトの送信画面を起動します。

1 原稿をセットする

2 ［E メール添付］をクリックする

スキャンの設定画面で［スキャン開始前に設定画面を表示する］をチェックしていない場合は、選択された画像ファイルを添付ファイルとして、パソコンのメールソフトが起動し、送信画面が表示されます。

スキャンの設定画面で［スキャン開始前に設定画面を表示する］をチェックしている場合は、スキャン設定画面が表示されます。必要に応じて、スキャンの設定を変更してください。
⇒ 91 ページ「スキャンの設定を変更する」
設定した内容でスキャンする場合、［スキャン］をクリックします。選択された画像ファイルを添付ファイルとして、パソコンのメールソフトが起動し、送信画面が表示されます。

［スキャン開始前に設定画面を表示する］をチェックしている場合に表示される画面で、［次回から表示しない］をチェックしたときは、次回からスキャンの設定画面が表示されなくなります。

Web メールには対応していません。
スキャンした画像を Web メールに添付して送る場合は、スキャンした画像データを一度パソコンに保存してから、別途 Web メールを起動し、そのデータを添付してください。

原稿をスキャンして画像を保存する

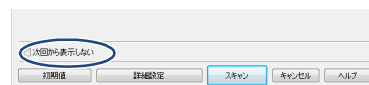
原稿をスキャンして画像ファイルをパソコンの指定したフォルダーに保存します。

1 原稿をセットする

2 ［ファイル］をクリックする

スキャンの設定画面で［スキャン開始前に設定画面を表示する］をチェックしていない場合は、設定した保存先に、画像ファイルが保存されます。

スキャンの設定画面で［スキャン開始前に設定画面を表示する］をチェックしている場合は、スキャン設定画面が表示されます。必要に応じて、スキャンの設定を変更してください。
⇒ 91 ページ「スキャンの設定を変更する」
設定した内容でスキャンする場合、［スキャン］をクリックします。設定した保存先に、画像ファイルが保存されます。

［スキャン開始前に設定画面を表示する］をチェックしている場合に表示される画面で、［次回から表示しない］をチェックしたときは、次回からスキャンの設定画面が表示されなくなります。

PC コピー

原稿をスキャンして画像ファイルを印刷する機能がまとめられています。本製品をコピー機として使うことができます。
各機能の詳細は、ControlCenter4 のヘルプを参照してください。

① **カラー コピー**

カラーコピーを行います。

② **モノクロ コピー**

白黒コピーを行います。

③ **2 in 1 コピー**

2 枚の原稿を 1 枚にまとめてカラーコピーできます。

④ **4 in 1 コピー**

4 枚の原稿を 1 枚にまとめてカラーコピーできます。

原稿をコピーする

原稿をスキャンして画像ファイルを本製品から印刷できます。

1 原稿をセットする

2 [PC コピー] タブをクリックする

3 必要に応じて、スキャンの設定を変更する

⇒ 91 ページ「スキャンの設定を変更する」

4 [カラー コピー] / [モノクロ コピー] / [2 in 1 コピー] / [4 in 1 コピー] のいずれかをクリックする

原稿がコピーされます。

各ボタンを右クリックして［ボタン設定］を選択すると、設定ダイアログが表示されます。必要に応じてボタン名、設定を変更することができます。

フォト

パソコンやメモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像ファイルの確認や印刷などができます。
各機能の詳細は、ControlCenter4 のヘルプを参照してください。

① **写真印刷**

画像ファイルを印刷できます。

② **メディアを開く**

本製品のカードスロットに挿入された外部メディアの内容がエクスプローラーで表示されます。

③ **ハードディスクにコピー**

本製品のカードスロットに挿入された外部メディア内の画像ファイルを、パソコンのフォルダーにコピーできます。

④ **アプリケーションで開く**

本製品のカードスロットに挿入された外部メディア内の画像ファイルを、パソコンのフォルダーにコピーしてからアプリケーションで表示できます。

画像を印刷する

画像ファイルを印刷できます。

1 ［写真印刷］をクリックする

イメージビューワーが表示されます。

2 画像を選択する

3 ［印刷］をクリックする

印刷設定画面が表示されます。

4 必要に応じて、各項目を設定する

画像右下に撮影日時を印刷したいときは、［詳細設定］をクリックして詳細設定画面を表示し、［撮影日を印刷する］にチェックを入れてください。

5 ［印刷開始］をクリックする

画像ファイルが印刷されます。

画像を編集する

画像ファイルを編集できます。

1 ［写真印刷］をクリックする

イメージビューワーが表示されます。

2 画像を選択する

3 ［編集］をクリックする

編集画面のウィンドウが表示されます。

4 画像を編集する

5 ［保存］をクリックする

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする

1 ［メディアを開く］をクリックする

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存されているファイルやフォルダーが表示されます。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーからコピーする

1 ［ハードディスクにコピー］をクリックする

［ハードディスクにコピー］を右クリックして表示される［ボタン設定］から、［保存先フォルダー］、［フォルダー作成の設定］、［コピーするファイル］を変更できます。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーからアプリケーションに送る

メモリーカードや USB フラッシュメモリーからファイルをコピーし、アプリケーションからファイルを表示できます。

1 ［アプリケーションで開く］をクリックする

［アプリケーションで開く］を右クリックして表示される［ボタン設定］から、［フォルダー作成の設定］、［コピーするファイル］を変更できます。

PC-FAX

画像ファイルを本製品からファクス送信できます。ファクスを受信して、内容を確認することもできます。
各機能の詳細は、ControlCenter4 のヘルプを参照してください。

DCP-J4210N をお使いの場合、PC-FAX 機能は使用できません。

① **画像ファイルを送信**

画像ファイルをファクスとして送信します。

② **スキャン画像を送信**

原稿をスキャンして、画像ファイルをファクスとして送信します。

③ **受信ファクスを閲覧**

受信したファクスを閲覧したり、印刷したりできます。

画像ファイルをファクスで送る

画像ファイルをファクスとして送信します。

1. **［画像ファイルを送信］をクリックする**
2. **画像ファイルを選択する**

   フォルダーツリーをクリックすると、フォルダーの中を閲覧できます。
3. **［送信］をクリックする**

   PC-FAX 送信画面が表示されます。
4. **送り先の FAX 番号を入力する**
5. **［送信］をクリックする**

   ファクスが送信されます。

原稿をスキャンしてファクスを送る

原稿をスキャンして画像ファイルをファクスとして送信します。

1. **原稿をセットする**
2. **必要に応じて、スキャンの設定を変更する**

   ⇒ 91 ページ「スキャンの設定を変更する」
3. **［スキャン画像を送信］をクリックする**

   原稿がスキャンされ、PC-FAX 送信画面が表示されます。
4. **送り先の FAX 番号を入力する**
5. **［送信］をクリックする**

   ファクスが送信されます。

パソコンでファクスを受信する

受信したファクスを閲覧したり、印刷したりできます。

ファクスをパソコンで受信するには、本製品での設定も必要です。
⇒ 57 ページ「本製品を PC-FAX 受信モードにする」

1 ［受信ファクスを閲覧］をクリックする

PC-FAX 受信が起動し、ファクスの受信が始まります。

画像ファイルを選択して［拡大表示］ボタンを押すと、受信したファクスが表示されます。

2 ［印刷］をクリックする

3 必要に応じて、印刷設定を変更する

4 ［印刷開始］をクリックする

受信したファクスが印刷されます。

デバイス設定

操作パネルのスキャンキーの設定を変更したり、リモートセットアップを使って本製品の設定を変更したりできます。
各機能の詳細は、ControlCenter4 のヘルプを参照してください。

① **リモートセットアップ**

（MFC-J4510N のみ）
リモートセットアップ画面を表示します。パソコン上で本製品に関する機能を設定できます。
詳しくは、次をご覧ください。⇒ 65 ページ「リモートセットアップを利用する」

② **電話帳 / アドレス帳**

（MFC-J4510N のみ）
リモートセットアップの電話帳登録画面を表示します。本製品の電話帳の作成・変更ができます。
詳しくは、次をご覧ください。⇒ 67 ページ「本製品の電話帳を作成・変更する」

③ **スキャンキー設定**

本製品のスキャンキーからスキャンするときの設定を変更できます。

④ BRAdmin

BRAdmin Light、もしくは BRAdmin Professional ダイアログボックスが表示されます。ネットワーク上のブラザープリンターの設定ができます。
［BRAdmin］は BRAdmin がインストールされている場合に表示されます。

BRAdmin ユーティリティーについて

BRAdmin は、ブラザーネットワークプリンターを管理するソフトウェアです。ネットワークに接続されているブラザープリンターを設定し、そのステータスを確認することができます。
BRAdmin Light は、ネットワークに接続されているブラザー製品の初期設定用ユーティリティーです。ネットワーク上のブラザー製品の検索やステータス表示、IP アドレスなどのネットワークの基本設定が可能です。
付属の CD-ROM から BRAdmin Light をインストールするには、ユーザーズガイド ネットワーク編「BRAdmin Light をインストールする」を参照してください。
より高度な管理が必要な場合は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）から BRAdmin Professional の最新版をダウンロードして使用してください。

BRAdmin Light と BRAdmin Professional の両方がインストールされている場合は、BRAdmin Professional が起動します。

サポート

ControlCenter4 のヘルプなど、本製品をお使い頂くためのサポート情報を表示します。

① **ControlCenter のヘルプ**

ControlCenter4 のヘルプが表示されます。

② **ブラザーソリューションセンター**

ウェブブラウザーが起動し、ブラザーソリューションセンターのウェブサイトが表示されます。

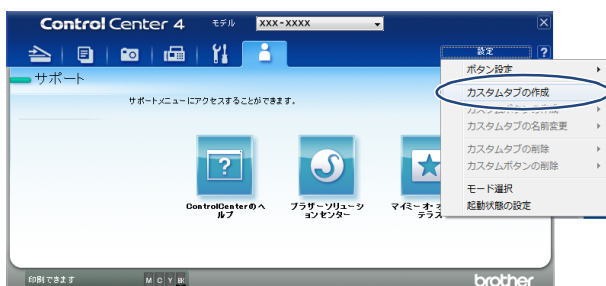
本製品を使用するための FAQ（よくあるご質問）、ユーザーズガイド、ドライバーアップデートを含むブラザー製品に関しての情報を閲覧できます。

カスタム設定

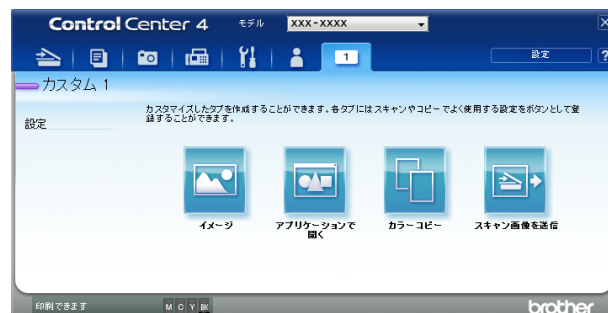
よく使う機能をまとめて、オリジナルのタブを 3 つまで作成できます。
各機能の詳細は、ControlCenter4 のヘルプを参照してください。

オリジナルのタブを作成する

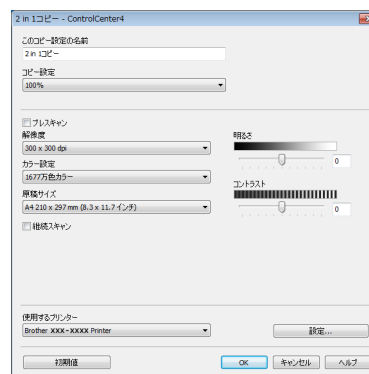
最大 3 つのオリジナルのタブを作成することができます。各タブには最大 5 つの機能を登録できます。

1 ［設定］をクリックし、［カスタムタブの作成］を選択する

［設定］-［カスタムタブの名前変更］をクリックして、作成したタブの名前を変更することができます。

カスタムボタンを作成する

1 ［設定］をクリックし、［カスタムボタンの作成］を選択する

2 メニューから登録したいボタンを選択する

設定ダイアログボックスが表示されます。

3 ボタン名を入力し、必要に応じて設定を変更し、［OK］をクリックする

作成したボタンによって設定が異なります。

カスタム登録したタブやボタンの設定変更や削除するときは、［設定］をクリックして、メニューに従ってください。

第７章 プリンター

プリンターとして使う前に

ドライバーをインストールする必要があります

本製品をプリンターとして使用する場合、付属の CD-ROM に収録されているプリンタードライバーをインストールする必要があります。
Macintosh との接続や、ドライバーのインストール方法については、別冊の「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

記録紙について

本製品をプリンターとして使う場合の記録紙については、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド 基本編「記録紙のセット」

印刷する

本製品をプリンターとして使うときは、あらかじめ「システム環境設定」の「プリントとスキャン」または「プリントとファクス」でデフォルトのプリンターに設定し、印刷します。

1 アプリケーションの［ファイル］メニューから［ページ設定］を選ぶ

ページ設定画面が表示されます。

2 ［対象プリンタ］で本製品のモデル名を選ぶ

3 各項目を設定し、［OK］をクリックする

次の項目が設定できます。

- 用紙サイズ
- 方向
- 拡大縮小

ふちなし印刷を行う場合は、用紙サイズの中から［縁なし］を選びます。

設定した内容が有効になります。

表示される用紙サイズは、お使いのモデルによって異なります。

標準ウェブブラウザーなどでは、［ファイル］ー［プリント］を選択して表示される画面で用紙サイズを設定できます。

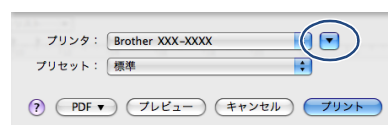
4 アプリケーションの［ファイル］メニューから［プリント］を選ぶ

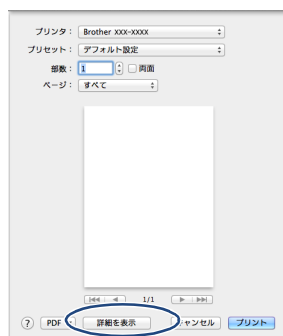
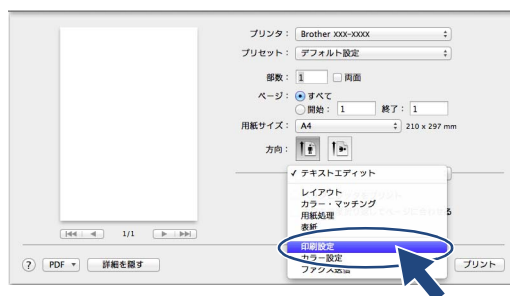
プリントダイアログが表示されます。

5 ［プリンタ］に本製品のモデル名が表示されていることを確認する

6 印刷設定画面を表示する

(A)　Mac OS X v10.5.8 から 10.6.x の場合

［プリンタ］の▼ボタンをクリックする

(B)　Mac OS X v10.7. x の場合

［詳細を表示］をクリックする

ポップアップメニューから［印刷設定］を選ぶ

印刷設定画面が表示されます。

必要に応じて、各項目を設定する

設定内容の詳細について

⇒ 116 ページ「印刷の設定を変更する」

登録した印刷設定で印刷するには

［プリセット］から、登録した印刷設定を選んで印刷することができます。
Mac OS X v10.6.x、10.7.x をお使いの場合、あらかじめ［モノクロ印刷］などの印刷設定が登録されています。

［プリント］をクリックする

ファイルが印刷されます。

ファクスを送信中に印刷する

ファクスを送信しているときや原稿をスキャンしている間も、印刷をすることができます。

メモリーに残っているデータを消す

何らかの理由で印刷を中断したとき、本製品のメモリーに印刷のデータが残っていることがあります。画面に［データが残っています］と表示されている場合、残っているデータを消します。

を押す

メモリーに残っているデータが削除されます。

印刷品質をチェックする

きれいに印刷されないときは、印刷品質をチェックしてください。

⇒ユーザーズガイド 基本編「印刷テストを行う」

ジョブをキャンセルする

処理中のジョブをキャンセルして、メモリーからデータを消します。

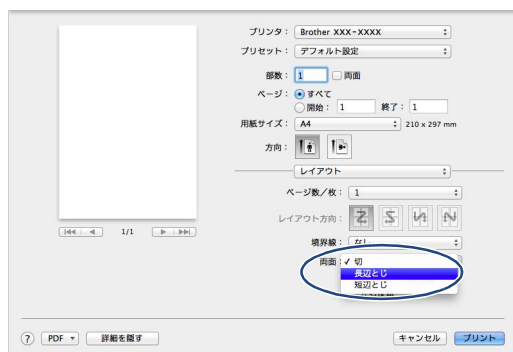
を押す

印刷がキャンセルされます。

両面印刷（自動両面印刷）する

自動で記録紙の両面に印刷することができます。

1 ポップアップメニューから［レイアウト］を選ぶ

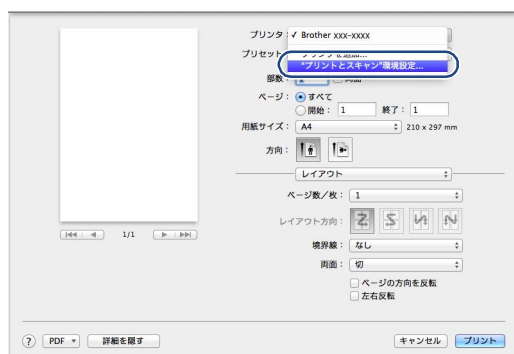
2 ［両面：］で、［長辺とじ］または［短辺とじ］を選ぶ

A3、JIS B4 等、両面印刷できない用紙があります。

印刷状況を確認する（ステータスモニター）

ご使用の Macintosh から、ステータスモニターで本製品の印刷状況などを確認できます。

ステータスモニターを起動する

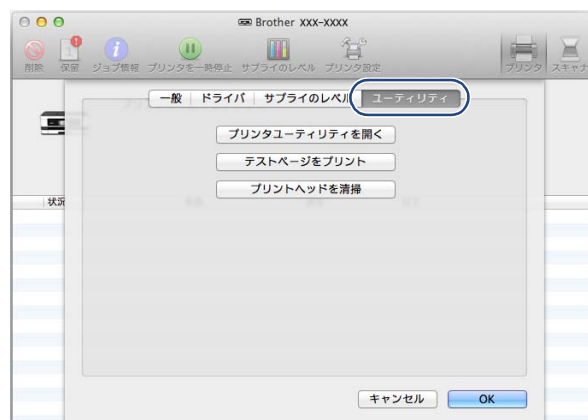
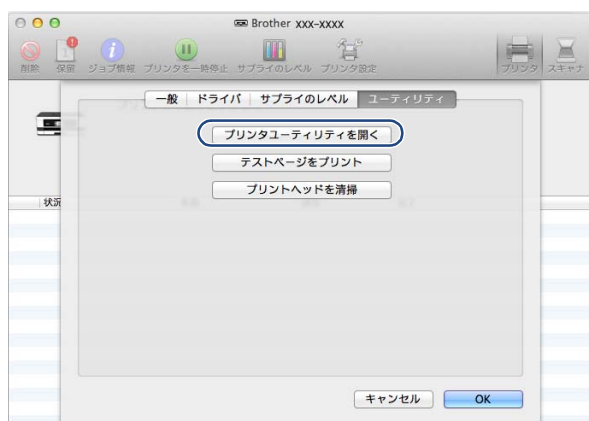
プリントキュー画面からのステータスモニターを起動するには、次の操作を行ってください。

1 ［プリント］ダイアログボックス内の［プリンタ］から［" プリントとスキャン " 環境設定］を選択する

2 プリンターリストから使用しているプリンターを選択する

3 ［プリントキューを開く］をクリックする

4 ［プリンタ設定］をクリックする

Mac OS X v10.5.8 の場合は、［ユーティリティ］をクリックしてください。

5 ［ユーティリティ］をクリックする

［プリンタユーティリティを開く］をクリックする

ステータスモニターの画面について

Ⓐ **本製品のアイコン**

本製品のアイコンをクリックすると、ウェブブラウザーが起動し、本製品を設定することができます。（ネットワーク接続のみ）

詳しくは、下記をご覧ください。

⇒ユーザーズガイド　ネットワーク編「ウェブブラウザーで管理する」－「ウェブブラウザーを使用して本製品を設定する」

Ⓑ **モデル名**

インク残量を表示している本製品のモデル名が表示されます。

Ⓒ **接続**

USB 接続の場合は［USB］と表示されます。ネットワーク接続の場合はIPアドレスまたはドメイン名が表示されます。

Ⓓ **ステータスボタン**

クリックすると、本製品の現在の状態が画面に表示されます。

Ⓔ **ウェブ Q&A**

クリックすると、ステータスモニターダイアログが表示されます。内容を確認して、［OK］をクリックしてください。ウェブブラウザーが起動し、さまざまなトラブルとその解決法に関する情報を提供しているホームページが表示されます。

Ⓕ **ブラザー純正消耗品のご案内**

クリックすると、ブラザー純正の消耗品に関する情報を提供しているホームページが表示されます。

Ⓖ **インク残量**

本製品のインク残量が表示されます。

インク残量が減ったり、インクカートリッジに問題がある場合は、次のようなアイコンが表示されます。

	インク残量が少ない
	インクカートリッジが空
	インクカートリッジに問題がある

更新間隔の変更

本製品の状態表示の自動更新間隔を変更することができます。

1　メニューバーの［ブラザーステータスモニター］から［環境設定］を選択する

［環境設定］ダイアログボックスが表示されます。

2　［入］にチェックが入っていることを確認して、［リフレッシュ間隔］に数値を入力する

3　［OK］をクリックする

ウインドウの格納と表示

- ステータスモニター起動後、ステータスモニターウインドウを格納（非表示）にするには、メニューバーの［ブラザーステータスモニター］から［ステータスモニターを隠す］を選択します。
- ステータスモニター格納後、再度ステータスモニターウインドウを表示するには、ドックの をクリックします。
- ControlCenter2 の［デバイス設定］タブから［インク残量］をクリックしてもウインドウは表示されます。
⇒ 157 ページ「本製品の設定を確認・変更する」

ステータスモニターの終了

ステータスモニターを終了するには、メニューバーの［ブラザーステータスモニター］から［ステータスモニターを終了］を選択します。

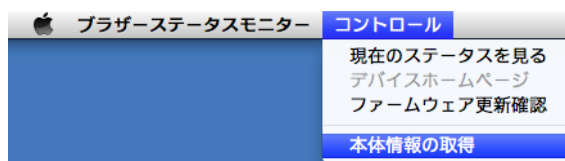
ウェブブラウザーを使用して本製品にアクセスする

- 標準のウェブブラウザーで、HTTP（ハイパーテキスト転送プロトコル）を使用して、本製品を管理することができます。詳しくは下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド　ネットワーク編「ウェブブラウザーで管理する」－「ウェブブラウザーを使用して本製品を設定する」
- ステータスモニターウインドウの をクリックするとウェブブラウザーを使用して本製品にアクセスすることもできます。（ネットワーク接続のみ）
詳しくは下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド　ネットワーク編「ウェブブラウザーで管理する」－「ウェブブラウザーを使用して本製品を設定する」

本体情報を取得する

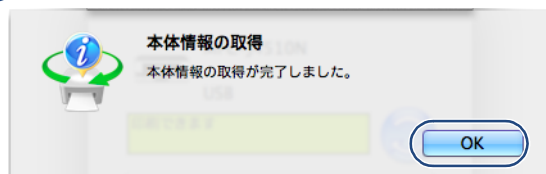
お使いの製品（プリンター）を交換した場合、もしくは、接続先のネットワークプリンターを変更した場合は、印刷結果を最適化する為に［本体情報の取得］を行ってください。

> ［本体情報の取得］は、ステータスモニターが起動している状態で行ってください。
> ⇒ 112 ページ「ステータスモニターを起動する」

1　メニューバーの［コントロール］から［本体情報の取得］を選ぶ

［本体情報の取得］画面が表示されます。

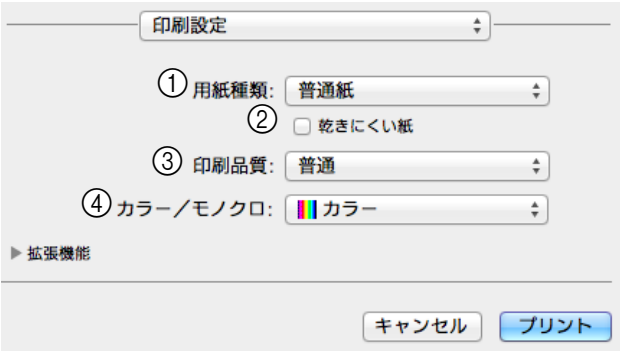
2　［OK］をクリックする

本体情報が取得されます。

❸ ［OK］をクリックする

- エラーが表示された場合は、Macintosh と本製品（プリンター）の接続状態などを確認して、再度［本体情報の取得］を行ってください。
- ［本体情報の取得］は一度行えば、お使いの Macintosh に本体情報が保存される為、繰り返し行う必要はありません。
- 複数の Macintosh を接続している場合は、それぞれの Macintosh で［本体情報の取得］を行ってください。
- ［ネットワークでこのプリンタを共有］の設定をしている場合、共有サーバー側でのみ［本体情報の取得］は実行できます。また、共有サーバー側で一度実行すれば、クライアント側で再度実行する必要はありません。

印刷の設定を変更する

プリセットに選んだ設定を登録するときは、[現在の設定をプリセットとして保存]を選ぶか、別名保存で[OK]をクリックします。標準設定に戻すときは、[プリセット]から[デフォルト設定(標準)]をクリックします。

印刷設定

① 用紙種類

記録紙の種類を選びます。記録紙トレイにセットした記録紙の種類を選ぶことで、印刷品質が向上します。

用紙の種類
普通紙
インクジェット紙
ブラザー BP71 写真光沢紙
ブラザー BP60MA インクジェット紙
その他光沢紙
OHP フィルム
写真用はがき 宛名面
写真用はがき 裏面(通信面)

② 乾きにくい紙

一部のインクジェットはがきの宛名側など、インクが乾きにくい記録紙を使用する場合にチェックします。

③ 印刷品質

文書をどのような品質で印刷するかを選びます。選べる印刷品質は、①で選んだ記録紙の種類によって異なります。

設定	内容	印刷速度
高速	大量の文書や、校正用の文書を印刷するとき ※最も印刷速度が速く、インクの消費量も少なくなります。	速い
普通	通常の印刷のとき (品質と印刷時間のバランスがとれています。)	
高画質	[普通]より高画質で印刷するとき	
最高画質	最高画質で印刷するとき (高解像度で印刷するので、印刷にかかる時間は長くなります。)	遅い

印刷品質が良いほど印刷速度は遅くなります。

● 用紙種類と印刷品質の関連について

記録紙の種類を指定したとき、選べる印刷品質は次のとおりです。お買い上げ時は、太字の項目が選ばれるよう設定されています。

用紙の種類	印刷品質
普通紙 / 写真用はがき宛名面	高速 / **普通** / 最高画質
インクジェット紙 / ブラザー BP60MA インクジェット紙	普通 / **高画質**
ブラザー BP71 写真光沢紙 / その他光沢紙 / 写真用はがき 裏面（通信面）	普通 / **高画質** / 最高画質
OHP フィルム	**普通**

④ カラー / モノクロ

カラーで印刷するか、モノクロで印刷するかを選びます。

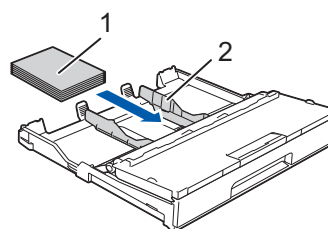
はがき（年賀状）に印刷する

お使いの OS やアプリケーションソフトによって異なります。

1 はがき (1) をトレイ (2) にセットする

印刷したい面を下にしてセットします。

例：宛て先面に住所を印刷する場合

宛て先面を伏せて郵便番号欄を奥に向ける

はがきをセットする方法については、下記を参照してください。

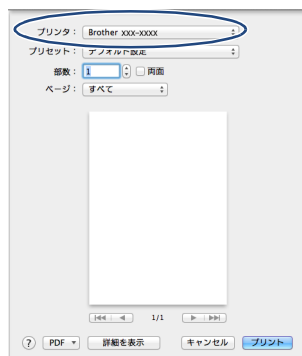
⇒ユーザーズガイド 基本編「記録紙のセット」

2 はがき用データを作成したアプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［ページ設定］を選ぶ

ページ設定画面が表示されます。

3 ［対象プリンタ］で本製品のモデル名を選び、［OK］をクリックする

標準ウェブブラウザーなどでは、［ファイル］－［プリント］を選択して表示される画面で用紙サイズを設定できます。

4 はがき用データを作成したアプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選ぶ

プリントダイアログが表示されます。

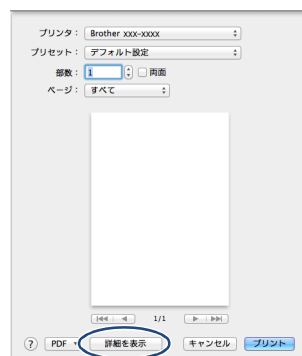
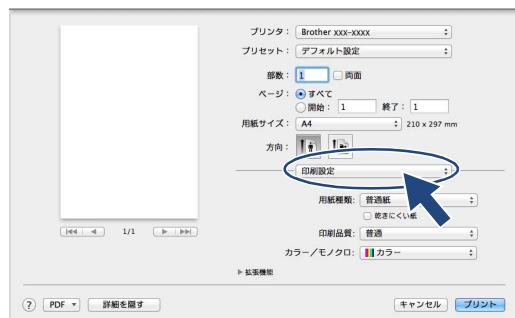
5 ［プリンタ］に本製品のモデル名が表示されていることを確認する

6 印刷設定画面を表示する

(A) Mac OS X v10.5.8 から 10.6.x の場合

［プリンタ］の▼ボタンをクリックする

(B) Mac OS X v10.7. x の場合

［詳細を表示］をクリックする

ポップアップメニューから［印刷設定］を選ぶ

印刷設定画面が表示されます。

7 ［用紙種類］を設定する

例：インクジェット紙のはがきに印刷する場合は、［用紙種類］を［インクジェット紙］に設定します。

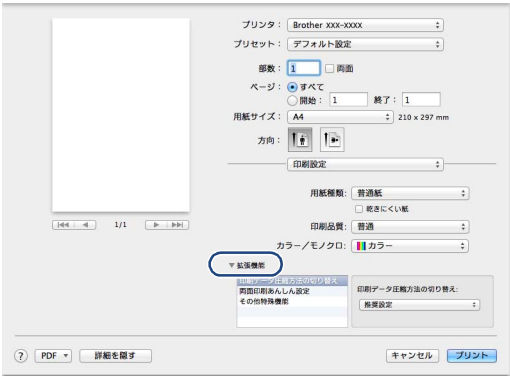
8 ［プリント］をクリックする

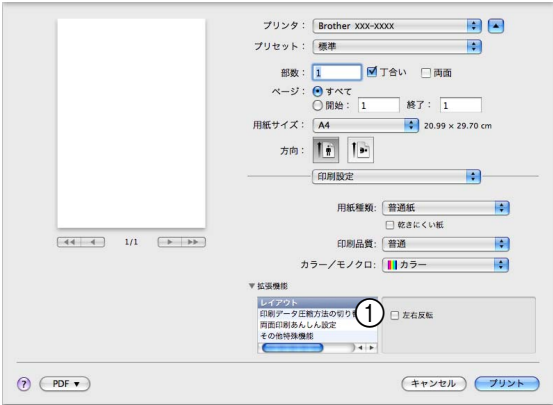
印刷が始まります。

お願い

■ はがき印刷のあと、タイプやサイズの違う記録紙に印刷するときは、プリンタードライバーの［用紙種類］および［用紙サイズ］を設定し直してください。

拡張機能

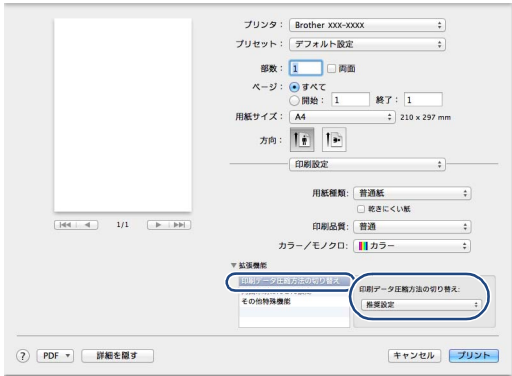
［拡張機能］のリストの項目をクリックすると、その機能の設定画面が表示され、設定を変更できます。

レイアウト

クリックすると、次のような画面が表示されます。

① 左右反転（Mac OS X v10.5.8 のみ）

チェックすると、左右に反転して印刷します。

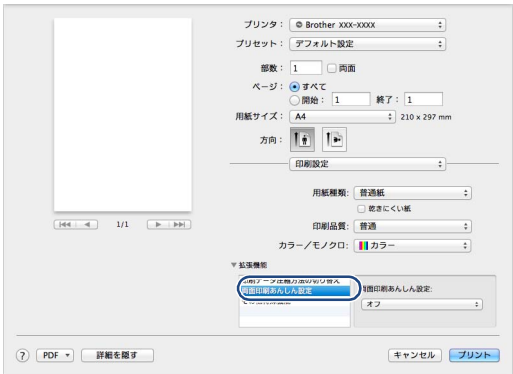
> （Mac OS X v10.5.8 の場合）
> 用紙の種類で［OHP フィルム］を選択すると、［左右反転］は選択できません。
>
> （Mac OS X v10.6.x 、10.7. x の場合）
> ポップアップメニューから［レイアウト］を選択すると、次の項目が表示されます。
>
> - ページの方向を反転
> - 左右反転
>
> 上下に反転して印刷する場合は、［ページの方向を反転］をチェックします。

印刷データ圧縮方法の切り替え

クリックすると、次のような画面が表示されます。

通常は、［推奨設定］にしてください。

設定	内容
推奨設定	画質と印刷速度のバランスがとれた設定です。
画質を優先する	画質を優先したい場合に設定します。
転送速度を優先する	速度を優先したい場合に設定します。

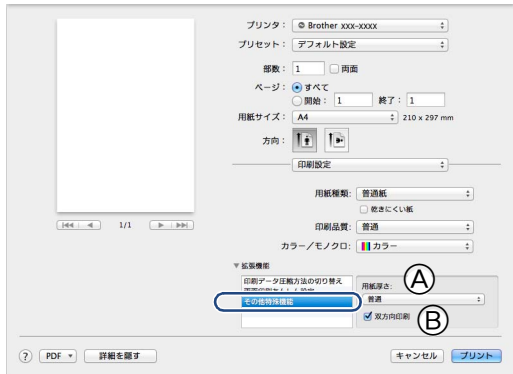
両面印刷あんしん設定

クリックすると、次のような画面が表示されます。（画面の一部を表示しています。）

両面印刷のときの印刷方法を設定できます。
インクが滲んだり、紙がつまったりするときは次の項目を設定します。

設定	内容
オフ	通常の速度で印刷します。
あんしん 1	通常よりゆっくり印刷します。
あんしん 2	通常よりゆっくり印刷し、インクの消費量も抑えます。

A3、JIS B4 等、両面印刷できない用紙があります。

その他特殊機能

クリックすると、次のような画面が表示されます。（画面の一部を表示しています。）

Ⓐ **用紙厚さ**

用紙の厚さを選びます。用紙サイズによって、初期値が異なります。

Ⓑ **双方向印刷**

チェックするとプリントヘッドが両方向から印刷を行います。
チェックを外すと、片方向印刷になります。印刷速度は遅くなりますが印刷品質は向上します。

設定	内容
チェックなし	一方向から印刷します。 （印刷品質が良い）
チェックあり	双方向から印刷します。 （印刷速度が速い）

カラー設定

印刷される色はモニターで見ている色に最も近くなるように調整されます。
ポップアップメニューから［カラー設定］を選ぶと、次の画面が表示されます。

次のカラーモードを選択できます。

- ナチュラル
  自然な色合いになるように調節されます。写真などの印刷に使います。
- 鮮やか
  よりはっきりした色合いになるように調節されます。図やグラフィックを含む文書の印刷に使います。
- なし
- ColorSync
  ［カラー・マッチング］で［ColorSync］を選んだ場合は自動的に選択されます。

カラー詳細設定

［カラー詳細設定］の ▶ をクリックすると、次の画面が表示されます。

① 画質強調

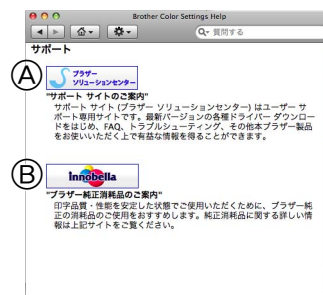
- 明るさ
  画像全体の明るさを調整します。スクロールバーを左右に動かすと、画像の明るくしたり暗くしたりできます。
- コントラスト
  画像のコントラスト（濃淡）を調整します。画像をくっきりさせたいときはコントラストを増やし、淡くしたいときは減らします。
- 赤・緑・青
  画像中の各色（赤・緑・青）のバランスを調整します。例）全体に赤みを加えるには、赤の割合を増やします。

② ハーフトーン

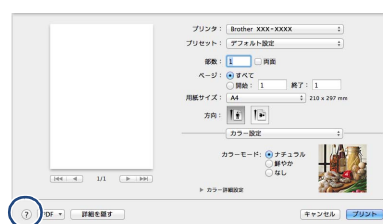
ハーフトーンを表現する点の位置を決めます。画像にあわせて適切な方法を選んでください。

設定	内容
誤差拡散	図表や微妙な影を持つ写真を印刷するのに適しています。
ディザ	色の境界がはっきりしている図や業務用グラフなどを印刷するのに適しています。

サポート情報の表示

本製品にインストールされているドライバーのサポート情報を参照できます。

Ⓐ **ブラザーソリューションセンター（サポートサイトのご案内）**
クリックすると、よくあるご質問（Q&A）、最新のドライバーやソフトウェアのダウンロードなど、ブラザー製品に関する情報を提供しているホームページが表示されます。

Ⓑ innobella
（ブラザー純正消耗品のご案内）
クリックすると、ブラザー純正の消耗品に関する情報を提供しているホームページが表示されます。

1 ［印刷設定］画面、または［カラー設定］画面で ? をクリックする

ヘルプ画面が表示されます。

2 ヘルプ画面で［印刷設定］または［カラー設定］をクリックする

3 ［サポート］をクリックする

サポート画面が表示されます。

第８章 スキャナー

スキャナーとして使う前に

ドライバーをインストールする必要があります

本製品をスキャナーとして使用する場合は、付属の CD-ROM に収録されているドライバーをインストールする必要があります。
また、Presto! PageManager を使用すると、スキャンした文書や画像を管理したり、加工したりできます。Presto! PageManager は、付属の CD-ROM の「サービスとサポート」からダウンロードしてください。ダウンロードの方法については、別冊の「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

- ドライバーやソフトウェアのインストール方法については、別冊の「かんたん設置ガイド」をお読みください。
- OCR を利用するには、Presto! PageManager のインストールが必要です。Presto! PageManager は、付属の CD-ROM の「サービスとサポート」からダウンロードしてください。ダウンロードの方法については、別冊の「かんたん設置ガイド」をご覧ください。
- 「Presto! PageManager」に関する詳細は、ソフトウェアに付属のヘルプを参照してください。なお、テクニカルサポートに関する情報は次のとおりです。
  ニューソフトジャパン株式会社　東京都港区新橋 6-21-3
  ニューソフトカスタマーサポートセンター
  Tel：03-5472-7008、Fax：03-5472-7009
  受付時間：10：00 ～ 12：00、13：00 ～ 17：00（土曜、日曜、祝祭日を除く）
  電子メール：support@newsoft.co.jp
  ホームページ：http://www.newsoft.co.jp
- TWAIN とは、スキャナーなどの画像入力デバイス用の関数（API）や手続きの集合体です。多くのスキャナーやグラフィックソフトウェアが TWAIN に対応しています。
- 本製品をネットワーク接続でご利用の場合、本製品のスキャンキーからネットワークスキャン機能を使うには、スキャンしたデータを受信する Macintosh でスキャンキーの登録が必要です。スキャンキーの登録が完了すると、本製品のスキャンキーを押したときに選択項目として登録した Macintosh の名前が表示されます。
  ⇒ 159 ページ「Macintosh を本製品のスキャンキーへ登録する」

スキャン方法を選ぶ

本製品を使ってスキャンするとき、目的に応じてスキャンの方法や使用するアプリケーションを使い分けてください。

やりたいこと	使用する機能または アプリケーション	詳細	ページ
スキャンデータを保存したい	ファイル	スキャンしたデータを Macintosh 上のハードディスクに保存します。	160ページ
	スキャン：メディア	スキャンしたデータを本製品に差し込んだメモリーカードや USB フラッシュメモリーに保存します。	164ページ
	FTP サーバー ネットワーク	スキャンしたデータを指定したサーバーに保存します。	171ページ
スキャンデータを送りたい	E メール添付	スキャンしたデータを Macintosh から新規メールとして送信します。(複数のユーザーに送ることができ、メールのタイトルや本文を編集できます。)	161ページ
スキャンデータを編集したい	TWAIN ドライバー対応の アプリケーション	解像度や色数、明るさ、スキャンの範囲など、詳細な条件を指定してスキャンできます。	125ページ
	ICA ドライバーでスキャン (イメージキャプチャ)	フォーマットや解像度、明度、スキャンの範囲など、詳細な条件を指定してスキャンできます。	128ページ
	OCR	スキャンしたデータをテキストデータとして取り込み、Microsoft® Word 等で編集できます。	162ページ
	イメージ	スキャンしたデータを指定したアプリケーションで自動的に取り込み、編集できます。	163ページ

アプリケーションからスキャンする（TWAIN）

本製品のドライバーは TWAIN 対応です。ドライバーにより、TWAIN 対応の他のアプリケーション（「Presto! PageManager」や「Adobe® Photoshop®」など）で、画像を直接スキャンできます。

原稿をスキャンする

TWAIN 対応の他のアプリケーションから直接原稿をスキャンするときは、次の手順で操作します。ここでは、「Presto! PageManager」でスキャンする場合について説明します。原稿を連続して読み取ることのできる ADF（自動原稿送り装置）を使用して複数枚の原稿をスキャンできます。

> Presto! PageManager は、付属の CD-ROM の「サービスとサポート」からダウンロードしてください。ダウンロードの方法については、別冊の「かんたん設置ガイド」をご覧ください。
>
> ADF（自動原稿送り装置）が搭載されているモデルは、MFC-J4510N です。

1 Presto! PageManager を起動する

2 ［ファイル］メニューから［取り込みデバイスを選択］を選択する

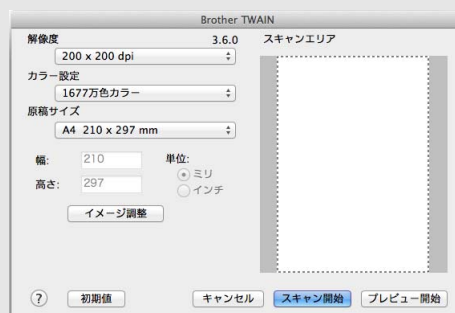
［入力源を選択］の画面が表示されます。

3 ［Brother TWAIN］を選択し、［選択］をクリックする

4 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

> 両方に原稿をセットした場合は、ADF（自動原稿送り装置）にセットした原稿がスキャンされます。

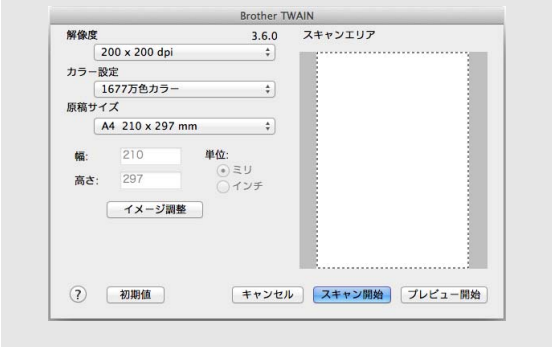
5 ［ファイル］メニューから［イメージデータを取り込む］を選ぶ

TWAIN ダイアログボックスが表示されます。

- スキャンする前に画像を確認（プレビュー）し、スキャンの設定を変更する場合⇒手順 6 へ
- 設定を変えずにスキャンする場合⇒手順 9 へ

> ［原稿サイズ］は［自動］以外を選択してください。

6 ［プレビュー開始］をクリックする

> ［原稿サイズ］で［自動］を選択した場合は、プレビュー機能は使用できません。
>
> ADF（自動原稿送り装置）をお使いの場合：
> ・プレビューのため原稿が一度排出されます。複数枚の原稿をセットしている場合は、すべての原稿が読み込まれて排出されますが、プレビュー画面には最後に読み取った画像のみが表示されます。
> ・スキャンするときは、原稿をセットし直してから［スキャン開始］をクリックします。

低解像度で原稿がスキャンされ、プレビュー画像が表示されます。

7 点線をドラッグして、スキャンする範囲を調節する

マウスで点線の側面または端をドラッグします。

> ADF（自動原稿送り装置）で複数枚の原稿をスキャンする場合は、プレビュー画面に表示された最後に読み取った画像でスキャン範囲を指定すると、その指定範囲がすべての原稿に適用されます。

8 解像度や明るさなどの項目を設定する

⇒ 126 ページ「TWAIN ダイアログボックスの設定について」

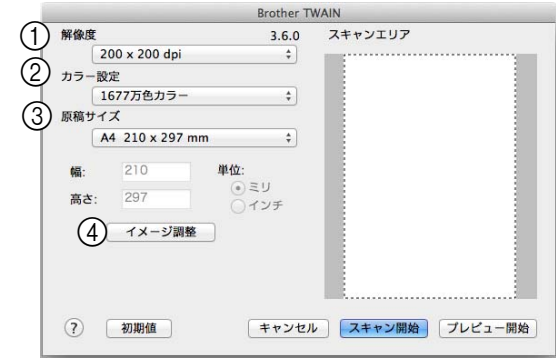
9 ［スキャン開始］をクリックする

原稿がスキャンされ、TWAIN ダイログボックスが閉じます。起動している「Presto! PageManager」に画像が表示されます。

10 画像を保存する

> 操作の詳細については、「Presto! PageManager」のヘルプを参照してください。

TWAIN ダイアログボックスの設定について

TWAIN ダイアログボックスでは、次の項目が設定できます。

① 解像度

スキャンする解像度を選びます。解像度を高くするとデータの容量が大きくなりますが、より細かくスキャンされるので画像の質は向上します。選べる解像度と指定可能な色数の対応は次のとおりです。
モデルによって表示される解像度は異なります。

解像度	モノクロ/グレー/256 階調グレー	256 色カラー	1677 万色カラー
100 × 100dpi	○	○	○
150 × 150dpi	○	○	○
200 × 200dpi	○	○	○
300 × 300dpi	○	○	○
400 × 400dpi	○	○	○
600 × 600dpi	○	○	○
1200 × 1200dpi	○	×	○
2400 × 2400dpi	○	×	○
4800 × 4800dpi	○	×	○
9600 × 9600dpi	○	×	○
19200 × 19200dpi	○	×	○

> 1677 万色カラーは最適な色で画像を作成できますが、作成した画像ファイルのデータ容量は、256 色カラーを使用した場合の約 3 倍になります。
>
> 必要以上に解像度を高く設定すると、必要なハードディスクの容量もスキャンにかかる時間も増大します。適切な解像度を選んでください。
>
> 高い解像度でのスキャンは一般的に 600dpi 程度で十分ですが、上限は 2400dpi にすることをお勧めします。
>
> 4800dpi よりも高い解像度でスキャンするときは、スキャンする範囲を指定してください。
>
> お使いのアプリケーションによっては、256 色カラーは表示されません。

② カラー設定

取り込む色数を設定します。

設定	内容
モノクロ	文字原稿や線画原稿のスキャンに適しています。
グレー	写真やグラフィックが含まれる原稿のスキャンに適しています。このモードでは、黒い点を原稿の濃淡に応じ一定の規則で配置することで、原稿の濃淡を擬似的に表現する方式でスキャンします。
256 階調グレー	写真やグラフィックが含まれる原稿のスキャンに適しています。
256 色カラー	256 色のカラーで取り込みます。カラーイラストが含まれる原稿のスキャンに適しています。
1677 万色カラー	1677 万色のカラーで取り込みます。カラー原稿のスキャンに適しています。このモードでは、ブラザーカラーマッチング技術を利用するため、最良のスキャン結果を得ることができます。

- ワープロアプリケーション、グラフィックアプリケーション上で使用される写真や、その他の画像をスキャンする場合は、明るさ、コントラスト、色数、解像度の設定を調整して、どの設定が最適か判断してください。
- お使いのアプリケーションによっては、256 色カラーは表示されません。

③ 原稿サイズ

次のいずれかのサイズを設定します。

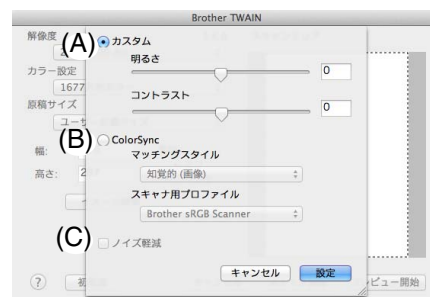
設定	サイズ
自動	自動で最適な原稿サイズが設定されます。
A4	210 × 297mm
JIS B5	182 × 257mm
レター	215.9 × 279.4mm
リーガル＊ 1	215.9 × 355.6mm
A5	148 × 210mm
JIS B6	128 × 182mm
A6	105 × 148mm
エグゼクティブ	184.1 × 266.7mm
名刺	90 × 60mm
ポストカード	101.6 × 152.4mm
インデックスカード	127 × 203.2mm
L 判	89 × 127mm
2L 判	127 × 178mm
ハガキ	100 × 148mm
往復ハガキ	148 × 200mm
ユーザー定義サイズ＊ 2	

＊ 1　MFC-J4510N のみ

＊ 2　「ユーザー定義サイズ」を選んだ場合は、「幅」と「高さ」を入力します。8.9 × 8.9mm から 215.9 × 297mm まで調整できます。
ADF（自動原稿送り装置）を搭載しているモデルは、215.9 × 355.6mm まで調整できます。

- ユーザー定義サイズを選んだあとでも、スキャンの範囲をさらに調整できます。マウスで、スキャン範囲の点線をドラッグします。
- 名刺をスキャンするときは、名刺サイズ（90 × 60mm）の設定を選び、原稿台ガラスに名刺をセットしてください。

④ イメージ調整

クリックすると次の画面が表示されます。

(A) カスタム

明るさ、コントラストを調整します。

- ②カラー設定で［モノクロ］を選んだ場合は［明るさ］のみが調節できます。

(B) ColorSync

- マッチングスタイル
  ColorSync を使って色補正を行う場合の基準を設定します。

設定	内容
知覚的（画像）	写真のようなイメージのとき選びます。
彩度（グラフィックス）	はっきりしたイメージで彩度を要求されるとき選びます。
相対的な色域を維持	色と色の関係（対比）が重要なとき選びます。
絶対的な色域を維持	シンボルカラーのような色そのものが持つイメージが重要なとき選びます。

- スキャナ用プロファイル
  ［Brother sRGB Scanner］を選びます。

(C) ノイズ軽減

スキャンした画像のノイズを軽減します。スキャンした画像に乱れがある場合や、印刷すると縞状のパターンが発生する場合に使用します。
1677 万色カラーで解像度が 300 × 300dpi、400 × 400dpi、または 600 × 600dpi の場合に設定できます。

ICA ドライバーを使ってスキャンする（Mac OS X v10.6.x 以降）

Mac OS X v10.6.x、10.7.x をお使いの場合、標準装備されているイメージキャプチャまたは「プリントとスキャン」を利用して原稿をスキャンできます。

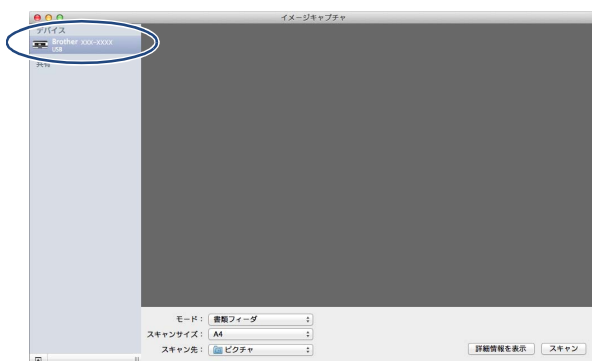
イメージキャプチャでスキャンする

イメージキャプチャを使用するためには、最新の ICA スキャナードライバーのインストールが必要です。ICA スキャナードライバーは、付属の CD-ROM からインストールします。インストール方法については、別冊の「かんたん設置ガイド」をご覧ください。
イメージキャプチャを使用して原稿をスキャンするときは、次の手順で操作します。

1 イメージキャプチャを起動する

2 画面左側の一覧から、本製品を選ぶ

本製品と Macintosh を USB ケーブルで接続している場合は［デバイス］、ネットワーク接続の場合は［共有］の欄に表示されます。

> 接続されている本製品が 1 台の場合、この操作は必要ありません。
>
> Mac OS X v10.7. x をご使用で、［デバイス］または［共有］の横に何も表示されない場合は、ポインタを移動して［表示］と表示される箇所をクリックしてください。

3 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

> ADF（自動原稿送り装置）が搭載されているモデルは、MFC-J4510N です。

4 ［モード］と［スキャンサイズ］を選ぶ

- ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットした場合は、［モード］で［書類フィーダ］を選びます。
- 原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、［モード］で［フラットベッド］を選びます。

(A)　Mac OS X v10.6.x の場合

［個別に検出］のチェックボックスのチェックを外すと、複数の原稿を原稿台ガラスにセットしていても、ガラス台全面をスキャンして 1 つのファイルとして保存します。チェックを入れると、複数の原稿を 1 度にスキャンして、別々の複数のファイルとして保存します。チェックを入れていても、複数のファイルにうまく保存できない場合は、［詳細情報を表示］をクリックして表示されるダイアログでスキャンしたい範囲を設定できます。

(B)　Mac OS X v10.7.x の場合

［スキャンサイズ］で［1 つのボックスにまとめて検出］を選ぶと、複数の原稿を原稿台ガラスにセットしていても、ガラス台全面をスキャンして 1 つのファイルとして保存します。
［スキャンサイズ］で［各項目を個別に検出］を選ぶと、複数の原稿を 1 度にスキャンして、別々の複数のファイルとして保存します。選んでも複数のファイルにうまく保存できない場合は、［詳細情報を表示］をクリックして表示されるダイアログでスキャンしたい範囲を設定できます。

5 ［スキャン先］でスキャンした画像を保存する場所、または開くアプリケーションを選ぶ

そのままスキャンする場合⇒手順 7 へ

6 ［詳細情報を表示］をクリックしてスキャンする画像の種類や品質の項目を設定する

⇒ 130 ページ「イメージキャプチャダイアログボックスの設定について」

> 詳細設定を行う場合は、手順 5 で設定した［スキャン先］の内容が保持されないことがあります。もう一度、⇒ 130 ページ「イメージキャプチャダイアログボックスの設定について」の⑦［スキャン先］を設定しなおしてください。

7 ［スキャン］をクリックする

イメージキャプチャダイアログボックスの設定について

［詳細情報を表示］をクリックして表示されるイメージキャプチャダイアログボックスでは、次の項目を設定できます。
お使いのモデルによっては、表示される項目が異なる場合があります。

［書類フィーダ］の場合

［フラットベッド］の場合

① スキャンモード

ADF（自動原稿送り装置）からスキャンする場合は［書類フィーダ］、原稿台ガラスからスキャンする場合は［フラットベッド］を選びます。

② 種類

［カラー］、［白黒］または［テキスト］を選びます。

③ 解像度

スキャンする解像度を選びます。

④ カスタムサイズを使用（Mac OS X v10.7.x のみ）

原稿台ガラスからスキャンする場合に、読み取り範囲を設定できます。

⑤ スキャンサイズ／サイズ

ADF（自動原稿送り装置）からスキャンする場合、または［カスタムサイズを使用］をチェックしない場合は、原稿のサイズを選びます。原稿台ガラスからスキャンする場合、かつ［カスタムサイズを使用］をチェックしている場合は、読み取り範囲を設定できます。

⑥ 方向／回転角度

ADF（自動原稿送り装置）からスキャンする場合は原稿の向きを選びます。原稿台ガラスからスキャンする場合は、読み取り角度を設定します。

⑦ スキャン先

スキャンした画像を保存する場所、または開くアプリケーションを選びます。

⇒ 128 ページ「イメージキャプチャでスキャンする」」の手順 5 で［スキャン先］を設定していても、内容が保持されないことがあります。もう一度、［スキャン先］を設定しなおしてください。

⑧ 名前

スキャンした原稿ファイル名につける文字を入力します。

⑨ フォーマット

スキャンするデータ形式を選びます。

単一書類に結合（Mac OS X v10.7.x のみ）
［フラットベッド］を選択し、データ形式で PDF または TIFF を指定した場合に、データを 1 つのファイルとしてスキャンおよび保存するには、この項目をチェックします。

⑩ イメージ補正

［マニュアル］を選ぶと、明度などを調整できます。

連続していない項目を検出（Mac OS X v10.6.x のみ）
原稿台ガラスからスキャンする場合は、一度にスキャンした複数のオブジェクトを個別にファイル保存します。

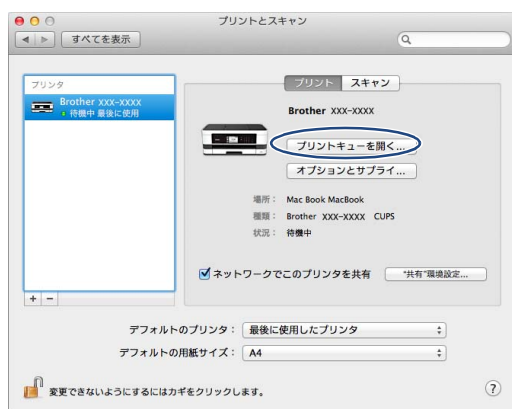
自動選択（Mac OS X v10.7.x のみ）
［フラットベッド］を選択し、［カスタムサイズを使用］をチェックしている場合は、スキャナードライバーの自動検出機能を選択できます。

「プリントとファクス」または「プリントとスキャン」でスキャンする

お使いの Macintosh の「プリントとファクス」または「プリントとスキャン」に本製品が登録されていると、そこから直接スキャンできます。「プリントとファクス」または「プリントとスキャン」を使用して原稿をスキャンするときは、次の手順で操作します。

1 アップルメニューから［システム環境設定］を選ぶ

2 ［プリントとファクス］または「プリントとスキャン」をクリックする

3 画面左側の一覧から本製品を選び、［プリントキューを開く］をクリックする

4 ［スキャナ］をクリックする

画面に［スキャナ］が表示されない場合は、手順 3 に戻って、［−］をクリックし、［プリントとファクス］リストまたは［プリントとスキャン］リストから本製品をいったん削除し、再度［+］をクリックして追加してください。

5 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

ADF（自動原稿送り装置）が搭載されているモデルは、MFC-J4510N です。

6 ［モード］と［スキャンサイズ］を選ぶ

- ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットした場合は、［モード］で［書類フィーダ］を選び、［スキャンサイズ］でスキャンする原稿のサイズを選びます。
- 原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、［モード］で［フラットベッド］を選びます。

(A)　Mac OS X v10.6.x の場合

［個別に検出］のチェックボックスのチェックを外すと、複数の原稿を原稿台ガラスにセットしていても、ガラス台全面をスキャンして 1 つのファイルとして保存します。チェックを入れると、複数の原稿を 1 度にスキャンして、別々の複数のファイルとして保存します。チェックを入れていても、複数のファイルにうまく保存できない場合は、［詳細情報を表示］をクリックして表示されるダイアログでスキャンしたい範囲を設定できます。

(B)　Mac OS X v10.7.x の場合

［スキャンサイズ］で［1 つのボックスにまとめて検出］を選ぶと、複数の原稿を原稿台ガラスにセットしていても、ガラス台全面をスキャンして 1 つのファイルとして保存します。
［スキャンサイズ］で［各項目を個別に検出］を選ぶと、複数の原稿を 1 度にスキャンして、別々の複数のファイルとして保存します。選んでも複数のファイルにうまく保存できない場合は、［詳細情報を表示］をクリックして表示されるダイアログでスキャンしたい範囲を設定できます。

7 ［スキャン先］でスキャンした画像を保存する場所、または開くアプリケーションを選ぶ

⇒ 128 ページ「イメージキャプチャでスキャンする」の手順 5 で［スキャン先］を設定していても、内容が保持されないことがあります。もう一度、［スキャン先］を設定しなおしてください。

8 ［詳細情報を表示］をクリックしてスキャンする画像の種類や品質の項目を設定する

⇒ 130 ページ「イメージキャプチャダイアログボックスの設定について」

9 ［スキャン］をクリックする

第９章 PC-FAX（MFC-J4510N のみ）

Macintosh からファクスを送る

Macintosh 上のアプリケーションで作成したファイルをファクスとして送信します。

- Macintosh では、PC-FAX の受信機能は使用できません。
- PC-FAX は、モノクロのみ対応しています。（カラーのデータを送信した場合、相手側のファクス機がカラーに対応していてもモノクロで送信されます。）

1 Macintosh 上のアプリケーションで送信したいファイルを作成する

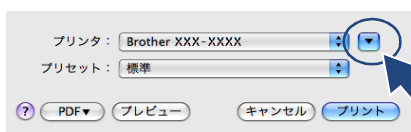
2 アプリケーションの［ファイル］メニューから［プリント］を選ぶ

［プリンタ］に本製品のモデル名が表示されていることを確認します。

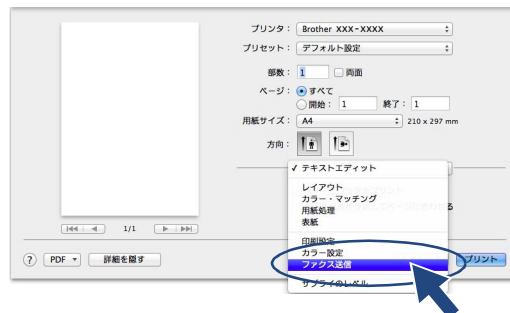
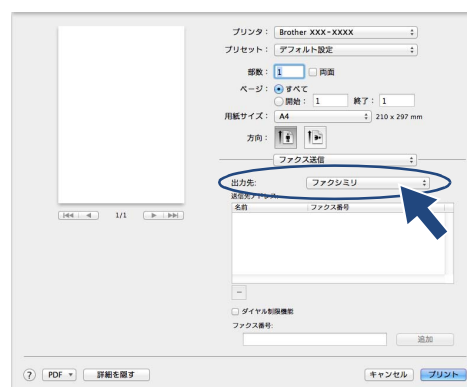
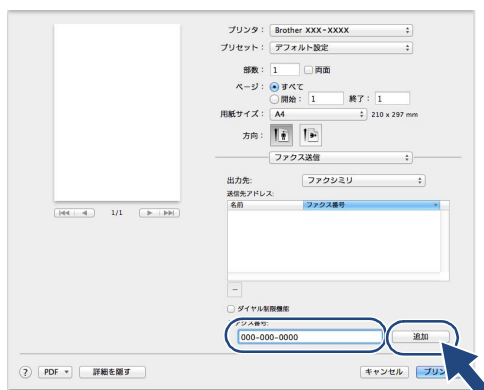
プリントダイアログが表示されます。

3 ファクス送信画面を表示する

(A)　Mac OS X v10.5.8 から 10.6.x の場合

［プリンタ］の▼ボタンをクリックする

(B)　Mac OS X v10.7. x　の場合

［詳細を表示］をクリックする

ポップアップメニューから［ファクス送信］を選ぶ

4 ［出力先］で［ファクシミリ］を選ぶ

［ファクス番号］にファクス番号を入力し、［追加］をクリックする

- ［ダイヤル制限機能］にチェックを入れると、ファクス番号の再入力画面が表示されます。誤った送信先の入力を防ぐことができます。
- 複数の相手にファクスを送信するときは、続けて［ファクス番号］にファクス番号を入力し、［追加］をクリックします。
- ファクス番号は、必ず市外局番から入力してください。ナンバーディスプレイの名前 / 着信履歴が正しく表示されない場合があります。

6 ［プリント］をクリックする

ファクスが送信されます。

- 送るのをやめるときは、［キャンセル］をクリックします。

第 10 章 メモリーカードアクセス

Macintosh からメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを使う

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

重 要

■ カードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口には、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー、PictBridge 対応デジタルカメラ以外のものを差し込まないでください。内部を壊す恐れがあります。

■ 本製品がメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを読み込んでいるときは、電源プラグを抜いたり、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの抜き差しをしたりしないでください。データやメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを壊す恐れがあります。

2 つのメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを同時に挿入しても、最初に挿入したカードしか読み込みません。

著作権保護機能には対応していません。

1 メディアスロットカバーを開く

2 本製品のカードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口に、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを 1 つだけ差し込む

下記のメモリーカードおよび USB フラッシュメモリーを使用できます。

種類		セットする位置
• メモリースティック デュオ ™（最大 128MB） • メモリースティック PRO デュオ ™（最大 32GB）		上段に
• メモリースティック マイクロ ™（M2™）（最大 32GB）	アダプターが必要です	
• SD メモリーカード（最大 2GB） • SDHC メモリーカード（最大 32GB） • SDXC メモリーカード（最大 128GB） • マルチメディアカード（最大 2GB） • マルチメディアカード plus（最大 4GB）		下段に
• miniSD カード（最大 2GB） • microSD カード（最大 2GB） • miniSDHC カード（最大 32GB） • microSDHC カード（最大 32GB） • マルチメディアカード mobile（最大 1GB）	アダプターが必要です	
• USB フラッシュメモリー（最大 32GB）	22mm 以下 11mm 以下	

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする（USB 接続のみ）

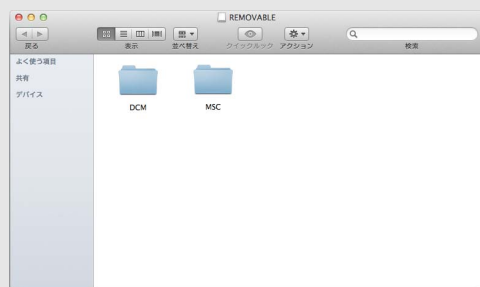
本製品に挿入したメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに USB 接続した Macintosh からアクセスし、「リムーバブルディスク」として使用します。

1 メディアスロットカバーを開く

2 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを本製品にセットする

3 デスクトップに表示されたリムーバブルディスクのアイコン（※）をダブルクリックする

※ メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにボリューム名が設定されている場合は、その名称が表示されます。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存されているファイルやフォルダーが表示されます。

ファイルを表示したり、Macintosh へコピーしたりできます。
また、Macintosh からメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーへファイルをコピーするなど、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーへの書き込みもできます。

ネットワーク経由でメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする

本製品に挿入したメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにネットワークを経由してアクセスし、ファイルを表示したりコピーしたりできます。

- この機能は、ネットワーク対応モデルでのみ使用できます。
- ネットワーク経由で他の Macintosh がメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスしている場合、同時にファイルの操作はできません。
- メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存された写真を本製品の画面に表示しているとき、および保存されたデータをプリントしているときは、Macintosh からはアクセスできません。
- OS 標準のウェブブラウザーでは、ネットワーク経由でアクセスできません。
- ご使用の FTP ソフトウェアによって操作方法が異なる場合があります。

1 メディアスロットカバーを開く

2 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを本製品にセットする

3 FTP ソフトウェアまたは FTP をサポートしているウェブブラウザーを起動する

4 アドレス欄に本製品の IP アドレスを入力する

例）192.168.0.10 の場合は、「ftp://192.168.0.10」と入力します。

5 ファイルを表示、またはコピーする

Macintosh からメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーへファイルをコピーするなど、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーへの書き込みもできます。

ネットワーク経由でメモリーカードや USB フラッシュメモリー内のファイルを扱う場合は、ファイル名を半角英数字にしてください。漢字・ひらがな・カタカナなどのファイル名は文字化けします。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出す（USB 接続のみ）

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出すときは、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを損傷しないよう、次の手順で取り出します。

1. **メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを参照しているソフトウェアをすべて終了する**
2. **リムーバブルディスクアイコンをゴミ箱にドラッグする**
3. **本製品で［データ読み込み中］などのメッセージを表示していないことを確認し、そのまま引き抜く**

重 要

■ 本製品がメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを読み込んでいるときは、電源プラグや USB ケーブルを抜いたり、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出したりしないでください。データが読めなくなったり、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが損傷を受けたりすることがあります。

お願い

■ 本製品がメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを読み込んでいるときに誤ってメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出した場合は、Macintosh をすぐに再起動したあと、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを挿入してください。Macintosh を再起動する前に他のメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを挿入すると、データが破壊されることがあります。

■ Macintosh のデスクトップにメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのアイコンが表示されているときは、本製品の「メモリーカードアクセス」機能は使用できません。デスクトップに表示されているメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのアイコンをゴミ箱に移動したあと、ご使用ください。

■ 本製品がメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを読み込んでいるときに誤ってメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出した場合は、Macintosh の「システム終了」を実行できなくなることがあります。その場合は、本製品と接続している USB ケーブルを抜いてから Macintosh の「システム終了」を実行してください。

第 11 章 リモートセットアップ（MFC-J4510N のみ）

リモートセットアップを利用する

リモートセットアップとは

本製品の設定は操作パネル上のナビゲーションキーとダイヤルボタンで行いますが、リモートセットアップを使うと、Macintosh から簡単に操作ができます。

リモートセットアップで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

お願い

■ PC-FAX ご利用中はリモートセットアップの操作はできません。PC-FAX を終了させてから操作してください。

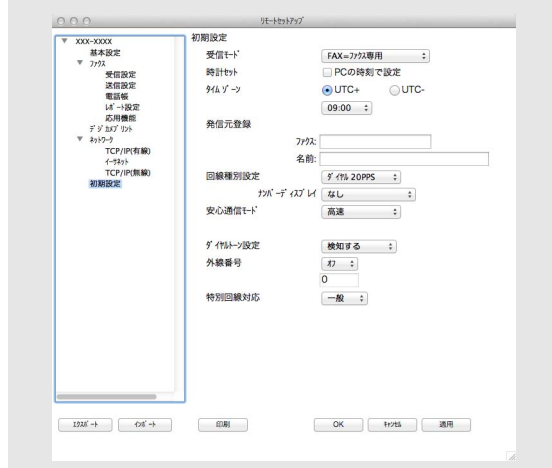
- リモートセットアップ画面を開いているときは、本製品で他の操作をすることができません。
- 本製品の操作パネルから機能の設定や登録をしているときは、リモートセットアップ機能は使用できません。

本製品の設定を Macintosh から変更する

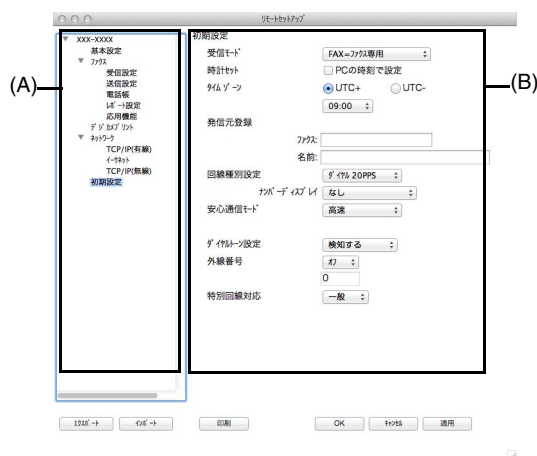
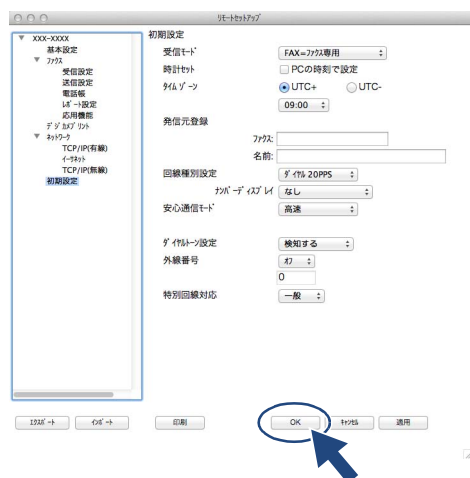
リモートセットアップを使って本製品の設定を変更するときは、次の手順で操作します。

1 「リモートセットアップ」を起動する

［Macintosh HD］－［アプリケーション］－［Brother］から［RemoteSetup］アイコンをダブルクリックします。

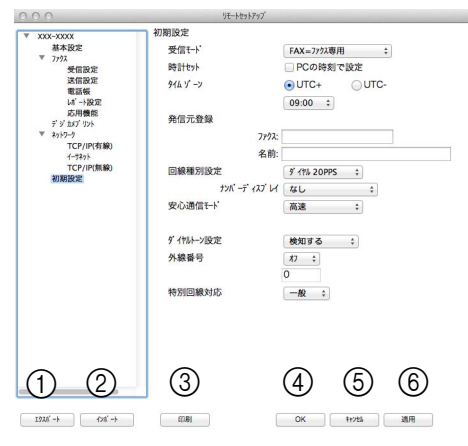
現在本製品に設定されている内容がMacintoshにダウンロードされ、リモートセットアップの画面が表示されます。

本製品に設定されている内容のダウンロードには、数分間かかることがあります。

2 左側（A）から設定したい項目を選び、右側（B）の項目を設定する

表示される画面は、モデルによって異なります。

設定し終わったら、［OK］をクリックする

設定内容が本製品に送信され、「リモートセットアップ」を終了します。

- リモートセットアップは、ControlCenter2 からも実行できます。
- ネットワーク接続の場合、接続に失敗したときは、ControlCenter2 の［モデル名］－［その他］を選択すると表示されるデバイスセレクター画面で、ネットワークの再設定をしてください。

その他の操作について

リモートセットアップの設定では、設定内容をファイルとして保存したり、印刷したりすることができます。

① エクスポート

現在の設定内容をファイルに保存します。

② インポート

ファイルに保存されている設定内容を読み込みます。

③ 印刷

電話帳画面を表示しているときは、「電話帳リスト」を印刷します。その他の設定を表示しているときは、「設定内容リスト」を印刷します。ただし、本製品に送信する前は印刷できないため、［適用］をクリックして新しいデータを送信してから、［印刷］をクリックしてください。

④ OK

設定した内容を本製品に送信するとともに、リモートセットアップを終了します。

送信の際に、エラーメッセージが表示された場合は、正しいデータを再度入力して、［OK］をクリックしてください。

⑤ キャンセル

設定した内容を本製品に送信しないで、リモートセットアップを終了します。

⑥ 適用

設定した内容を本製品に送信しますが、リモートセットアップは終了しません。

本製品の電話帳を作成・変更する

リモートセットアップを使って電話帳の登録、編集ができます。Macintosh のキーボードを使用して名前などを入力できるので、本製品の操作パネルから入力する場合に比べて、簡単です。

本製品の漢字は、JIS 第一水準および第二水準に対応しています。

電話帳を作成・変更する

相手先の電話番号（ファクス番号）と名称を登録します。

1 リモートセットアップ画面の左側から［電話帳］を選ぶ

電話帳の画面が表示されます。

2 登録する行にある［相手先名称］に相手先の名前を入力する

全角で入力してください。10文字まで登録できます。

3 ［ヨミガナ：］に相手先名称の読みがなを入力する

半角カタカナで入力してください。16 文字まで登録できます。

4 ［種別］のポップアップメニューから［ファクス / 電話］を選ぶ

5 ［FAX/TEL 番号］に電話、ファクス番号を入力する

電話、ファクス番号は、1 つの行に 2 つまで登録できます。

6 ［OK］をクリックする

設定内容が本製品に送信され、「リモートセットアップ」を終了します。

電話帳にグループダイヤルを登録する

電話帳に登録した複数の相手先を 1 つのグループとして登録しておくと、一度の操作でグループに登録された相手先にファクスを送ることができます。グループは 6 つまで登録できます。

グループダイヤルも 1 件として登録されます。空きがなければ登録できません。

1 リモートセットアップ画面の左側から［電話帳］を選ぶ

電話帳の画面が表示されます。

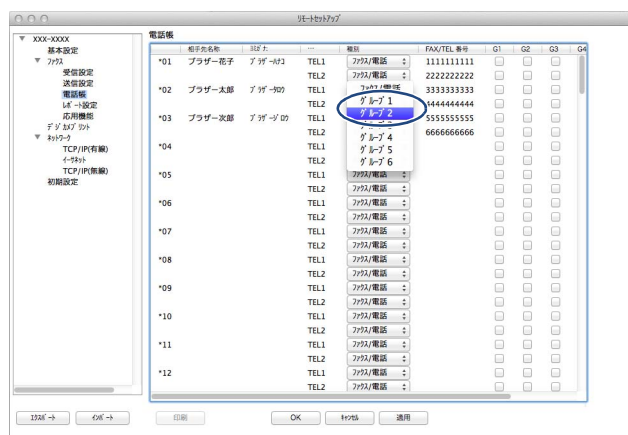
2 登録する行にある［相手先名称］にグループ名を入力する

全角で入力してください。10文字まで登録できます。

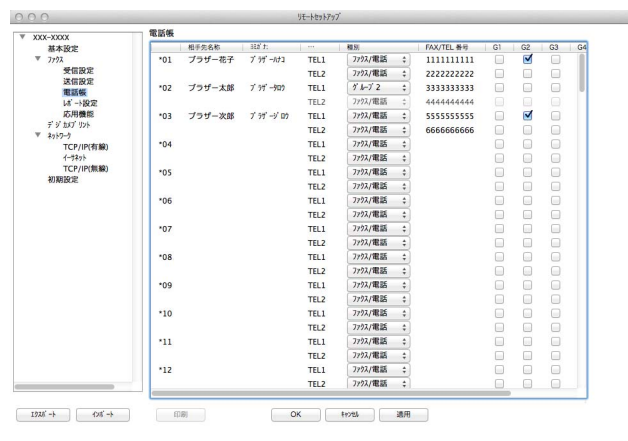
3 ［ヨミガナ：］にグループ名の読みがなを入力する

半角カタカナで入力してください。16 文字まで登録できます。

［種別］のポップアップメニューからグループを選ぶ

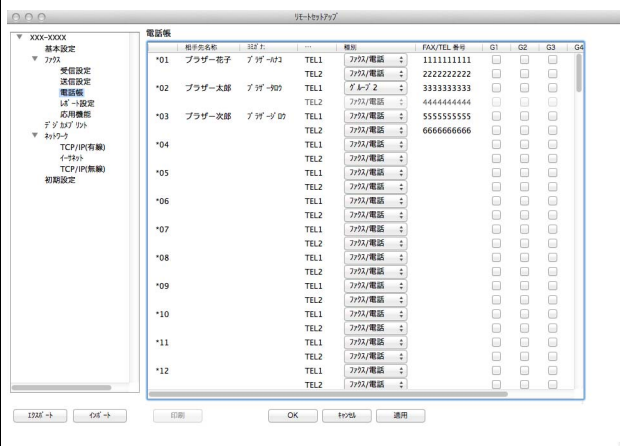
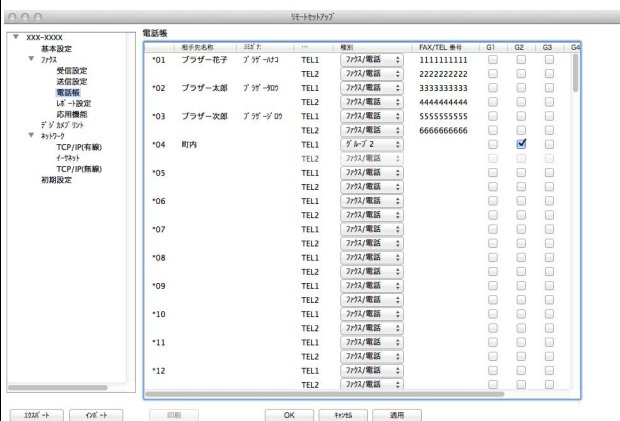
グループ番号は「1 ～ 6」から選びます。

例）ここでは［グループ 2］を選びます。

グループに登録する相手先のグループ番号のチェックボックスにチェックを入れる

例）グループ 2 に登録する場合は、［G2］にチェックを入れます。

6 ［OK］をクリックする

設定内容が本製品に送信され、「リモートセットアップ」を終了します。

［OK］をクリックしてもエラー画面が表示される場合、エラー内容をよくお読みになり、画面の指示に従ってください。次のような場合にもエラーが表示されます。

・相手先のグループ番号に 1 つもチェックが入っていない。

・グループの行にチェックが入っている。

・相手先の［FAX/TEL 番号］が入力されていない行のグループ番号にチェックが入っている。
・使用できない文字が入力されている。
・入力文字制限数を超えて入力されている。

第 12 章 便利な使い方（ControlCenter2）

ControlCenter2 とは

本製品を設置したときにインストールされるソフトウェアのひとつで、本製品が持つスキャナー、PC-FAX などの機能の入り口の役割を持っています。

ControlCenter2 の画面

ControlCenter2 では、本製品で利用できるさまざまな機能をボタンをクリックするだけで呼び出せます。

① モデル	ControlCenter2 を使用するモデルをポップアップメニューから選択できます。 また、［その他］を選択すると本製品と Macintosh を接続して使用する際に設定が必要なデバイスセレクター画面が表示されます。
② 設定	設定ボタンから、各機能の詳細設定画面を開くこともできます。
③ スキャン	使用目的に応じて、原稿をスキャンします。クリックするだけで、画像データとして保存したり、E メールにデータを添付したりできます。
④ カスタム	良く使用する設定やソフトウェアを登録できます。よく使う設定を 4 つまで登録して、クリックするだけで設定に応じたスキャンを実行できます。
⑤ デバイス設定	インク残量の確認や、本製品の電話帳の登録などができます。
コピー /PC-FAX	原稿をコピーします。コピーするときの設定を 4 つまで登録して、クリックするだけで設定に応じたコピーを実行できます。 スキャンしたデータを本製品からファクスとして送信します。 ※ DCP-J4210N をお使いの場合、PC-FAX 機能は使用できません。 ※ Mac OS X v10.7.x をお使いの場合、コピー、PC-FAX 機能いずれも使用できません。

ControlCenter2 を起動する

1 ［Macintosh HD］－［アプリケーション］－［Brother］から［ControlCenter］アイコンをダブルクリックする

メニューバーに が表示されます。

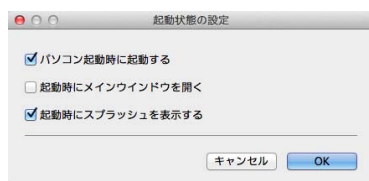
2 メニューバーの をクリックして、［開く］を選ぶ

ControlCenter2 のウィンドウが表示されます。

起動時の動作を設定する

Macintosh を起動したとき、ControlCenter2 も同時に起動させることができます。

(1) **メニューバーの をクリックして、［起動状態の設定］を選ぶ**

◆［起動状態の設定］の画面が表示されます。

(2) **起動時の動作を選ぶ**

- パソコン起動時に起動する
  Macintosh 起動時に ControlCenter2 が自動的に起動し、メニューバーで待機します。
- 起動時にメインウインドウを開く
  ControlCenter2起動時に自動的にウィンドウを開きます。
- 起動時にスプラッシュを表示する
  起動時にスプラッシュ画面を表示します。

(3) **［OK］をクリックする**

スキャン

各種スキャン機能がまとめられています。使用目的に応じたスキャン機能をお選びください。
各機能の詳細は、ControlCenter2 のヘルプを参照してください。

① **イメージ**

スキャンした画像ファイルをアプリケーションに送ります。

② **OCR**

文字の入った原稿をスキャンして、パソコンで編集できる文字データ（テキストデータ）に変換します。

③ **E メール添付**

スキャンした画像ファイルをメール送信できます。

④ **ファイル**

スキャンした画像ファイルを所定のフォルダー に保存します。

ファイル形式について

それぞれの機能で、保存する際のファイル形式を選択することができます。

［イメージ］/［E メール添付］/［ファイル］の場合

- Windows® ビットマップ（*.bmp）
- JPEG（*.jpg）
- TIFF（.tif）
- TIFF マルチページ（*.tif）
- Portable Network Graphics（*.png）
- PDF（*.pdf）
- 高圧縮 PDF（*.pdf）
- パスワード付き PDF（*.pdf）
- サーチャブル PDF（*.pdf）

［OCR］の場合

- サーチャブル PDF（*.pdf）
- テキストファイル（*.txt）
- リッチテキスト形式（*.rtf）
- HTML ドキュメント（*.htm）
- Excel 97（*.xls）

ファイル形式で［高圧縮 PDF（*.pdf）］を選択するには、解像度が［300 × 300dpi］、カラー設定が［256 階調グレー］または［1,677 万色カラー］である必要があります。

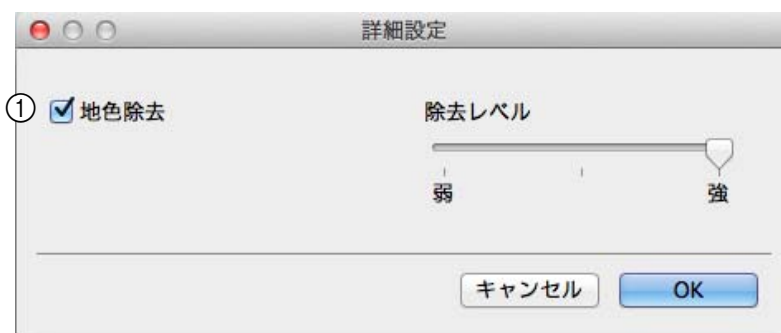
ファイル形式で［サーチャブル PDF（*.pdf）］を選択するには、Presto! PageManager のインストールが必要です。

OCR を利用するには Presto! PageManager のインストールが必要です。

原稿サイズについて

プルダウンメニューから原稿サイズを選択できます。［1 to 2（A4）］を選択した場合は、スキャンされたイメージは A5 サイズ 2 枚に分割されます。

詳細設定について

各種スキャン機能の設定画面で、［詳細設定］をクリックすると、次の項目を設定できます。

① 地色除去

両面に印刷された原稿の裏移りを防ぎます。また、新聞のように原稿の背景にある色を取り除きます。

> 詳細設定は、本製品からも変更できます。ただし、本製品で行った変更は一時的なものです。初期値に戻す場合は、［既定値に戻す］をクリックします。

スキャンの設定を変更する

スキャンを実行するときに使用するアプリケーションや、ファイル形式などの設定を変更します。

本製品のスキャンボタンからスキャンする場合の設定も、ここで変更できます。

1 [control]キーを押しながら［イメージ］［OCR］［E メール添付］［ファイル］のいずれかをクリックする

スキャンの設定画面が表示されます。

2 ［ControlCenter の設定］タブまたは［本製品上のスキャンボタン設定］タブをクリックして、設定を変更する

設定できる内容は、ボタンによって異なります。

⇒ 150 ページ「スキャンの設定」

> 本製品のスキャンボタンからスキャンするときの設定を変更する場合は、［本製品上のスキャンボタン設定］タブをクリックして、設定を変更します。

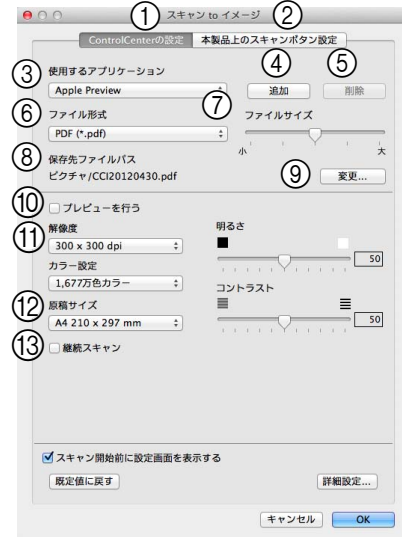
3 ［OK］をクリックする

設定が変更されます。

スキャンの設定

スキャンを実行するときに使用するアプリケーションや、ファイル形式などの設定を変更します。設定できる項目は、ボタンによって異なります。

● 主な設定項目

（代表で［イメージ］の画面を使用しています。）

① ［ControlCenter の設定］タブ

ControlCenter2 からスキャンする場合の設定の確認や変更ができます。

② ［本製品上のスキャンボタン設定］タブ

本製品の操作パネルにあるスキャンボタンからスキャンする場合の設定の確認や変更ができます。

③ 使用するアプリケーション（［イメージ］、［OCR］、［E メール添付］）

スキャンした原稿を開くアプリケーション、またはスキャンした原稿を添付する E メールアプリケーションを選択します。④の［追加］をクリックして、新しいアプリケーションを追加することもできます。

④ 追加（［ファイル］以外）

使用するアプリケーションまたは、E メールアプリケーションを追加できます。クリックすると次の画面が表示されます。

(A)　アプリケーションの名前

アプリケーションの名前を入力します。（30 文字まで入力できます。）

(B)　アプリケーション

［参照］をクリックして追加したいアプリケーションのパスを指定します。

(C) ファイル形式

ポップアップメニューからファイル形式を選択します。

⑤ 削除（[ファイル] 以外）

クリックすると、④の［追加］で追加したアプリケーションを削除できます。

⑥ ファイル形式

スキャンするデータのファイル形式を選択します。

- ［イメージ］/［E メール添付］/［ファイル］の場合
  - •Windows® ビットマップ（*.bmp）
  - •JPEG（*.jpg）
  - •TIFF（*.tif）
  - •TIFF マルチページ（*.tif）
  - •Portable Network Graphics（*.png）
  - •PDF（*.pdf）
  - •高圧縮 PDF（*.pdf）
  - •パスワード付き PDF（*.pdf）
  - •サーチャブル PDF（*.pdf）

TIFF、TIFF マルチページを選択した場合は、圧縮 / 非圧縮を設定してください。

TIFF マルチページ、PDF、パスワード付き PDF を選択すると、複数枚の原稿を 1 つのファイルとしてまとめて作成します。

パスワード付き PDF を選択すると、PDF ファイルを開くときのパスワードが設定できます。
次の画面が表示されます。

［PDF を開くパスワード］と［PDF を開くパスワード（確認）］に同じパスワードを入力して、［OK］をクリックします。スキャンしたデータに自動的にパスワードが設定され、保存されます。

ファイル形式で［高圧縮 PDF（*.pdf）］を選択するには、解像度が［300 × 300dpi］、カラー設定が［256 階調グレー］または［1,677 万色カラー］である必要があります。

ファイル形式で［サーチャブル PDF（*.pdf）］を選択するには、Presto! PageManager のインストールが必要です。

OCR を利用するには Presto! PageManager のインストールが必要です。

- ［OCR］の場合
  - •サーチャブル PDF（*.pdf）
  - •テキストファイル（*.txt）
  - •リッチテキスト形式（*.rtf）
  - •HTML ドキュメント（*.htm）
  - •Excel 97（*.xls）

ファイル形式で［サーチャブル PDF（*.pdf）］を選択するには、Presto! PageManager のインストールが必要です。

OCR を利用するには Presto! PageManager のインストールが必要です。

⑦ ファイルサイズ（[OCR] 以外）

⑥の［ファイル形式］で JPEG、PDF、パスワード付き PDF を選択すると、解像度は維持したまま、ファイルサイズを 5 段階で設定できます。

⑧ 保存先ファイルパス（[ファイル] 以外）

スキャンしたデータの保存先が表示されます。

⑨ 変更

スキャンしたデータを保存するフォルダーを設定します。

⑩ プレビューを行う

チェックすると、実際のスキャンを行う前に、スキャンイメージを確認したり、範囲を指定したりできます。

⑪ 解像度 / カラー設定 / 明るさ / コントラスト

必要に応じて設定します。

⑫ 原稿サイズ

プルダウンリストから原稿サイズを選択できます。［1 to 2 (A4)］を選択した場合は、A4 サイズが 2 枚の A5 サイズに分割してスキャンされます。

⑬ 継続スキャン

チェックすると、原稿台ガラスを使って複数枚の原稿をスキャンできます。

● ［OCR］のみで設定可能な項目

① OCR アプリケーション

文字データ（テキストデータ）に変換するためのアプリケーション（OCR ソフトウェア）を選択します。

② OCR 言語

変換する言語を選択します。

● ［ファイル］のみで設定可能な項目

① ファイル名

ファイル名の先頭の文字を変更できます。

② ファイル名に日付を入れる

チェックすると、スキャンしたファイル名に日付が入ります。

③ 保存先フォルダー

スキャンしたデータを保存するフォルダーを設定します。

④ スキャン毎に名前をつける

チェックすると、スキャンするたびに保存先のフォルダーとデータの名前などを設定することができます。

⑤ 保存先フォルダーを開く

チェックすると、スキャンしたあとに保存先のフォルダーを開きます。

原稿をスキャンしてアプリケーションに送る

原稿をスキャンして画像ファイルを直接アプリケーションから開いて編集できます。

1 原稿をセットする

2 ［イメージ］をクリックする

3 必要に応じて、スキャンの設定を変更する

スキャンイメージを確認したい場合は、［プレビューを行う］をチェックします。

⇒ 150 ページ「スキャンの設定を変更する」

4 ［スキャン開始］をクリックする

スキャンの設定で選択したアプリケーションが起動し、画像ファイルが表示されます。

原稿の文字をテキストデータとしてスキャンする

文字の入った原稿をスキャンして、パソコンで編集できる文字データ（テキストデータ）に変換します。

1 原稿をセットする

2 ［OCR］をクリックする

3 必要に応じて、スキャンの設定を変更する

スキャンイメージを確認したい場合は、［プレビューを行う］をチェックします。

⇒ 150 ページ「スキャンの設定を変更する」

4 ［スキャン開始］をクリックする

原稿がスキャンされます。

ControlCenter の設定に従って文字データへの変換が実行され、テキストデータが表示されます。

原稿をスキャンして E メールで送る

原稿をスキャンして画像ファイルを添付ファイルとして、メールソフトの送信画面を起動します。

1 原稿をセットする

2 ［E メール添付］をクリックする

3 必要に応じて、スキャンの設定を変更する

スキャンイメージを確認したい場合は、［プレビューを行う］をチェックします。

⇒ 150 ページ「スキャンの設定を変更する」

4 ［スキャン開始］をクリックする

選択された画像ファイルを添付ファイルとして、パソコンのメールソフトの送信画面が表示されます。

- メールソフトが起動します。
- Web メールには対応していません。
  スキャンした画像を Web メールに添付して送る場合は、スキャンした画像データを一度パソコンに保存してから、別途 Web メールを起動し、そのデータを添付してください。

原稿をスキャンして画像を保存する

原稿をスキャンして画像ファイルをパソコンの指定したフォルダーに保存します。

1 原稿をセットする

2 ［ファイル］をクリックする

3 必要に応じて、スキャンの設定を変更する

スキャンイメージを確認したい場合は、［プレビューを行う］をチェックします。

⇒ 150 ページ「スキャンの設定を変更する」

4 ［スキャン開始］をクリックする

設定した保存先に、画像ファイルが保存されます。

カスタム

よく使用する設定やソフトウェアを登録して、クリックするだけでスキャンできます。よく使う設定を 4 つまで登録できます。

スキャンの設定を登録する

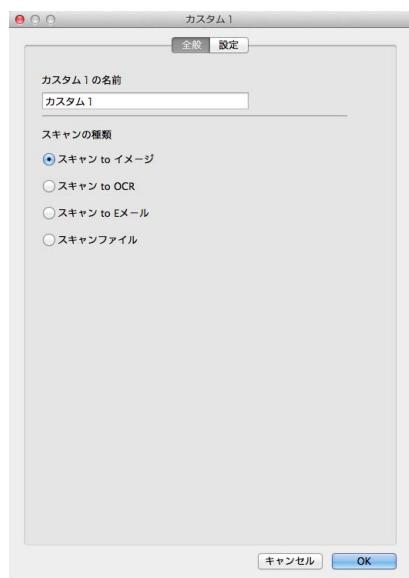
1 ControlCenter2 の［カスタム］をクリックする

2 ［カスタム 1］～［カスタム 4］のうち、スキャンの設定を登録するボタンを選び、右クリックする

カスタムスキャンの設定画面が表示されます。

3 スキャンの名前と種類を設定する

［カスタムの名前］に、登録するスキャン設定の名前を入力します。

スキャンの種類は、［スキャン to イメージ］［スキャン to OCR］［スキャン to E メール］［スキャンファイル］から選びます。

OCR を利用するには、Presto! PageManager のインストールが必要です。
Presto! PageManager は、付属の CD-ROM の「サービスとサポート」からダウンロードしてください。ダウンロードの方法については、別冊の「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

4 ［設定］タブで他の項目を必要に応じて設定する

スキャンの種類によって、表示される項目が異なります。

⇒ 150 ページ「スキャンの設定」

5 ［OK］をクリックする

設定した内容で登録されます。

カスタムスキャンを実行する

1 原稿をセットする

2 ControlCenter2 の［カスタム］をクリックする

3 実行するスキャンのボタンをクリックする

設定に従ってスキャンが実行されます。

コピー /PC-FAX

原稿のコピーや Macintosh からファクスを送信します。コピーとファクス送信時の設定を 4 つまで登録できます。

> DCP-J4210N をお使いの場合、PC-FAX 機能は使用できません。また、Mac OS X v10.7.x をお使いの場合は、コピー、PC-FAX 機能いずれも使用できません。

コピーや PC-FAX の設定を登録する

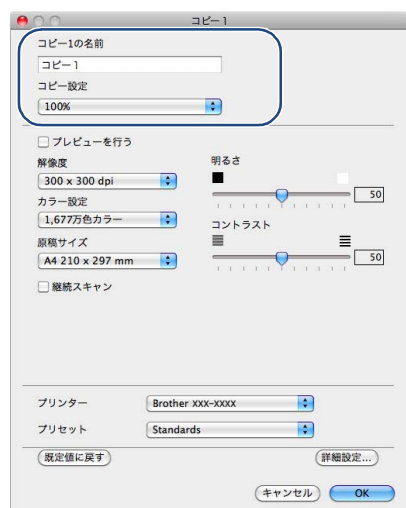
1 ControlCenter2 の［コピー /PC-FAX］をクリックする

2 ［control］キーを押しながらボタンをクリックする

コピー設定画面が表示されます。

3 コピーの名前とサイズを設定する

［コピーの名前］に、登録するコピー設定の名前を入力します。

［コピー設定］で、［100%］または［用紙サイズにあわせる］を選びます。

4 他の項目を必要に応じて設定する

解像度、カラー設定、原稿サイズ、明るさ、コントラストが設定できます。

5 ［プリンター］で本製品を選択する

6 ［OK］をクリックする

設定した内容で登録されます。

コピーを実行する

1 原稿をセットする

2 ControlCenter2 の［コピー / PC-FAX］をクリックする

3 実行するコピーのボタンをクリックする

ページ設定画面が表示されます。

4 ［プリンタ］で本製品のモデル名を選び、［プリント］をクリックする

コピーが実行されます。

ファクスする

スキャンしたデータをファクスとして送信します。

> DCP-J4210N、または Mac OS X v10.7.x をお使いの場合、この機能は使用できません。

1 原稿をセットする

2 ControlCenter2 の［コピー /PC-FAX］をクリックする

3 実行するコピーのボタンをクリックする

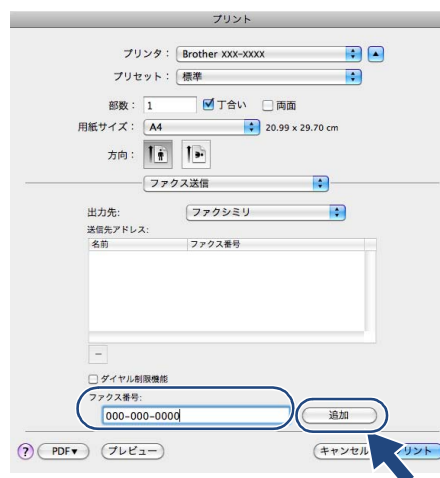
ページ設定画面が表示されます。

4 ファクス送信画面を表示する

［プリンタ］で本製品のモデル名を選び、▼ボタンをクリックする

ポップアップメニューから［ファクス送信］を選ぶ

5［出力先］で［ファクシミリ］を選ぶ

6［ファクス番号］にファクス番号を入力し、［追加］をクリックする

> 複数の相手にファクスを送信するときは、続けて［ファクス番号］にファクス番号を入力し、［追加］をクリックします。

7［プリント］をクリックする

ファクスが送信されます。

> 送るのをやめるときは、［キャンセル］をクリックします。

デバイス設定

インク残量を確認したり、リモートセットアップを使って本製品の設定を確認したりできます。

本製品の設定を確認・変更する

1 ControlCenter2 の［デバイス設定］から、［リモートセットアップ］［電話帳 / アドレス帳］［インク残量］のいずれかをクリックする

- （MFC-J4510N のみ）
  ［リモートセットアップ］をクリックした場合
  リモートセットアップ画面が表示されます。Macintosh 上で、本製品に関する機能を設定できます。
  ⇒ 140 ページ「本製品の設定を Macintosh から変更する」
- （MFC-J4510N のみ）
  ［電話帳 / アドレス帳］をクリックした場合
  リモートセットアップの電話帳登録画面が表示されます。Macintosh 上で、本製品の電話帳を編集できます。
  ⇒ 142 ページ「本製品の電話帳を作成・変更する」
- ［インク残量］をクリックした場合
  ステータスモニターが表示されます。

ステータスモニターから印刷状況を確認する方法については、下記をご覧ください。
⇒ 112 ページ「印刷状況を確認する（ステータスモニター）」

スキャンキー操作（共通編）

本製品でスキャンする（パソコンに送る場合）

【スキャン】を押してスキャンしたデータを、接続したパソコンに送ってさまざまな形で利用します。本製品をスキャナーとして使用するには、ドライバーのインストールなどが必要です。必ず、下記をご確認いただき、設定を行ってください。
Windows® の場合⇒ 31 ページ「スキャナーとして使う前に」
Macintosh の場合⇒ 123 ページ「スキャナーとして使う前に」

また、スキャンしたデータを Macintosh に送る場合は、受信する Macintosh で「パソコンを本製品のスキャンキーへ登録」が必要です。（ネットワーク上の他の製品を設定する場合にも、同様の手順で設定を行ってください。）

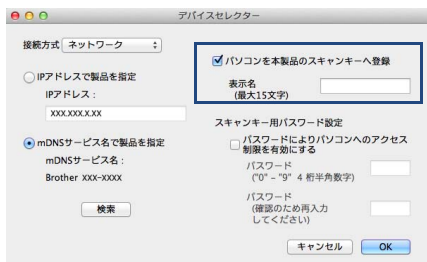
Macintosh を本製品のスキャンキーへ登録する

あらかじめ本製品の TCP/IP の設定が必要です。（すでにネットワークプリンターとして機能している場合は、TCP/IP が正しく設定されているので設定する必要はありません。）設定方法について詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「TCP/IP の設定」

1 ControlCenter2 を起動し、［モデル］ー［その他］を選ぶ

デバイスセレクター画面が開きます。

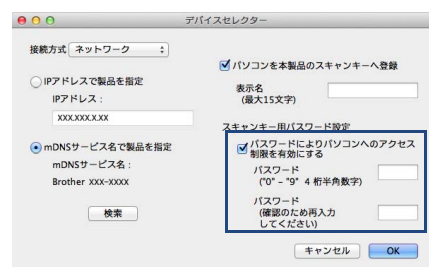
2 ［接続方式］で［ネットワーク］を選ぶ

3 ［パソコンを本製品のスキャンキーへ登録］をチェックして、［表示名］に Macintosh の名前を入力する

4 必要に応じて、項目を設定する

- 本製品が設定されていない場合または異なる製品を設定したい場合、［検索］をクリックして該当する製品名 (mDNS サービス名) を選択します。
- 製品の IP アドレスを手動で入力して設定することもできます。

5 ［OK］をクリックする

スキャンキーからスキャンした画像データの保存に制限をつけたいときは

スキャンした画像データを Macintosh に保存するとき、パスワードを入力しないと保存できないように設定できます。［パスワードによりパソコンへのアクセス制限を有効にする］をチェックして、4 桁の数字をパスワードとして登録します。

スキャンした画像を指定したフォルダーに保存する

[ファイル]

原稿をスキャンしてパソコンの指定したフォルダーに保存します。

スキャンキーからスキャンするときの設定変更は、下記で行います。

- ControlCenter4 (Windows®) の場合：デバイス設定の［スキャンキー設定］
  ⇒ 85 ページ「デバイス設定」
- ControlCenter2 (Macintosh) の場合：スキャンの設定画面の［本製品上のスキャンボタン設定］タブ
  ⇒ 150 ページ「スキャンの設定を変更する」

（Windows® のみ）原稿台ガラスに置かれた複数の原稿を一度にスキャンして保存することもできます。［スキャンキー設定］で［おまかせ一括スキャン］を設定してください。

ADF（自動原稿送り装置）が搭載されているモデルは、MFC-J4510N です。

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 【スキャン】を押す

3 【ファイル】を選び、【OK】を押す

キーが表示されていないときは、左右にフリックして、画面をスクロールさせます。

- パソコンに USB のみで接続している場合⇒手順 6 へ

4 保存先のパソコンを選ぶ

キーが表示されていないときは、上下にフリックするか、▲/▼ を押して、画面をスクロールさせます。

パソコンにパスワードが設定されている場合は、保存先のパソコンを選んだあとに、パスワードを入力します。
画面に表示されるテンキーを使って数字を直接入力し、【OK】を押してください。
※ 修正するには【X】を押してください。

5 設定を変更する場合は【設定変更】を押し、【本体から設定する】を【オン】にし、設定を変更する

設定が終わったら、【OK】を押します。

本製品で行った設定は一時的なものです。初期値から設定を変更する場合は、ControlCenter で設定を変更する必要があります。

各種設定は、「お気に入り」として登録できます。登録方法については、ユーザーズガイド 基本編「お気に入りを登録する」をご覧ください。

6 【スタート】を押す

あらかじめ設定された色数によって、カラーかモノクロかが決定します。

スキャンされた原稿が保存されます。

ControlCenter で設定されている保存先に、指定したファイル形式で保存されます。

スキャンした画像を E メールで送る

[E メール添付]

スキャンした画像を添付ファイルとして、パソコンのメールソフトの送信画面を起動します。

スキャンキーからスキャンするときの設定変更は、下記で行います。

- ControlCenter4 (Windows®) の場合：デバイス設定の［スキャンキー設定］
⇒ 85 ページ「デバイス設定」
- ControlCenter2 (Macintosh) の場合：スキャンの設定画面の［本製品上のスキャンボタン設定］タブ
⇒ 150 ページ「スキャンの設定を変更する」

（Windows® のみ）原稿台ガラスに置かれた複数の原稿を一度にスキャンして保存することもできます。［スキャンキー設定］で［おまかせ一括スキャン］を設定してください。

スキャンした画像を E メールで送る機能は、Web メールには対応していません。
スキャンした画像を Web メールに添付して送る場合は、スキャンした画像データを一度パソコンに保存してから、別途 Web メールを起動し、そのデータを添付してください。

ADF（自動原稿送り装置）が搭載されているモデルは、MFC-J4510N です。

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 【スキャン】を押す

3 【E メール添付】を選び、【OK】を押す

キーが表示されていないときは、左右にフリックして、画面をスクロールさせます。

- パソコンに USB のみで接続している場合⇒手順 6 へ

4 保存先のパソコンを選ぶ

キーが表示されていないときは、上下にフリックするか、▲/▼ を押して、画面をスクロールさせます。

パソコンにパスワードが設定されている場合は、保存先のパソコンを選んだあとに、パスワードを入力します。
画面に表示されるテンキーを使って数字を直接入力し、【OK】を押してください。
※ 修正するには【X】を押してください。

5 設定を変更する場合は【設定変更】を押し、【本体から設定する】を【オン】にし、設定を変更する

設定が終わったら、【OK】を押します。

本製品で行った設定は一時的なものです。初期値から設定を変更する場合は、ControlCenter で設定を変更する必要があります。

各種設定は、「お気に入り」として登録できます。登録方法については、ユーザーズガイド 基本編「お気に入りを登録する」をご覧ください。

6 【スタート】を押す

あらかじめ設定された色数によって、カラーかモノクロかが決定します。

スキャンされた原稿を添付ファイルとして、パソコンのメールソフトの送信画面が表示されます。

ControlCenter で使用しているメールソフトが起動します。

原稿の文字をテキストデータとしてスキャンする

[OCR]

文字の入った原稿をスキャンして、パソコンで編集できる文字データ（テキストデータ）に変換します。

OCR を利用するには、Presto! PageManager のインストールが必要です。
（Macintosh をお使いの場合）Presto! PageManager は、付属の CD-ROM の「サービスとサポート」からダウンロードしてください。ダウンロードの方法については、別冊の「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

スキャンキーからスキャンするときの設定変更は、下記で行います。

- ControlCenter4 (Windows®) の場合：デバイス設定の［スキャンキー設定］
  ⇒ 85 ページ「デバイス設定」
- ControlCenter2 (Macintosh) の場合：スキャンの設定画面の［本製品上のスキャンボタン設定］タブ
  ⇒ 150 ページ「スキャンの設定を変更する」

ADF（自動原稿送り装置）が搭載されているモデルは、MFC-J4510N です。

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 【スキャン】を押す

3 【OCR】を選び、【OK】を押す

キーが表示されていないときは、左右にフリックして、画面をスクロールさせます。

- パソコンに USB のみで接続している場合⇒手順 6 へ

4 保存先のパソコンを選ぶ

キーが表示されていないときは、上下にフリックするか、▲/▼を押して、画面をスクロールさせます。

パソコンにパスワードが設定されている場合は、保存先のパソコンを選んだあとに、パスワードを入力します。
画面に表示されるテンキーを使って数字を直接入力し、【OK】を押してください。
※修正するには【X】を押してください。

5 設定を変更する場合は【設定変更】を押し、【本体から設定する】を【オン】にし、設定を変更する

設定が終わったら、【OK】を押します。

本製品で行った設定は一時的なものです。初期値から設定を変更する場合は、ControlCenter で設定を変更する必要があります。

各種設定は、「お気に入り」として登録できます。登録方法については、ユーザーズガイド 基本編「お気に入りを登録する」をご覧ください。

6 【スタート】を押す

文字データのため、モノクロでスキャンされます。

スキャンされた原稿が文字データへ変換され、テキストデータが表示されます。

ControlCenter で設定されているアプリケーションが起動します。

スキャンした原稿をアプリケーションに送る

[イメージ]

原稿をスキャンして、画像データとしてパソコンに保存します。

スキャンキーからスキャンするときの設定変更は、下記で行います。
- ControlCenter4 (Windows®) の場合：デバイス設定の［スキャンキー設定］
⇒ 85 ページ「デバイス設定」
- ControlCenter2 (Macintosh) の場合：スキャンの設定画面の［本製品上のスキャンボタン設定］タブ
⇒ 150 ページ「スキャンの設定を変更する」

（Windows® のみ）原稿台ガラスに置かれた複数の原稿を一度にスキャンして保存することもできます。［スキャンキー設定］で［おまかせ一括スキャン］を設定してください。

ADF（自動原稿送り装置）が搭載されているモデルは、MFC-J4510N です。

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 【スキャン】を押す

3 【イメージ】を選び、【OK】を押す

キーが表示されていないときは、左右にフリックして、画面をスクロールさせます。
- パソコンに USB のみで接続している場合⇒手順 6 へ

4 保存先のパソコンを選ぶ

キーが表示されていないときは、上下にフリックするか、▲/▼ を押して、画面をスクロールさせます。

パソコンにパスワードが設定されている場合は、保存先のパソコンを選んだあとに、パスワードを入力します。
画面に表示されるテンキーを使って数字を直接入力し、【OK】を押してください。
※修正するには【X】を押してください。

5 設定を変更する場合は【設定変更】を押し、【本体から設定する】を【オン】にし、設定を変更する

設定が終わったら、【OK】を押します。

本製品で行った設定は一時的なものです。初期値から設定を変更する場合は、ControlCenter で設定を変更する必要があります。

各種設定は、「お気に入り」として登録できます。登録方法については、ユーザーズガイド 基本編「お気に入りを登録する」をご覧ください。

6 【スタート】を押す

あらかじめ設定された色数によって、カラーかモノクロかが決定します。

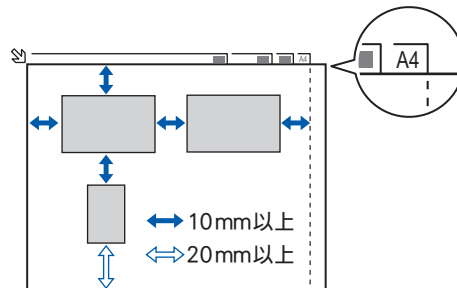
スキャンされた原稿が画像データとして表示されます。

ControlCenter で設定されているアプリケーションが起動します。

本製品でスキャンする（メディアに送る場合）

【スキャン】を押してスキャンしたデータをメモリーカードや USB フラッシュメモリーに保存できます。

お願い

■ 複数の原稿を一度にスキャンする場合（おまかせ一括スキャン）は、原稿セット時に次のような制限があります。
- ・ADF（自動原稿送り装置）からおまかせ一括スキャンはできません。必ず原稿台ガラスに原稿をセットしてください。
- ・すべての角が直角（90°）の四角形の原稿のみスキャンできます。
- ・下記の範囲を空けてセットしてください。
  左、奥：原稿台ガラスの端から 10mm 以上
  手前：原稿台ガラスの端から 20mm 以上
  右：A4 サイズの線から 10mm 以上
- ・原稿の間隔を 10mm 以上空けてください。
- ・原稿が 10°以上傾いていると、スキャンできないことがあります。
- ・短辺に対して長辺が長すぎると、スキャンできないことがあります。
- ・一度にスキャンできる原稿の枚数はサイズによって異なりますが、最大 16 枚（名刺は 8 枚）です。

スキャンしたデータをメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存する

[スキャン：メディア]

本製品でスキャンした画像を、パソコンを使用せずにメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存できます。TIFF ファイル形式（.TIF）または PDF ファイル形式（.PDF）を選ぶと、複数枚の原稿を 1 つのファイルにまとめて保存できます。

ADF（自動原稿送り装置）が搭載されているモデルは、MFC-J4510N です。

1 メディアスロットカバーを開く

2 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

3 【使用する機能を選択してください】と表示されたら、【スキャン：メディア】を押す

4 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

5 【設定変更】を押す

6 【カラー設定】を押し、【カラー】か【モノクロ】かを選ぶ

7 【解像度】を押し、解像度を選ぶ

8 【地色除去】を押し、【オフ】【弱】【中】【強】のいずれかを選ぶ

9 【ファイル形式】を押し、保存するファイル形式を選ぶ

- 手順 6 で、カラーを選んだ場合
  【PDF】/【JPEG】から選びます。
- 手順 6 で、モノクロを選んだ場合
  【PDF】/【TIFF】から選びます。
- スキャンデータのファイル名を変更する場合
  ⇒手順 10 へ
- スキャンデータのファイル名を変更しない場合
  ⇒手順 12 へ

10 【ファイル名】を押し、画面に表示されているキーボードで保存するファイルの名前を入力し、【OK】を押す

ファイル名は 6 文字以内で入力します。

※ あらかじめ、スキャンする日付が入力されています。また、ファイル名の末尾には、自動的に通し番号が追加されます。
例）2013 年 5 月 3 日にスキャンすると、ファイル名は「130503XX」になります。（「XX」は通し番号です）

※ ファイル名に漢字・ひらがな・カタカナを使うことはできません。ファイル名はアルファベット、数字、記号で付けてください。

※ 間違って入力した場合は、【X】を押して消去します。

11 設定が終わったら、【OK】を押す

各種設定は、「お気に入り」として登録できます。登録方法については、ユーザーズガイド 基本編「お気に入りを登録する」をご覧ください。

12 【スタート】を押す

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは、スキャンが開始されます。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、【メディアを抜かないで下さい　次の原稿はありますか？／はい ／いいえ 】と表示されます。

読み取る原稿が 1 枚の場合 ⇒手順 15 へ

読み取る原稿が複数枚の場合 ⇒手順 13 へ

13 【はい】を押す

【次の原稿をセットして OK を押してください】と表示されます。

【次の原稿をセットして OK を押してください】

と表示されたあと、 を押すと、

・PDF、TIFF 形式の場合は、それまでに取ったスキャンデータはすべて消去されます。
・JPEG 形式の場合は、最後に読み取ったスキャンデータのみ消去されます。
操作しないでしばらく放置した場合は、PDF、TIFF、JPG 形式のいずれも、それまでに読み取っていたスキャンデータは保存されます。

14 原稿台ガラスに次の原稿をセットして、【OK】を押す

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存する原稿の枚数だけ、手順 13、14 を繰り返します。

15 すべての原稿をスキャンしたら、【いいえ】を押す

スキャンを終了します。

重 要

■ 本製品がメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを読み込んでいるときは、メモリーカードまたは USBフラッシュメモリーの抜き差しをしないでください。データやメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを壊す恐れがあります。

複数の原稿を一度にスキャンする（おまかせ一括スキャン）

複数の原稿を一度にスキャンして、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存します。

(1)　**メディアスロットカバーを開く**

(2)　**メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする**

(3)　**【使用する機能を選択してください】と表示されたら、【スキャン：メディア】を押す**

(4)　**原稿をセットする**

(5)　**【設定変更】を押す**

(6)　**【解像度】を押し、解像度を選ぶ**

(7)　**【ファイル形式】を押し、保存するファイル形式を選ぶ**

- 【PDF】/【TIFF】：
  複数のページで構成される 1 つのファイルとして保存します。
- 【JPEG】：
  個別のファイルとして保存します。

(8)　**設定が終わったら、【OK】を押す**

※ 本製品で行った設定は一時的なものです。初期値から設定を変更する場合は、ControlCenter で設定を変更する必要があります。

※ 各種設定は、「お気に入り」として登録できます。登録方法については、ユーザーズガイド 基本編「お気に入りを登録する」をご覧ください。

(9)　**【おまかせ一括スキャン】を押す**

(10) **【オン】を押す**

(11) **【スタート】を押す**

◆ スキャンできた原稿の枚数が画面に表示されます。

(12) **【OK】を押す**

◆ スキャン結果が画面に表示されます。

※ 左右にフリックするか、◀/▶ を押すと次の画像を確認できます。

(13) **【全て保存】を押す**

◆ メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにデータが保存されます。

※「おまかせ一括スキャン」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

設定を保持する

(1)　**【設定変更】を押す**

(2)　**初期値にしたい設定に変更する**

(3)　**【設定を保持する】を押し、保持する設定を選ぶ**

(4)　**【はい】を押す**

◆ 変更した設定が初期値として登録されます。

※ 手順（2）のあとに【設定をリセットする】を選ぶと、いったん保持した設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

本製品でスキャンする（サーバーに送る場合）

スキャンした原稿を FTP/ ネットワーク（Windows® のみ）上のサーバーに送るために必要な設定

ウェブブラウザーの管理画面から送信先のサーバーについて設定する必要があります。

- FTP という通信プロトコルを使用して、インターネット上の FTP サーバーへファイルを送信することができます。
FTP では一般的に、サーバーとクライアント（パソコン）に専用のソフトをインストールしますが、本製品は FTP クライアント機能を搭載しており、スキャンしたデータを FTP サーバーに送信することができます。
- CIFS という Windows® などで一般的なファイル共有サービスの技術を使い、ネットワーク上の CIFS サーバーへファイルを送信することができます。
- ネットワーク上のサーバーへファイルを送信するには、認証用に SNTP プロトコル（ネットワークタイムサーバー）、または正しく日付と時刻、タイムゾーンを設定しておく必要があります。設定について詳しくは、ユーザーズガイド　ネットワーク編をご覧ください。

プロファイルを作成する

1 ウェブブラウザーのアドレス欄に、「http://xxx.xxx.xxx.xxx」と入力する（xxx は本製品の IP アドレスになります。）

本製品の IP アドレスを調べる方法は、ユーザーズガイド ネットワーク編「ネットワーク設定リストの出力」をご覧ください。

本製品の管理画面が表示されます。

2 ［スキャン］タブをクリックし、FTP/ ネットワークファイル スキャンをクリックする

ネットワークファイルスキャン設定画面が表示されます。

3 プロファイルを設定する

5 つのプロファイルを設定できます。各プロファイルに、サーバーの種類、スキャンしたデータを保存するときのファイル名を設定します。

設定項目について詳しくは、次をご覧ください。

⇒ 167 ページ「FTP/ ネットワークファイルスキャン設定画面について」

4 ［OK］ボタンをクリックする

Windows® では Microsoft® Internet Explorer® 8.0/ 9.0、Macintosh では Safari 5.0 のウェブブラウザーのご使用を推奨します。また、JavaScript と Cookies が有効であることを確認してください。

● FTP/ ネットワークファイルスキャン設定画面について

Ⓐ　**プロファイル 1 ～プロファイル 5**

スキャン to FTP またはスキャン to ネットワークのどちらのプロファイルとして使用するのかを選択します。

Ⓑ　**オリジナルファイル名登録**

スキャンしたデータを保存するときのファイル名を設定します。

すでにある 7 つのファイル名に加えて、2 つのファイル名を作成できます。（最大 15 文字まで）

お願い

■ ファイル名として適していない文字（¥ / : * ? " > < |）は入力しないでください。
スキャン to ネットワーク使用時に送信エラーの原因になります。

各プロファイルに送信先のサーバーを登録する

1 ［FTP/ ネットワークファイル スキャンプロファイル］をクリックする

FTP/ ネットワークファイル スキャンプロファイル画面が表示されます。

2 プロファイルを選択する

FTP/ネットワークファイル スキャンプロファイル

プロファイル 1	FTP
プロファイル 2	FTP
プロファイル 3	FTP
プロファイル 4	ネットワーク
プロファイル 5	ネットワーク

3 送信先のサーバーを登録する

設定項目について詳しくは、次をご覧ください。
FTP サーバーの場合
⇒ 168 ページ「プロファイル設定（FTP サーバーにデータを送信する場合）」
CIFS サーバーの場合
⇒ 169 ページ「プロファイル設定（ネットワーク上のサーバーにファイルを送信する場合）（Windows® のみ）」

4 ［OK］ボタンをクリックする

● プロファイル設定 (FTP サーバーにデータを送信する場合)

Ⓐ　**プロファイル名**

プロファイルの名前を入力します。（最大 15 文字まで）

本製品の操作パネルに表示される名前となります。

Ⓑ　**サーバー アドレス**

サーバーのドメイン名（例：ftp.example.com）、または、IP アドレスを入力します（例：192.23.56.189）。

ドメイン名で入力する場合は、最大 64 文字まで入力できます。

Ⓒ　**ユーザー名**

サーバーにアクセスするためのユーザ名を入力します。（最大 32 文字まで）

Ⓓ　**パスワード**

サーバーへアクセスするためのパスワードを入力します。（最大 32 文字まで）

Ⓔ　**転送先フォルダー**

サーバー上の保存先フォルダーを入力します。
（例：/brother/abc/）（最大 60 文字まで）

Ⓕ　**ファイル名**

スキャンしたデータを保存するときのファイル名を選択します。

選択したファイル名＋原稿台・ADF（自動原稿送り装置）のカウンタ（6 桁）＋拡張子がファイル名となります。
（例：Mitsumori_098765.pdf）

お願い

■ ファイル名として適していない文字（￥ / : * ? " > < |）は入力しないでください。
スキャン to ネットワーク使用時に送信エラーの原因になります。

Ⓖ **画質**

画質を選択します。

- 本体で設定／カラー 100 dpi ／カラー 200 dpi ／カラー 300 dpi ／カラー 600 dpi ／カラー自動／モノクロ 100 dpi ／モノクロ 200 dpi ／モノクロ 300 dpi ／モノクロ 600 dpi ／モノクロ自動

Ⓗ **ファイル形式**

スキャンしたデータを保存するときのファイル形式を選択します。

- カラー文書
  PDF ／ JPEG ／本体で設定
- モノクロ文書
  PDF ／ TIFF ／本体で設定
- 本体で設定
  PDF ／ JPEG ／ TIFF ／本体で設定

Ⓘ **地色補正**

両面に印刷された原稿の裏移りを補正するかどうか、オン、オフで設定します。

Ⓙ **パッシブモード**

FTPサーバーとファイヤーウォールの設定によっては、オン、オフを設定できます。初期値はオンです。

> ほとんどの場合、変更の必要はありません。

Ⓚ **ポート番号**

FTP サーバーのアクセスの為のポート番号を設定します。初期値はポート番号 21 です。

> ほとんどの場合、変更の必要はありません。

● プロファイル設定（ネットワーク上のサーバーにファイルを送信する場合）（Windows® のみ）

Ⓐ **プロファイル名**

プロファイルの名前を入力します。（最大 15 文字まで）

> 本製品の操作パネルに表示される名前となります。

Ⓑ **サーバー アドレス**

サーバーのドメイン名（例：ftp.example.com）、または、IP アドレスを入力します（例：192.23.56.189）。

> ドメイン名で入力する場合は、最大 64 文字まで入力できます。

Ⓒ **転送先フォルダー**

サーバー上の保存先フォルダーを入力します。

共有フォルダのパスから、ホスト名を取った情報を指定してください。（最大 60 文字まで）

（例：//Brother/common/abc を転送先にする場合、common/abc）

Ⓓ **ファイル名**

スキャンしたデータを保存するときのファイル名を選択します。

> 選択したファイル名＋原稿台・ADF（自動原稿送り装置）のカウンタ（6 桁）＋拡張子がファイル名となります。
> （例：Mitsumori_098765.pdf）

お願い

- ■ **ファイル名として適していない文字（¥ / : * ? " > < |）は入力しないでください。**
  スキャン to ネットワーク使用時に送信エラーの原因になります。

Ⓔ **画質**

画質を選択します。

- 本体で設定／カラー 100 dpi ／カラー 200 dpi ／カラー 300 dpi ／カラー 600 dpi ／カラー自動／モノクロ 100 dpi ／モノクロ 200 dpi ／モノクロ 300 dpi ／モノクロ 600 dpi ／モノクロ自動

Ⓕ **ファイル形式**

スキャンしたデータを保存するときのファイル形式を選択します。

- カラー文書
  PDF ／ JPEG ／本体で設定
- モノクロ文書
  PDF ／ TIFF ／本体で設定
- 本体で設定
  PDF ／ JPEG ／ TIFF ／本体で設定

Ⓖ **地色補正**

両面に印刷された原稿の裏移りを補正するかどうか、オン、オフで設定します。

Ⓗ **接続時にパスワード認証を行う**

プロファイルにパスワードを設定したい場合はオンにします。

Ⓘ **接続パスワード**

4 桁のパスワードを入力します。

Ⓙ **ユーザー名**

サーバーにアクセスするためのユーザ名を入力します。（最大 96 文字まで）

Ⓚ **パスワード**

サーバーへアクセスするためのパスワードを入力します。（最大 32 文字まで）

スキャンした原稿をサーバーへ送る

[FTP サーバー / ネットワーク]

スキャンしたデータをネットワーク経由でサーバー上に保存できます。

スキャンした原稿をサーバーに送るためには、送信先のサーバーを登録しておく必要があります。
⇒ 167 ページ「スキャンした原稿を FTP/ ネットワーク（Windows® のみ）上のサーバーに送るために必要な設定」

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 【スキャン】を押す

3 【FTP サーバー】または【ネットワーク】を選び、【OK】を押す

キーが表示されていないときは、左右にフリックして、画面をスクロールさせます。

4 送信先のサーバーを選ぶ

プロファイル設定時に、［本体で設定］を選択した項目がある場合は、各項目を設定する画面が表示されます。上下にフリックするか、▲/▼を押して設定を選びます。

- EWS で設定した内容のプロファイルをそのまま送る場合
  ⇒手順 5 へ
- EWS で設定した内容から都度本製品側で必要項目を設定し、プロファイルを送る場合
  ⇒画面に従って必要項目を設定したあと、手順 5 に進む。
- EWS で設定したプロファイルの内容を変更して送る場合
  ⇒【設定変更】を押して各種設定を変更し、【OK】を押す。その後、手順 5 に進む。

5 【スタート】を押す

サーバーへの接続が始まります。
接続が完了すると、原稿のスキャンが開始されます。

Web Services を使ってスキャンする

Windows Vista® SP2 以降または Windows® 7 をお使いの場合、Web Services 機能を使用して原稿をスキャンできます。
Web Services 機能を使用するには、Web Services でドライバーをインストールする必要があります。また、原稿を連続して読み取ることのできる ADF（自動原稿送り装置）を使用して、複数枚の原稿をスキャンできます。

- Web Services で使用できるパソコンは、5 台までです。既に操作パネルのリストに 5 台表示されている場合、新たにパソコンを追加するには、最初に操作パネルのリストに表示されているパソコンから Web Services をアンインストールし、本製品を再起動した後、追加したいパソコンに Web Services をインストールします。
  パソコンから Web Services のアンインストールする方法については、下記をご覧ください。
  ⇒ 174 ページ「パソコンから Web Services をアンインストールする」
- インストールについては、ユーザーズガイド ネットワーク編「Web Services を使用する（Windows Vista®、Windows® 7）」をご覧ください。
- Web Services を使ったスキャンができるのは、ネットワーク対応モデルのみです。
- ファイヤーウォールの制御でスキャンできない場合は、ファイヤーウォールの設定を変更する必要があります。
- ADF（自動原稿送り装置）が搭載されているモデルは、MFC-J4510N です。

Web Services を使ってパソコンからスキャンする

Web Services を使って、パソコンからネットワーク経由で原稿をスキャンします。

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 原稿をスキャンするアプリケーションを起動する

メニューから［すべてのプログラム］－［Windows® フォトギャラリー］または［Windows® FAX とスキャン］を選びます。

- Windows® 7 は「Windows® FAX とスキャン」のみ対応しています。

3 スキャナーとして、本製品を選ぶ

A）「Windows® フォト ギャラリー」の場合

(1) ［ファイル］－［カメラまたはスキャナからの読み込み］を選ぶ

(2) 接続している本製品のモデル名（Brother xxx-xxxx）を選んで、［読み込み］をクリックする

新しいスキャンダイアログボックスが表示されます。

B）「Windows® FAX とスキャン」の場合

(1) ［ファイル］－［新規作成］－［スキャン］を選ぶ

(2) 複数台接続している場合は、本製品のモデル名（Brother xxx-xxxx）を選んで、［OK］をクリックする

新しいスキャンダイアログボックスが表示されます。

4 各項目を設定する

新しいスキャンダイアログボックスの設定について
⇒ 39 ページ「WIA ダイアログボックスの設定について」

お願い

■ 解像度は 300dpi 以内で設定してください。

5 ［スキャン］をクリックする

A）「Windows® フォト ギャラリー」の場合

(1) ［画像とビデオを読み込んでいます］ダイアログが表示されたら、［読み込み］をクリックします。

画像がスキャンされ、起動している「Windows® フォト ギャラリー」に画像が表示されます。
また、保存先のフォルダが表示されます。

B)「Windows® FAX とスキャン」の場合

画像がスキャンされ、起動している「Windows® FAX とスキャン」に画像が表示されます。

お願い

- 操作パネルにメモリー不足が表示された場合は、[用紙サイズ] を小さくし、[解像度] を下げてください。
- Web Services を使ったスキャン中、別のパソコンでスキャンしたり他の方法でスキャンしたりすると、後から操作したスキャンはエラーになります。動作中のスキャンが終了したあとで次のスキャンを行ってください。

Web Services を使って本製品でスキャンする

Web Services を使って、スキャンしたデータをネットワーク経由でパソコンに保存します。
Web Services でドライバーがインストールされていると、操作パネルに Web Services の設定項目が表示されます。

インストールについては、ユーザーズガイド ネットワーク編「Web Services を使用する（Windows Vista®、Windows® 7）」をご覧ください。

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

2 【スキャン】を押す

3 【Web サービス】を選び、【OK】を押す

キーが表示されていないときは、左右にフリックするか、◀/▶ を押して、画面をスクロールさせます。

4 スキャン形式を選ぶ

【スキャン】/【電子メール用にスキャン】/FAX 用にスキャン】/【印刷用にスキャン】から選びます。

5 保存先のパソコンを選ぶ

6 【スタート】を押す

原稿がスキャンされます。

スキャンプロファイルの編集

操作パネルにメモリー不足が表示された場合や、スキャンが開始されない場合に、スキャンプロファイルの設定を変更します。

1 スキャナとカメラを起動する

メニューから［コントロール パネル］－［ハードウェアとサウンド］－［スキャナとカメラ］をクリックします。

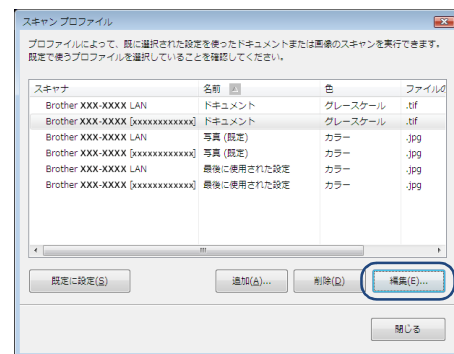
デバイスを選択する画面が表示されます。

Windows® 7 をお使いの場合、メニューから［すべてのプログラム］－［Brother］－［本製品のモデル名］－［スキャナー設定］－［スキャナーとカメラ］を選んで開くこともできます。

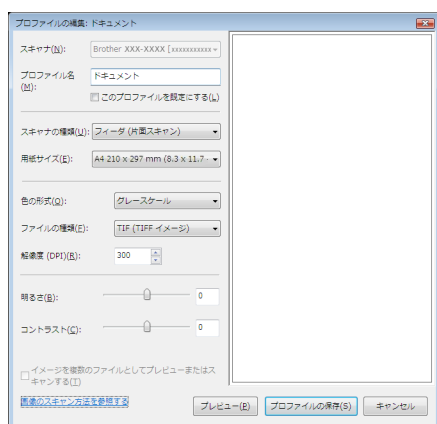
2 本製品のモデル名を選び、［スキャンプロファイル］をクリックする

スキャンプロファイルダイアログボックスが表示されます。

3 目的のスキャンプロファイルを選び、［編集］をクリックする

【スキャナー】で本製品が選択されているかを確認してください。

プロファイルの編集ダイアログボックスが表示されます。

4 必要に応じて各項目を編集する

お願い

■ 解像度は 300dpi 以内で設定してください。

5 ［プロファイルの保存］をクリックする

6 ［既定に設定］をクリックし、［閉じる］をクリックする

プロファイルの設定が保存されます。

スキャンするアプリケーションを選ぶよう表示された場合は、一覧の中から Windows® フォトギャラリーまたは Windows® FAX とスキャンを選んでください。

パソコンから Web Services をアンインストールする

1 ネットワークを表示する

- Windows Vista® の場合：メニューから［ネットワーク］を選びます。
- Windows® 7　の場合：メニューから［コントロール パネル］－［ネットワークとインターネット］－［ネットワークのコンピューターとデバイスの表示］を選びます。

プリンターアイコンに、Web Services 上の名称が表示されます。

2 本製品のアイコンを右クリックし、［アンインストール］を選ぶ

付録

エラーメッセージが表示されたときは

本製品の画面にエラーメッセージが表示されたときは、ユーザーズガイド 基本編の「画面にメッセージが表示されたときは」をご確認ください。ユーザーズガイド 基本編に記載された処置方法を行ってもエラーが解決しないときは、電源プラグを抜いて電源を OFF にし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これによって改善される場合があります。それでも不具合が改善しないときは、エラーメッセージを控えた上でお客様相談窓口へご連絡ください。

故障かな？と思ったときは（修理を依頼される前に）

故障かな？と思ったときは、ユーザーズガイド 基本編の「故障かな？と思ったときは（修理を依頼される前に）」および弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）の「よくあるご質問（Q&A）」をご確認ください。それでも異常があるときは、電源プラグを抜いて電源を OFF にし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これによって改善される場合があります。それでも不具合が改善しないときは、お客様相談窓口へご連絡ください。

索　引

き

こ

さ

し

す

そ

て

ふ

へ

ほ

め

よ

り

れ